

平成 25 年度

# 海洋教育普及の実現に向けた 戦略的研究及び条件整備 報告書

～次期学習指導要領改訂へのロードマップ～

平成 26 年 3 月

海洋政策研究財団



はじめに

平成 25(2013)年 4 月に策定された新しい海洋基本計画の中で、海洋教育に関する記述が大幅に拡充され、学習指導要領の見直しも含めて検討するなど具体的な内容が明言された。また同年 7 月には「海の日」を迎えるに当たっての内閣総理大臣メッセージの中で「...希望と誇りの持てる海洋国家日本を実現するためにも、未踏のフロンティアである海洋の環境を守り、また、気候変動等の全地球的課題の解決に積極的に取り組むことが重要であり、そのためには、海洋教育を促進し、国民の皆様ひとりひとりが海に対する深い理解と関心を持っていただくことが大切です。...(一部抜粋)」と、総理大臣自らが海洋教育の促進について言及するなど、海洋教育に対する関心と必要性はこれまでになく高まってきた。

他方で教育現場に目を転じると、学校教育における海洋教育の実施状況は十分に進んでいるとは言えない状況にある。平成 24(2012)年 3 月に実施した小中学校を対象にした全国調査の結果によれば、依然として 8 割近い学校は教科書に記載された内容の範囲のみ取り扱っていると回答している。

このような中、学習指導要領の次期改訂をめぐっては 2014 夏頃に文部科学大臣が中央教育審議会に諮問し、東京五輪が開催される 2020 年度の全面実施を目指す、と新聞報道がなされたように、文部科学省において具体的な動きが始まったことが明らかとなった。すでに改訂に向けた動きが本格化する中で、海洋教育に関する表記拡充を図るための取り組みを急ぐ必要がある。

本事業は学習指導要領の次期改訂において海洋に関する教育内容の拡充を図るため、これに必要な研究と条件整備を行うことを目的に平成 23(2011)年度から 3 年計画で実施してきた。最終年度を迎える今年度はこれまでの実施内容のレビューを行うとともに、次期改訂まで取るべき対応について展望する。本事業の成果が今後のわが国の海洋教育普及推進の一助となれば幸いである。

当財団が本事業を実施するにあたり、長年にわたり深いご理解と多大なるご支援をいただいている、ボートレース業界並びに日本財団に厚く感謝を申し上げる。

海洋政策研究財団

理事長 今 義男

## 海洋教育普及の実現に向けた戦略的研究及び条件整備事業 研究体制

### ■海洋教育普及の実現に向けた戦略的研究委員会

委員長

佐藤 学 学習院大学 教授／日本教育学会 前会長

秋道 智彌

総合地球環境学研究所 名誉教授

石原 義剛

財団法人東海水産科学協会 海の博物館 館長

清原洋一

文部科学省 初等中等教育局 視学官

嶋野 道弘

文教大学 教育学部 教授

／日本生活科・総合的学習教育学会 前会長

白山 義久

独立行政法人海洋研究開発機構 理事

／京都大学 名誉教授

高田 浩二

(株) 海の中道海洋生態科学館

マリンワールド海の中道 館長

寺島 紘士

海洋政策研究財団 常務理事

春成 誠

一般財団法人運輸政策研究機構 理事長

日置 光久

東京大学大学院教育学研究科特任教授

山形 俊男

独立行政法人海洋研究開発機構 上席研究員

(委員長を除き五十音順)

### ■研究メンバー

寺島 紘士

海洋政策研究財団 常務理事

古川恵太

海洋政策研究財団 海洋グループ長代理

酒井 英次

海洋政策研究財団 海技グループ海事チーム長 \*1

大塚 万紗子

同 海洋グループ特任研究員

釣田 いずみ

同 海洋グループ研究員

上里 理奈

同 研究員

五條 理保

同 研究員

堀口 瑞穂

同 研究調査員

赤見 朋晃

同 研究調査員

\* 1 プロジェクトリーダー

## 目次

実施報告 .....	1
1: 事業目的 .....	2
2: 実施方法 .....	2
3: 実施項目 .....	2
4: 実施内容 .....	3
(1) 学習指導要領改訂に向けた具体的戦略の策定と提言 .....	3
1) 次期学習指導要領改訂までのスケジュールのアップデート .....	3
2) 昨年度提言と新しい海洋基本計画のレビュー .....	4
3) 改訂に向けた具体的施策の策定・実施 .....	7
(2) 海洋教育普及に必要な教育環境の研究 .....	8
1) 義務教育での海洋教育実施条件の分析 .....	8
(3) 外部支援体制の組織化 .....	13
(4) 教育研究の推進 .....	13
1) 各国における海洋教育の実施状況比較調査 .....	13
2) 学生の海の理解度調査 .....	22
今後の課題 .....	89
(1) 学習指導要領改訂に向けた具体的施策の策定と提言 .....	90
(2) 海洋教育普及に必要な教育環境の研究 .....	91
(3) 外部支援体制の組織化 .....	92
(4) 教育研究の戦略的推進 .....	92





# 實施報告

## 1: 事業目的

本事業は、当財団が平成20年度から22年度にかけて作成した「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン」のコンセプトをベースに、学習指導要領に海洋に関する教育内容を具体的に反映させるための戦略的研究と条件整備を行うことを目的とする。3年計画の最終年度である今年度は特に、文部科学大臣による中央教育審議会への諮問が平成26年夏頃予定されていることを踏まえ、次期学習指導要領改訂までのロードマップのアップデートと、改訂に向けての議論に参考となりうる政策検討資料の作成を行う。

## 2: 実施方法

本事業は、教育と海洋の有識者で構成する「海洋教育普及の実現に向けた戦略的研究委員会」の審議に基づき実施計画を策定し、海洋政策研究財団事務局において実施した。また次期学習指導要領改訂を視野に入れた海洋教育推進戦略の全体的な方向性については、日本財団が設置した「海洋教育戦略会議」での議論に参画してビジョンの共有を図るとともに、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターが推進する海洋教育の実践研究の取り組みとも連携を図るなど、横断的な研究体制を構築することによって実施内容の重複を防ぐとともに事業成果の最大化に努めた。

## 3: 実施項目

平成25年度「海洋教育普及の実現に向けた戦略的研究及び条件整備」事業計画書に基づき、次期学習指導要領に海洋教育の内容を反映させるための戦略的研究並びに条件整備として以下を実施した。

- (1) 学習指導要領改訂に向けた具体的施策の策定と提言
  - 1) 次期学習指導要領改訂までのスケジュールのアップデート
  - 2) 昨年度提言と新しい海洋基本計画のレビュー
  - 3) 改訂に向けた具体的施策の策定・実施
- (2) 海洋教育普及に必要な教育環境の研究
  - 義務教育での海洋教育実施条件の分析
- (3) 外部支援体制の組織化
- (4) 教育研究の戦略的推進
  - 1) 各国における海洋教育の実施状況比較調査
  - 2) 学生の海の理解度調査



## 4: 実施内容

### (1) 学習指導要領改訂に向けた具体的戦略の策定と提言

#### 1) 次期学習指導要領改訂までのスケジュールのアップデート

次期学習指導要領改訂において海洋に関する教育内容の拡充を図るには、学習指導要領の改訂に向けて効果的な働きかけを行うことが不可欠である。そのためには学習指導要領改訂へのプロセスを分析するとともに、内容拡充に必要な条件を整理し、いつまでに、誰が、誰に対して、何をすべきか、といった具体的な計画を立て、業界横断的に推進することが必要である。

次期改訂までのスケジュールについては昨年度事業で作成したが、今年度に入って文部科学大臣からの中教審への諮問時期が明らかになるなど具体的な動きが表面化してきたことに伴い、最新の情報に基づいてアップデートを行った。スケジュールについては東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターがとりまとめた資料を参考に設定した。

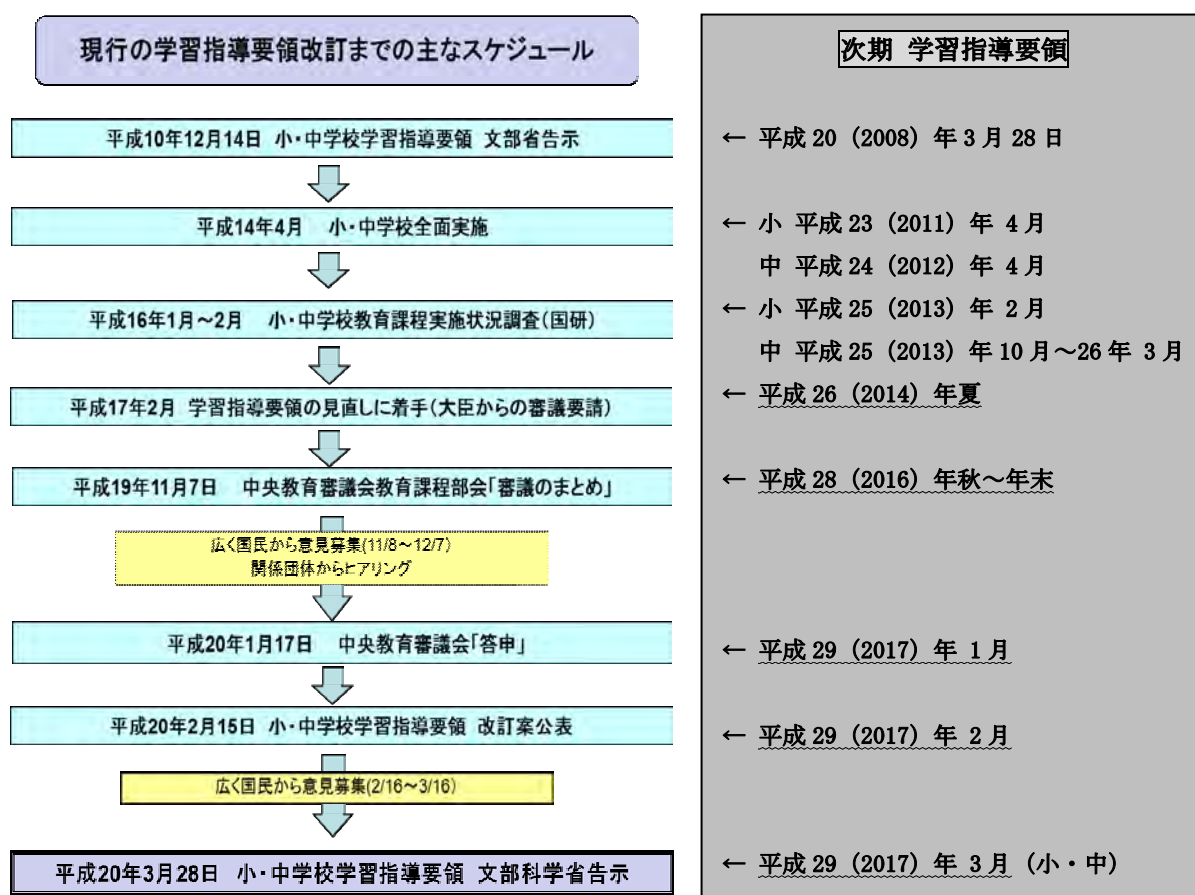


図 1 学習指導要領改訂のスケジュール (東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター資料より)

平成 25 (2013) 年 12 月 29 日付の新聞報道によれば、文部科学大臣からの諮問が平成 26 (2014) 年夏頃とされ、平成 28 (2016) 年度に全面改訂の方針と報じられた。そこで大臣からの審議要請の時期を平成 26 年夏と修正した。なお昨年度の本調査で立てた見通しでは、諮問時期は平成 27 (2015) 年と予想したものの、10 年毎の改訂では間隔が長いとの社会的指摘に配慮して 2014 年度中の審議要請が行われる可能性も指摘した。結果、予想よりも 1 年前倒しの 2014 年度中に諮問の見通しとなった。他方、最終的な改訂版の告示時期は平成 28 (2016) 年度とされ、これについては昨年度に検討したスケジュールどおりに行われる見込みである。

## 2) 昨年度提言と新しい海洋基本計画のレビュー

当財団は昨年度に日本財団と共同で「海洋基本計画改訂に向けた海洋教育に関する提言」を取りまとめ、海洋基本計画見直しの柱として、制度面の強化、教育現場の環境整備、外部支援の拡充の3つを示した。7月31日開催の第9回海洋基本法戦略研究会でその提言内容を発表し、その後9月25日に総合海洋政策本部事務局を通じて羽田雄一郎海洋政策担当大臣（当時）宛に提出された。

新しい海洋基本計画は2013年4月26日に閣議決定された。この中で海洋教育に関する記述については、内容がより具体的になるなど、旧海洋基本計画と比べ多くの部分で改善が見られた。そして「海洋教育」という言葉が海洋基本計画に初めて用いられたが、このことは海洋教育が一般的な用語として認識されてきたことを示すものと考えられる。今回の見直しで注目すべきは点が二つある。

まず第一に、「第1部 海洋に関する施策についての基本的な方針」の「3 本計画における施策の方向性」に（7）海洋教育の充実及び海洋に関する理解の増進、という項目が新規に掲げられたことである。

そして第二に、政府が講ずべき施策に海洋に関する教育の推進として、小学校、中学校および高等学校の海洋教育充実が明記され、その具体策として「海洋教育が各教科や総合的な学習の時間を通じて体系的に行われるよう、必要に応じ学習指導要領における取り扱いも含め、有効な方策を検討する。」と示されたことである。海洋教育の実施が国の施策として明確に位置付けられ、特に学習指導要領の検討にも言及したことは大きな意味を持つ。

表1は昨年度に当財団が行った提言と、新しい海洋基本計画の海洋教育に関する記述とを比較したものが、これを見ると提言の内容が大きく反映されたことがわかる。

表1 当財団提言と新しい海洋基本計画における海洋教育関連部分との表記内容の比較

	海洋基本計画
<b>海洋基本計画改訂に向けた海洋教育に関する提言</b>	<b>第2部 海洋に関する施策に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策</b>
1. 海洋立国を担う国民の基礎的な素養育成のため、小中学校並びに高等学校において教科横断的に海洋に関する学習を行えるよう、学習指導要領の総則及び総合的な学習の時間の「指導計画の作成と内容の取扱い」等に海洋の重要性を明確に位置付けるべきである。	○小学校、中学校及び高等学校において、学習指導要領を踏まえ、海洋に関する教育を充実させる。また、それらの取組の状況を踏まえつつ、海洋に関する教育がそれぞれの関係する教科や総合的な学習の時間を通じて体系的に行われるよう、必要に応じ学習指導要領における取り扱いも含め、有効な方策を検討する。
2. 学校教育で海洋教育の実施を推進するため、文部科学省並びに国立教育政策研究所は海洋教育に関する事例集や手引きなど指導資料を作成するとともに、学校教員の指導力向上を図るため教員研修の充実などの措置を講じ、教育現場が主体的かつ継続的に取り組めるような条件整備を行うべきである。	○海洋関連の副教材の作成を促進する。また、海洋に関する教育の実践事例集や手引きなどの指導資料の作成、教員研修の充実等を通じ、教育現場が主体的かつ継続的に取り組めるような環境整備を行う。
3. 分野横断的に多様な事柄を扱う海洋教育を推進するにあたっては、教科書における海洋関連の記述の充実を図るとともに、それを補完する副教材の作成、水族館や博物館など社会教育施設あるいは水産業や海産物産業など産業施設との有機的な連携を推進し、海洋教育の総合的な支援体制を整備すべきである。	○海洋に関する教育の総合的な支援体制を整備する観点から、学校教育と水族館や博物館等の社会教育施設、水産業や海産物産業等の産業施設、海に関する学習の場を提供する各種団体等との有機的な連携を促進する。
	○海洋に係る夢を抱き、感動を覚えるなど、海洋の魅力を実感できるよう、学協会等との協力の下、アウトリーチ活動を重視した取組等を推進する。

表 2 海洋基本計画における海洋教育関連部分の新旧対照表

新	旧
<p>第1部 海洋に関する施策についての基本的な方針</p> <p>2 本計画において重点的に推進すべき取組</p> <p>(4) 人材の育成と技術力の強化</p> <p>海洋立国を実現していくためには、その前提として、海洋に関わる人材の育成と技術力の強化を図っていくことが重要となる。このため、小学校、中学校及び高等学校における海洋に関する教育を充実する。また、大学等における学際的な教育や専門的な教育の推進、基礎的・先端的研究開発の強化、産学官連携の推進等を通じて、海洋立国を支える多様な人材の育成と基盤的な技術力の強化に取り組む。</p> <p>3 本計画における施策の方向性</p> <p>(7) 海洋教育の充実及び海洋に関する理解の増進</p> <p>初等中等教育及び高等教育のそれぞれで実施している海洋に関する教育を充実するとともに、それらを体系的につなげる方策を検討する。また、海洋に関する教育を支援する観点から、関係機関、大学、民間企業等が行うアウトリーチ活動等の有機的な連携を図る。</p> <p>人材の育成については、海洋産業及び海洋教育の担い手を育成するとともに、中長期的な観点で将来の担い手の裾野を広げるための方策を検討する。また、特定の分野の専門的な知識を有する人材や、海洋に関する幅広い知識を有する人材の育成に取り組む。さらに、地域における産学官連携のネットワークづくりを通じて、地域の特色をいかした人材の育成を推進する。</p> <p>海洋に関する国民の理解の増進の観点から、国民が海を身近に感じられるよう、幅広い参加が得られる行事や海洋観光など、海洋に実際に触れ合う機会を充実させるとともに、マスメディア、インターネット等を通じた情報発信、水族館、博物館等とも連携した情報発信を検討する。また、海洋に関する国民の声を施策に反映させる等、国と国民との双方向での情報交換を推進する。さらに、マリトレジャー等の安全対策や、海洋環境の保全についての啓発活動を引き続き推進するとともに、海洋に関する我が国の歴史・文化を知る機会となる水中遺跡の調査や、この保存・活用方策の検討に取り組む。</p>	<p>第1部 海洋に関する施策についての基本的な方針</p> <p>3 科学的知見の充実</p> <p>・・・加えて、海洋という未知なる領域への挑戦は、人類の知的欲求から発するものとして大いにこれを振興することが重要であるとともに、次世代を担う青少年を始めとする国民全体の海洋に関する理解、関心の増進につながるものであることから、次の世代を支える青少年が、海洋の夢と未知なるものへの挑戦心を培うことができるような教育及び普及啓発活動の充実が必要である。</p>
<p>第2部 海洋に関する施策に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策</p> <p>1 2 海洋に関する国民の理解の増進と人材育成</p> <p>(1) 海洋に関する教育の推進</p> <p>○小学校、中学校及び高等学校において、学習指導要領を踏まえ、海洋に関する教育を充実させる。また、それらの取組の状況を踏まえつつ、海洋に関する教育がそれぞれの関係する教科や総合的な学習の時間を通じて体系的に行われるよう、必要に応じ学習指導要領における取扱いも含め、有効な方策を検討する。</p> <p>○海洋関連の副教材の作成を促進する。また、海洋に関する教育の実践事例集や手引きなどの指導資料の作成、教員研修の充実等を通じ、教育現場が主体的かつ継続的に取り組めるような環境整備を行う。</p> <p>○海洋に関する教育の総合的な支援体制を整備する観点から、学校教育と水族館や博物館等の社会教育施設、水産業や海事産業等の産業施設、海に関する学習の場を提供する各種団体等との有機的な連携を促進する。</p> <p>○海洋に係る夢を抱き、感動を覚えるなど、海洋の魅力を実感できるよう、学協会等との協力の下、アウトリーチ活動を重視した取組等を推進する。</p> <p>(2) 海洋立国を支える人材の育成と確保</p> <p>ア 特定分野における専門的人材の育成と確保</p>	<p>第2部 海洋に関する施策に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策</p> <p>1 2 海洋に関する国民の理解の増進と人材育成</p> <p>(2) 次世代を担う青少年等の海洋に関する理解の増進</p> <p>次世代を担う青少年を始めとする国民が、海洋に関し正しい知識と理解を深められるよう、学校教育及び社会教育の充実を図ることが重要である。このため、学校教育においては、海洋基本法等の趣旨を踏まえて早急に高等学校の教科「水産」の学習指導要領の見直しを行うとともに、現場実習等を通じた実践的な教育を推進するほか、高等学校の実習船等の整備を推進する。さらに、小学校、中学校及び高等学校の社会や理科等において海洋に関する教育が適切に行われるよう努めるほか、海洋に関する教育の実践事例の提供を図るなど海洋教育の普及促進に努める。また、漁村等における体験活動や、エコツーリズムの推進等を通じて、海洋に関する基本的知識や海洋に関する様々な課題に関し、国民が行う学習活動への支援、水族館も含めた自然系博物館等の場をいかした取組を推進する。さらに、海洋に係る夢、感動、海洋の魅力を実感できるようにするため、学協会等の協力を得つつ、アウトリーチ活動を重視した取組等を推進する。</p> <p>(3) 新たな海洋立国を支える人材の育成</p> <p>海洋に関する様々な政策課題に対応するためにも、科学的</p>

○海洋や水産に関する教育を行う高等学校において、現場実習等を通じた実践的な教育を促進するとともに、実習船等の着実な整備を引き続き推進する。

○高等専門学校や海洋系・商船系・水産系の大学・大学校において、海洋・海事・水産の分野における専門的な人材を育成する。また、水産業及びその関連分野における人材を確保するため、将来の担い手の漁業への参入促進、実践的な専門教育の充実、女性の参画の促進等を図る。さらに、日本人船員を計画的に確保するため、退職海上自衛官等が船員として就業するための環境整備を引き続き行う。

○中長期的な観点から今後発展が期待できる海洋に関する産業分野の人材や技術の専門家を養成・確保するため、産業界や国の関係機関等における技術開発と大学等における教育・研究が連動して一体的に行われる取組を推進する。

○国際的な研究プロジェクトにおいてリーダーシップを発揮できる研究者を養成するため、異分野の研究者が国際的な環境の下で研究を進めることが出来るような機会の確保と拡大を図る。

イ 海洋に関する幅広い知識を有する人材の育成と確保

○大学及び大学院の学生の海洋に関わる理学・工学・農学等の基礎的な能力を培うとともに、若手研究者の自発性・独創性を伸ばしていくため、大学や研究機関等における海洋分野の基礎的・先端的な研究を推進する。

○大学等において、学際的な教育及び研究が推進されるようカリキュラムの充実を図るとともに、産業界等とも連携しながらインターンシップ実習の推進や、社会人再教育等の実践的な取組を推進する。

○IMO、UNESCO/IOC、大陸棚限界委員会、国際海洋法裁判所等の海洋分野の国際機関に、引き続き我が国からの人的貢献を行う。

ウ 地域の特徴をいかした人材の育成

○地域の特徴をいかした多様な知的海洋クラスターの創出や、地域に根ざした海洋産業の創出等の観点から、様々な制度を通じて、地域における産学官連携のネットワークづくりを推進する。

○海洋に関する学部等を持つ大学が、それぞれの教育理念に基づき、各地域において特色ある教育研究を行うため、練習船、水産実験所、臨海実験所等の共同利用を推進する。

### (3) 海洋に関する国民の理解の増進

○海洋に関する国民の理解と関心を喚起するため、国民の祝日である「海の日」制定の意義に鑑み、「海の日」や「海の月間」等の機会を通じて、練習船等の一般公開、各種海洋産業の施設見学会や職場体験会、海岸清掃活動、海洋環境保全、海洋安全、沿岸域についての普及啓発活動、マリンレジャーの普及や理解増進等の多様な取組を、産学官等で連携・協力の下、実施する。

○海洋分野における普及啓発、学術推進、研究、産業振興等において顕著な功績を挙げた個人・団体に対して、海洋立国推進功労者表彰を継続的に実施する。

○国民が海洋に触れ合う機会を充実する観点から、豊富な魚介類、優れた海岸景観、歴史・文化等に培われた風土、マリンレジャーに適した海洋空間等、地域それぞれが有する資源をいかした海洋観光等の取組を推進し、地域振興に寄与する。

○海洋国家である我が国の歴史・文化を知る上で重要な文化遺産である水中遺跡について、観光資源等としての活用を考慮しつつ、遺跡の保存や活用等に関する調査研究を進める。

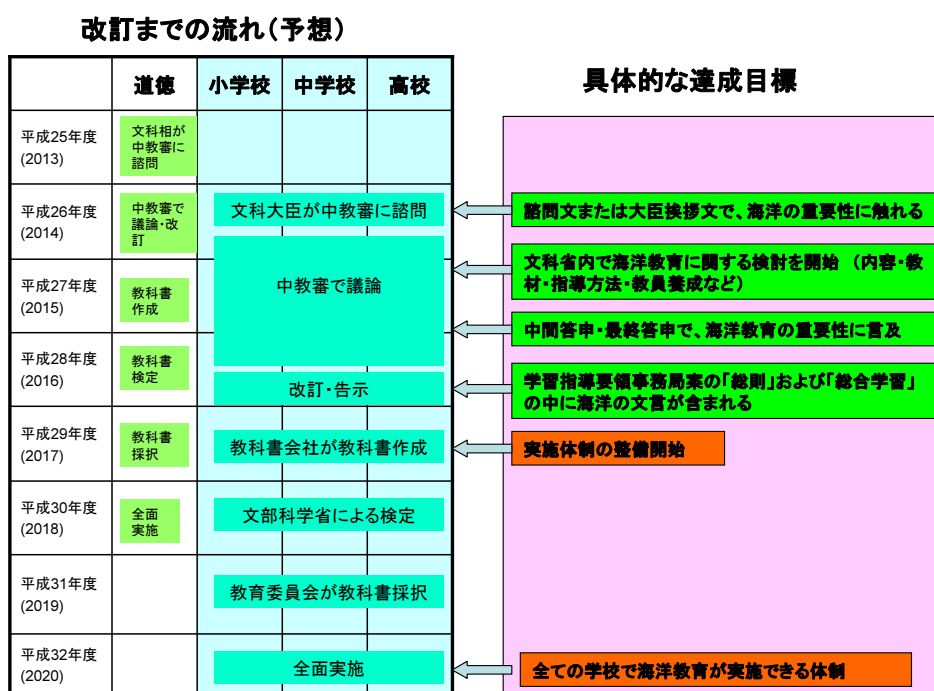
○海洋に関する様々な情報をメディアやインターネット等を通じて分かりやすく発信する。

知見を充実させるためにも、また、国際競争力のある海洋産業を育成していくためにも、必要な知識及び能力を備えた優秀な人材を育成することが重要である。また、海洋に関わる事象は相互に密接に関連していることから、海洋立国を支える人材には、多岐にわたる分野につき総合的な視点を有して事象を捉えることのできる幅広い知識や能力を有する者を育成していくことが重要である。このため、大学等において、学際的な教育及び研究が推進されるようカリキュラムの充実を図るとともに、産業界とも連携しながらインターンシップ実習の推進や、社会人再教育等の取組を推進する。

### 3) 改訂に向けた具体的施策の策定・実施

昨年度の研究報告でも指摘したとおり、学習指導要領の次期改訂に向けての必要条件は単に海洋教育の重要性を訴えるだけでは不十分であり、①社会的な必要性の認知、②実践の推進、③政策的な働きかけ、の3つを広域的かつ重層的に行う必要がある。またこれら条件整備は次期改訂までの限られた時間内に効果的に実施されなければならない。このような背景のもと、条件整備の全体戦略を議論・検討するための枠組みとして日本財団が2013年7月に海洋教育戦略会議を立ち上げたが、当財団もこれに参画し特に海洋政策面において協力を行った。海洋教育戦略会議の活動としては、8月25日開催の第9回海洋基本法戦略研究会の場において、海洋基本法制定以降もわが国の海洋教育の推進が遅れている現状を踏まえ、海洋基本法戦略研究会<sup>1</sup>が今後学校教育における海洋教育の問題を取り上げて議論してもらおうよう、日本財団の尾形武寿理事長より意見具申を行った。また次期改訂に向けての戦略について検討を行い、表3のような目標を設定した。

表3 学習指導要領に海洋教育を位置づけるために必要な達成事項



注：上記は図1 学習指導要領改訂のスケジュール（3ページ）を更新して作成

左側は文部科学省における学習指導要領改訂までのスケジュールで、右側は海洋教育を学習指導要領に反映させるために改訂作業の各段階において達成されるべき状況を具体的に示したものである。学習指導要領の改訂までには、大きく分けて諮問時、審議中、答申時、告示時の4つの段階があり、それぞれの段階で海洋がどのように位置付いているかが重要となる。第一に諮問時においては、中教審が審議を行う前提条件として海洋の重要性をあらかじめ位置づけておくことが重要であり、よって諮問文あるいは諮問にあたっての大臣挨拶文の中で海洋の重要性を言及することが不可欠である。第二に中教審での審議の段階においては、中教審の審議と並行して文科省事務局において海洋教育の実施のための具体的な検討が行われる必要があり、文科省内にこの検討を行う担当を配置するなど体制が整備されなければならない。第三に中間答申、最終答

<sup>1</sup> 海洋基本法の制定に尽力した超党派の国会議員や海洋関係各分野の有識者らで構成する研究会（代表世話人：石破茂自由民主党幹事長）

申の2つの答申時においては、答申の中に海洋を学ぶの重要性が明記されていなければならない。第四に、文科省事務局が作成する学習指導要領改訂案の総則並びに総合的な学習の時間において海洋に関する文言が明確に位置づけられることである。以上4点の実現が、学習指導要領に海洋教育を位置づけるための基本的な必要条件であると考えられる。

## (2) 海洋教育普及に必要な教育環境の研究

### 1) 義務教育での海洋教育実施条件の分析

海洋基本法制定以降もわが国の海洋教育の推進が遅れている理由の一つが、学校教育の教育課程、つまり学習指導要領に海洋教育の内容が明確に位置付いていないことである。これは2012年3月に実施した海洋教育に関する全国アンケート調査においても現場教員から指摘されている。他方で、このアンケート調査では回答した6,706校のうち約2割の学校で総合的な学習の時間を含めて海洋教育が行われているとの結果が出た。学習指導要領における位置づけが不明確な中で海洋教育を積極的に実施している学校の事例分析は、海洋教育を実施するための条件を見出す可能性がある。そこで回答校のデータについてロケーション、学校、教員の3つの属性から着目し、義務教育の段階で海洋教育が行われるための条件抽出を試みた。

### 1) 学校のロケーションと海洋教育の関連性

表4 都道府県別の海洋教育の実施状況の結果

	度数(校)						割合(%)						合計	3/6計	合計					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6								
	未実施	教科書の範囲	メインテーマに	トピックに	総合で	教科と連携	課外	未回答	3/6計	合計	未実施	教科書の範囲	メインテーマに	トピックに	総合で	教科と連携	課外	未回答	3/6計	合計
北海道	44	171	23	35	1	3	9	62	286	15.4	59.8	8.0	12.2	0.3	1.0	3.1	21.7	100.0		
青森県	25	78	7	12	1	1	1	21	125	20.0	62.4	5.6	9.6	0.8	0.8	0.8	16.8	100.0		
岩手県	20	96	9	16	0	2	3	27	146	13.7	65.8	6.2	11.0	0.0	1.4	2.1	18.5	100.0		
宮城県	31	146	8	24	2	2	4	36	217	14.3	67.3	3.7	11.1	0.9	0.9	1.8	16.6	100.0		
秋田県	10	90	2	6	0	2	2	10	112	8.9	80.4	1.8	5.4	0.0	1.8	1.8	8.9	100.0		
山形県	25	46	7	12	3	1	2	23	96	26.0	47.9	7.3	12.5	3.1	1.0	2.1	24.0	100.0		
福島県	21	116	1	7	2	2	3	12	152	13.8	76.3	0.7	4.6	1.3	1.3	2.0	7.9	100.0		
北海道・東北地方	176	743	57	112	9	13	24	191	1,134	15.5	65.5	5.0	9.9	0.8	1.1	2.1	16.8	100.0		
茨城県	33	176	2	7	2	6	2	17	228	14.5	77.2	0.9	3.1	0.9	2.6	0.9	7.5	100.0		
栃木県	22	103	4	16	4	8	7	32	164	13.4	62.8	2.4	9.8	2.4	4.9	4.3	19.5	100.0		
群馬県	16	64	1	3	0	9	2	13	95	16.8	67.4	1.1	3.2	0.0	9.5	2.1	13.7	100.0		
埼玉県	38	146	3	3	2	3	6	11	201	18.9	72.6	1.5	1.5	1.0	1.5	3.0	5.5	100.0		
千葉県	43	216	12	22	1	1	10	36	305	14.1	70.8	3.9	7.2	0.3	0.3	3.3	11.8	100.0		
東京都	54	188	10	18	5	14	12	47	301	17.9	62.5	3.3	6.0	1.7	4.7	4.0	15.6	100.0		
神奈川県	38	142	9	17	4	2	4	32	216	17.6	65.7	4.2	7.9	1.9	0.9	1.9	14.8	100.0		
山梨県	8	75	1	0	3	1	1	5	89	9.0	84.3	1.1	0.0	3.4	1.1	1.1	5.6	100.0		
関東地方	252	1,110	42	86	21	44	44	193	1,599	15.8	69.4	2.6	5.4	1.3	2.8	2.8	12.1	100.0		
新潟県	35	133	4	21	1	6	2	32	202	17.3	65.8	2.0	10.4	0.5	3.0	1.0	15.8	100.0		
富山県	14	61	0	5	1	5	3	11	89	15.7	68.5	0.0	5.6	1.1	5.6	3.4	12.4	100.0		
石川県	12	59	1	6	0	8	4	15	90	13.3	65.6	1.1	6.7	0.0	8.9	4.4	16.7	100.0		
福井県	7	49	4	12	0	3	3	19	79	9.0	62.9	5.1	15.4	0.0	3.9	3.8	24.4	100.0		
長野県	21	72	5	9	9	6	23	122	17.2	59.0	4.1	7.4	0.0	7.4	4.9	19.9	100.0			
信越・北陸地方	89	374	14	53	2	31	18	100	581	15.3	64.4	2.4	9.1	0.3	5.3	3.1	17.2	100.0		
岐阜県	24	84	14	27	1	5	2	47	157	15.3	63.5	8.9	17.2	0.6	3.2	1.3	29.9	100.0		
静岡県	36	130	13	26	6	4	10	49	225	16.0	57.8	5.8	11.6	2.7	1.8	4.4	21.8	100.0		
愛知県	51	173	6	24	1	5	5	36	265	19.2	65.3	2.3	9.1	0.4	1.9	1.9	13.6	100.0		
三重県	13	82	12	20	2	5	6	39	140	9.3	58.6	8.6	14.3	1.4	3.6	4.3	27.9	100.0		
東海地方	124	469	45	97	10	19	23	171	787	15.8	59.6	5.7	12.3	1.3	2.4	2.9	21.7	100.0		
滋賀県	11	47	2	3	1	1	4	7	69	15.9	68.1	2.9	4.3	1.4	1.4	5.8	10.1	100.0		
京都府	7	39	10	8	1	4	12	23	81	8.6	48.1	12.3	9.9	1.2	4.9	14.8	28.4	100.0		
大阪府	20	92	10	18	2	17	7	47	166	12.0	55.4	6.0	10.8	1.2	10.2	4.2	28.3	100.0		
兵庫県	29	115	18	31	3	8	12	60	216	13.4	53.2	8.3	14.4	1.4	3.7	5.6	27.8	100.0		
奈良県	6	54	5	6	1	2	5	14	79	7.6	68.4	6.3	7.6	1.3	2.5	6.3	17.7	100.0		
和歌山県	5	59	4	21	2	4	1	31	96	5.2	61.5	4.2	21.9	2.1	4.2	1.0	32.3	100.0		
近畿地方	78	406	49	87	10	36	41	182	707	11.0	57.4	6.9	12.3	1.4	5.1	5.8	25.7	100.0		
鳥取県	8	34	1	4	0	1	3	6	51	15.7	66.7	2.0	7.8	0.0	2.0	5.9	11.8	100.0		
島根県	11	72	4	9	0	2	3	15	101	10.9	71.3	4.0	8.9	0.0	2.0	3.0	14.9	100.0		
岡山県	14	81	20	35	5	9	13	69	177	7.9	45.8	11.3	19.8	2.8	5.1	7.3	39.0	100.0		
広島県	7	80	9	14	1	7	3	31	121	5.8	66.1	7.4	11.6	0.8	5.8	2.5	25.6	100.0		
山口県	7	66	6	15	1	5	7	27	107	6.5	61.7	5.6	14.0	0.9	4.7	6.5	25.2	100.0		
中国地方	47	333	40	77	7	24	29	148	557	8.4	59.8	7.2	13.8	1.3	4.3	5.2	26.6	100.0		
徳島県	6	33	2	10	3	8	5	23	67	9.0	49.3	3.0	14.9	4.5	11.9	7.5	34.3	100.0		
香川県	11	45	5	6	1	4	3	16	75	14.7	60.0	6.7	8.0	1.3	5.3	4.0	21.3	100.0		
愛媛県	10	74	6	13	0	5	2	24	110	9.1	67.3	5.5	11.8	0.0	4.5	1.8	21.8	100.0		
高知県	7	51	9	11	1	3	6	24	88	8.0	58.0	10.2	12.5	1.1	3.4	6.8	27.3	100.0		
四国地方	34	203	22	40	5	20	16	87	340	10.0	59.7	6.5	11.8	1.5	5.9	4.7	25.6	100.0		
福岡県	36	161	9	25	1	7	8	42	247	14.6	65.2	3.6	10.1	0.4	2.8	3.2	17.0	100.0		
佐賀県	3	47	5	9	0	2	0	16	69	4.5	71.2	7.6	13.6	0.0	3.0	0.0	24.2	100.0		
長崎県	7	53	10	19	1	3	3	33	96	7.3	55.2	10.4	19.8	1.0	3.1	3.1	34.4	100.0		
熊本県	16	94	7	32	1	5	5	45	160	10.0	58.8	4.4	20.0	0.6	3.1	3.1	28.1	100.0		
大分県	11	34	12	6	0	4	6	22	73	15.1	46.6	16.4	8.2	0.0	5.5	8.2	30.1	100.0		
宮崎県	17	73	2	3	1	2	3	8	101	16.8	72.3	2.0	3.0	1.0	2.0	3.0	7.9	100.0		
鹿児島県	23	72	12	24	6	8	8	50	153	15.0	47.1	7.8	15.7	3.9	5.2	5.2	32.7	100.0		
沖縄県	9	41	14	25	4	3	9	46	105	8.6	39.0	13.3	23.8	3.8	2.9	8.6	43.8	100.0		
九州・沖縄地方	122	575	71	143	14	34	42	262	1,001	12.2	57.4	7.1	14.3	1.4	3.4	4.2	26.2	100.0		
計	922	4,213	340	695	78	221	237	1,334	6,706	13.7	62.8	5.1	10.4	1.2	3.3	3.5	19.9	100.0		

表 4 は、都道府県別の海洋教育の実施状況の結果である。これらの中から教科書の範囲内で実施している都道府県について、割合が多いものと少ないもの上位 10 件を抜き出したものが表 5 である。

表 5 海洋教育を教科書の範囲内と教科以外で実施している県の順位

教科書の範囲内での実施		総合学習など教科以外での実施	
多い	少ない	多い	少ない
1位秋田県80.4%	1位沖縄県39.0%	1位沖縄県43.8%	1位埼玉県5.5%
2位福島県76.3%	2位岡山県45.8%	2位岡山県39.0%	2位山梨県5.6%
3位茨城県77.2%	3位大分県46.6%	3位長崎県34.4%	3位茨城県7.5%
4位埼玉県72.6%	4位鹿児島県47.1%	4位徳島県34.3%	4位福島県7.9%
5位佐賀県71.2%	5位山形県47.9%	5位鹿児島県32.7%	〃宮崎県7.9%
6位千葉県70.8%	6位京都府48.1%	6位和歌山県32.3%	6位秋田県8.9%
7位富山県68.5%	7位徳島県49.3%	7位岐阜県29.9%	7位滋賀県10.1%
8位滋賀県68.1%	8位兵庫県53.2%	8位京都府28.4%	8位千葉県11.8%
9位愛媛県67.3%	9位岐阜県53.5%	9位大阪府28.3%	〃鳥取県11.8%
9位宮城県67.3%	10位長崎県55.2%	10位熊本県28.1%	10位富山県12.4%

比較すると、教科書の範囲内で実施していると回答した都道府県では、総合的な学習の時間などの教科以外で実施している割合が低く、逆に総合的な学習の時間などの教科以外で多く実施している都道府県は教科書の範囲内での実施割合が低いという対称的な結果となった。教科書での実施と総合的な学習の時間など教科外での実施とは相反する傾向にあることがわかった。また総合的な学習の時間など教科以外で取り組んでいる都道府県は、西日本に集中していることがわかり、海洋教育は西高東低の傾向にあることもわかった。

都道府県がマクロな地域特性であるとすれば、市町村レベルでのミクロな地域特性についても見る必要がある。そこで学校の立地について、海から徒歩 15 分程度、徒歩 30 分から 1 時間程度、電車やバスでの移動が必要な距離、の 3 つから選択してもらった回答と海洋教育実施状況の回答のクロス集計からミクロな特性を分析した(表 6)。

表 6 ロケーション別の海洋教育の実施状況

	質問3：海洋教育の実施状況								計	
	1 未実施	2 教科書の範囲内	3 総合メイン	4 総合トピック	5 総合連携教科	6 課外	0 未回答	3~6 教科以外		
質問1	1 徒歩15分程度	59 6.8	282 32.3	157 18.0	237 27.2	28 3.2	49 5.6	60 6.9	471 54.0	872
	2 徒歩30~1時間程度	112 10.6	673 63.9	55 5.2	144 13.7	8 0.8	30 2.8	31 2.9	237 22.5	1,053
	3 電車やバス	735 15.8	3,203 69.0	123 2.6	304 6.5	42 0.9	139 3.0	96 2.1	608 13.1	4,642
	0 未回答	16 11.5	55 39.6	5 3.6	10 7.2	0 0.0	3 2.2	50 36.0	18 12.9	139
	計	922 13.7	4,213 62.8	340 5.1	695 10.4	78 1.2	221 3.3	237 3.5	1,334 19.9	6,706

※下段の数字は%

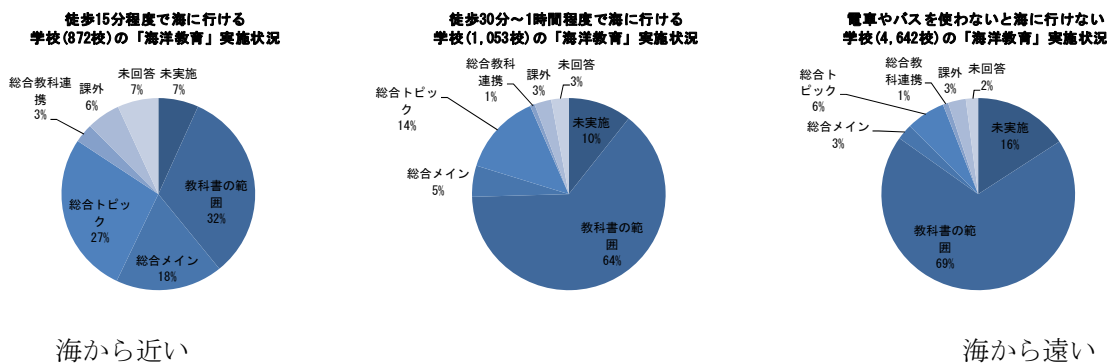


図 2 海からの距離による海洋教育の実施状況の違い

図2で明らかなように学校の立地（海からの距離）と海洋教育の実施状況との間には明確な相関が見られる。海に近ければ総合的な学習の時間で取り扱い割合が多く、遠くなるにつれて教科書に依存した内容となる。以上から、学校のロケーションは海洋教育の実施に影響を及ぼす要因であると考えることができる。

## 2) 学校と海洋教育の関連性

次に学校の属性について検証した。今回のアンケートでは小中学校を対象としたため、まず小学校と中学校との違いに着目した。表7は小中学校別の海洋教育の実施状況と、ロケーションとのクロス集計の結果である。ここでは詳細な比較ではなく全体的な割合を比較したが、表7からわかるように、小学校も中学校も学校のロケーションと海洋教育実施状況との相関は比較的似たような形になっており、明らかな違いを見出すことはできなかった。

表7 小中学校別の海洋教育の実施状況とロケーションとのクロス集計の結果

		質問3：海洋教育の実施状況								計
		未実施	教科書の範囲	総合的な学習の時間で	総合的な学習の時間で	総合的な学習の時間で	総合的な学習の時間で	総合的な学習の時間で	総合的な学習の時間で	
小学校	徒歩15分	19	161	120	159	21	300	28	42	550
	徒歩30分～1時間程度	45	387	44	95	7	146	19	21	618
	電車やバス	369	2,079	83	215	32	330	102	70	2,950
	未回答	6	33	4	6	0	10	3	33	85
	小計	439	2,660	251	475	60	786	152	166	4,203
中学校	徒歩15分	40	121	35	77	4	116	20	17	314
	徒歩30分～1時間程度	67	286	11	49	1	61	10	10	434
	電車やバス	365	1,122	40	88	10	138	37	26	1,688
	未回答	10	22	1	4	0	5	0	17	54
	小計	482	1,551	87	218	15	320	67	70	2,490
合計		921	4,211	338	693	75	1,106	219	236	6,693

※下段の数字は%

そこで学年別のデータを検証することとした（表8）。アンケート回答では学年毎の海洋教育の実施状況を問う設問はなかったため、総合的な学習の時間や特別活動で海洋教育に取り組んでいると回答した学校のうち、自由記述欄に具体的な記述があった内容から整理抽出して集計した。小学校1038校、中学校で430校が回答があったが、小学校では5年生、中学校では1年生で多く取り上げる傾向にあり、海洋教育を行いやすい学年があることがわかった。

表8 学年毎の海洋教育の実施状況

学年	回答数	回答率	全回答校における該当率
小学1年	177	17.1	4.2
小学2年	200	19.3	4.7
小学3年	388	32.4	8.0
小学4年	396	38.2	9.4
小学5年	730	70.3	17.3
小学6年	371	35.7	8.8
小学校計	1,038		n= 4,216
中学1年	281	65.3	11.2
中学2年	223	51.9	8.9
中学3年	163	37.9	6.5
中学校計	430		n= 2,503
その他・不明	10		

※複数学年の回答があるため、計はいずれかに回答した件数

※小中学校は両方にカウント



この理由として学習指導要領の記述に注目した。現在、学習指導要領で海洋に関する記述を含む部分は、小学校第5学年社会、および中学校社会〔地理的分野〕、〔公民的分野〕、理科〔第2分野〕である。中学校の社会と理科は学年毎の記述はない。このデータのみでは明確な相関は導き出すことはできないが、小学校についてのみ言えば学習指導要領に唯一海洋に関する記述がある5年生で海洋教育実施割合が高いことは注目に値する。そこで海洋教育を行っている具体的な教科についてのデータ(表9)を見ることとした。社会は比較的高い割合を示しており、学習指導要領との関連が推察できる。

表9 海洋教育の教育課程上の位置づけ

名称	回答校数	名称	回答校数
総合的な学習の時間	156	夏季行事	1
生活	24	余剰時間	2
社会	43	社会見学・社会科見学	11
理科	16	校外学習・郊外研修	18
地学	1	移動教室	9
国語	3	遠足	35
美術・図画工作	2	修学旅行	47
体育	4	学習旅行	3
道徳	1	クラブ活動・部活動	14
特別活動	7	生徒会活動	5
学校行事	34	PTA活動	11
		子ども会活動	4

なお、学習指導要領に海洋教育の内容が明確に位置付いていない現状において、海洋教育の実施の多くは総合的な学習の時間が担っていることが判明した。それらのうち地域学習テーマを自由記述から抽出すると表10のように整理できた。

表10 海洋学習の種類

海洋産業	海上輸送や造船など
水産	漁業、海産物を使った製品作り
危機管理	ライフセービング、危険生物についての学習
清掃活動	海辺の清掃活動（漂流物調査は除く）
地域学習	近場の海での生物調査等
地域特性	その地域独自の海洋教育（カブトガニの放流、アカウミガメの見学、地域独自の文化体験等）
職業体験	漁業などの職業体験
学校特性	その学校独自で掲げている海洋教育

これらテーマ毎の実施を小中学校別にカウントしたものが図3である。注目すべきは清掃活動、危機管理、職場体験であろう。これらは教科とは直接の関連が無いが、ボランティア・社会奉仕活動、安全教育、キャリア教育の一環で海洋に関連した内容が実施されたものと考えられる。これらは学習指導要領の総則において、小学校では集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動、中学校では職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験が謳われており、また道徳や総合的な学習の時間、特別活動〔学校行事〕においても同様の活動が謳われている。海洋教育の時間枠が理科や社会などの教科だけではないことがデータとして明らかになったことは興味深い。小中学校の海洋教育において学習指導要領の記述内容は影響を与える要素であり、その意味では教科だけでなく総則など幅広く海洋の重要性を謳うことが有効であることが推察できる。

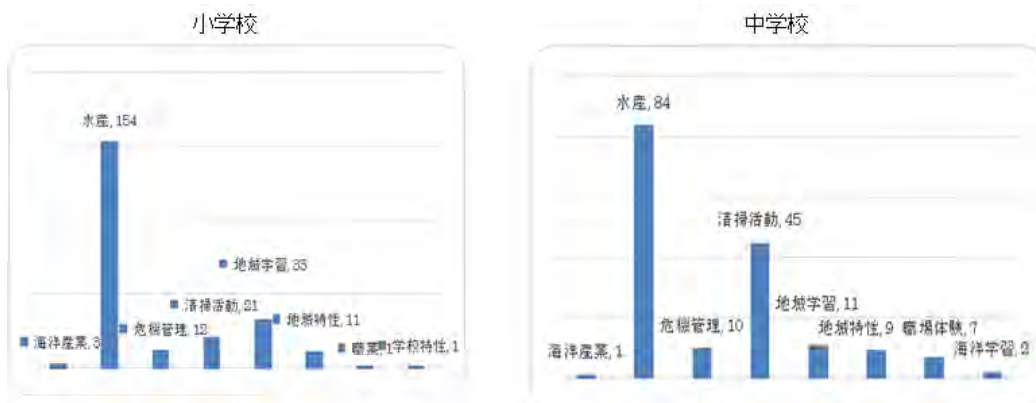


図 3 海に関する活動や学習

### 3) 教員と海洋教育の関連性

教員が海洋教育の実施に影響を与える要素であることはこれまでも様々な調査レポートで指摘されてきた<sup>2</sup>。本格的な海洋教育の多くは総合的な学習の時間が担っており、学習テーマの選定が学校に裁量を与えられているこの時間枠においては、教員の熱意や地域のニーズなどの影響を受けやすいと考えられる。そこでアンケート結果から教員と海洋教育の実施との関係を裏付けるデータを抽出することを試みた。しかし、今回のアンケート結果からは実施している海洋教育とアンケート回答者との間に関係性を見出すことができず、教員の属性が海洋教育の実施条件に影響を与える相関を導き出すことはできなかった。一方、回答者の属性を集計すると表 11 と図 4 のようになる。

表 11 アンケート回答者の属性

		国語	算数・数学	社会	理科	英語	保健	技術・家庭	生活・総合	音楽	書写	図工・美術	未記入
校長	373	3	3	10	10	1	4	1	1				340
副校長	277	9	8	4	15	3	4	4					230
教頭	2,988	52	94	150	234	46	55	31	3	17	20	14	2,272
主任	1,517	66	139	145	384	35	63	22	5	20	11	30	597
教諭	734	10	35	70	333	9	13	9	12	3	4	4	232
未記入	819	10	13	75	263	10	7	8	12	7		3	411
	6,708	150	292	454	1,239	104	146	75	33	47	35	51	4,082

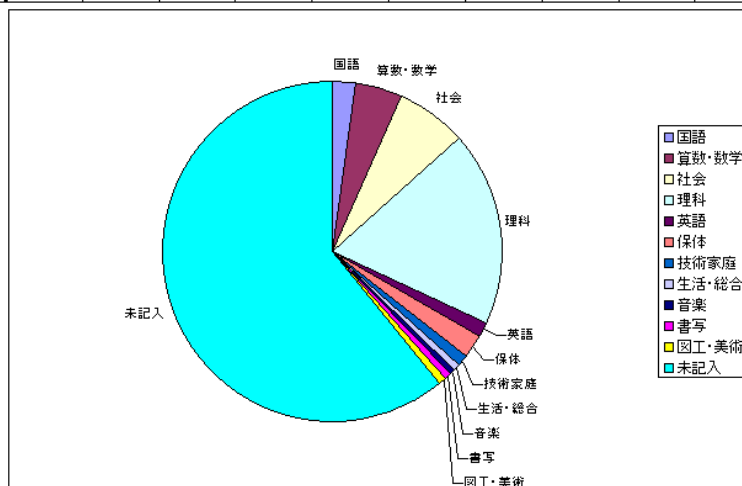


図 4 アンケート回答者の指導教科

<sup>2</sup> 例えば「海洋政策研究財団（2009）21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン」など

この結果、アンケート回答作業を担当した教員の多くが理科を専門としていることが判明した。これは海洋教育とは理科の範疇であるという意識が学校関係者の中に強いのではないかと推測することができる。

以上、アンケート結果から海洋教育の実施条件を見出すことを試みでは、小中学校の海洋教育の実施においては、学校のロケーションが大きく影響すること、実施が特定の学年に偏っていること、海洋教育は理科という認識が強いことが推察できた。

### **(3) 外部支援体制の組織化**

---

日本財団、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターと協力し、お茶の水女子大学、岡山大学、琉球大学、横浜国立大学など海洋教育研究拠点大学との連携会議を通じて、海洋教育研究の進捗状況と方向性について情報共有を図るとともに、これら機関が個別に有するネットワークの連携に向けた検討を行った。また後述する海洋教育の全国調査で明らかとなった外部支援機関の分類を進め、学校のニーズや実態に即した外部支援体制の検討を始めた。その結果、外部から支援を受けている学校の3割以上が漁業協同組合など漁業関係であることが判明した。今後はこの調査結果を参考に、外部支援体制の組織化について検討を進める予定である。

### **(4) 教育研究の推進**

---

#### **1) 各国における海洋教育の実施状況比較調査**

学習指導要領の次期改訂において海洋に関する内容の取り扱い拡充を図るには、学校教育で海洋教育を推進するための合理的根拠が必要である。その際に有益な根拠となるのが、諸外国との比較による海洋教育の客観的評価である。しかし現時点ではこのようなデータは存在しないことから、本事業では海洋先進各国における海洋教育の状況を調査し、わが国の現状と比較検討を行い、わが国の置かれている状況を示した。

具体的な調査内容としては、海洋先進国として基本法や海洋政策を有する諸外国を対象に、海洋教育の現状を把握するための調査を行った。後述の各国における海洋教育の実施状況比較表（表 16）にあるとおり、対象国（日本、アメリカ、カナダ、英国、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、中国（台湾）、韓国）の海洋教育政策（教育体系、海洋政策関連、学習到達度）をあげ、関連する内容の文献調査を行なうとともに主な内容をまとめた。

#### 調査の実施体制

10月：フレーム作成

11月～12月：資料選定、資料収集、フレーム記入、ヒアリング

1月～2月：見直し、追加ヒアリング

3月：とりまとめ、委員会提出(承認)

本調査では、国際的な学習到達度調査として知られている OECD（経済協力開発機構）の生徒の学習到達度調査「PISA (Programme for International Student Assessment)」と IEA(国際教育到達度評価学会)の国際数学・理科教育調査「TIMSS (Trends in International Mathematics and Science Study)」の概要も調査した。具体的には、設問内容が海に関連する項目において、各国の成績の違いを把握することを試みた。しかし、入手できた PISA2009 の設問内容を調査してみると、海洋教育に直接関連する設問があるとは断言できない事がわかった。これは、PISA が海を持たない国も尊重して設問を作っている、あるいは、PISA が調査内容の一貫性を保つために設問に工夫を加えていることなどが理由として考えられる。TIMSS については、結果の正確性を高めるために問題がほぼ非公開だったため、設問内容を詳細に調査することが出来なかった。更に、PISA と TIMSS のいずれにおいても設問毎の各国の点数を抽出することは出来なかった。これらの制約が

あったことから「各国における海洋教育の実施状況比較表」には、PISA2009 と 2012、および、TIMSS 2011 の各国の成績のみを記載した。PISA と TIMSS の調査概要は下記の通り（表 12-15）。

表 12 PISA および TIMSS の概要

<b>学力調査</b>	<b>PISA</b> : OECD 生徒の学習到達度調査	<b>TIMSS</b> : 国際数学・理科教育調査
<b>実施組織</b>	経済協力開発機構 (OECD)	国際教育到達度評価学会 (IEA)
<b>対象</b>	義務教育の終了段階にある 15 歳の生徒	小 4・中 2 を対象とした国際比較教育調査
<b>実施国</b>	65 カ国 (2009 年)	46 カ国 (2003 年)
<b>実施間隔</b>	2000 年より 3 年ごと	1995 年より 4 年ごと
<b>内容</b>	義務教育終了段階で身につけた知識や技能が実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを評価するものであり、読解的リテラシー (読解力)、数学的リテラシー、科学的リテラシーを主体として調査される。毎回メインテーマが存在し、読解力、数学的知識、科学的知識の順番でメインテーマが移っていく。2000 年は読解力からスタート。	学校教育で得た知識や技能がどの程度習得されているかを評価するものであり、調査目的は「初等中等教育段階における算数・数学及び理科の教育到達度 (educational achievement) を国際的な尺度によって測定し、児童・生徒の環境条件等の諸要因との関係を参加国間におけるそれらの違いを利用して組織的に研究する。
<b>情報公開</b>	問題は前回分を除き公開。調査結果のデータファイルは、 <a href="#">OECD_PISA 公式サイト</a> より入手可能。	過去の実施結果との対応により、結果の正確性を高めるため、問題はほぼ非公開。

**設問の検索語句** : sea (7), ocean (4), earth (33), climate (7), global (5), fish (7), coast (0), tsunami (0), earthquake (37), marine (1), plankton (0), ozone (51), energy (15), current (1), warming (1), carbon cycle (0), water (126), boat (4), ship (1), vessel (0), liner (0).

表 13 PISA 2009 において海洋関連用語を用いた設問の番号

読解 8 : ギフト	数学 18 : 地震 数学 27 : 地球温暖化 数学 43 : 灯台の点灯パターンの問題	科学 1 : 地球、地震 科学 2 : オゾン層について 科学 3 : 日照 科学 5 : 温室化効果 科学 7 : グランドキャニオンの形成 科学 10 : 酸性雨 科学 15 : 気候変動 科学 19 : 飲料水 科学 23 : イトヨ生態 科学 34 : 風力発電 科学 44 : CO2 削減
------------	---	--

表 14 TIMSS 2007 において海洋関連用語を用いた設問の番号

小4	中2
1. 生物 (蛾の成長)	1. 化学 (混合物の分離)
2. 物理化学 (物のあたたまり方)	2. 化学 (質量保存)
3. 物理化学 (物質の重量)	3. 物理 (磁石)
	4. 生物 (光合成)

表 15 TIMSS 2003 において海洋関連用語を用いた設問の番号

小4	中2
1. 地学 (日当り)	1. 物理 (光)
2. 物理化学 (物質の性質)	2. 地学 (大気と気温)
3. 地学 (農作物の育成)	3. 化学 (物質の分離)
4. 物理化学 (固体、液体)	4. 生物 (食物連鎖)
5. 物理化学 (ろうソク)	5. 物理 (円運動)
6. 生物 (胎生動物分類)	6. 地学 (引力)
7. 生物 (昆虫)	7. 生物 (遺伝的性質)
8. 物理化学 (積み木の質量)	8. 物理 (懐中電灯)

表 16 各国における海洋教育の実施状況比較表 (2014年3月時点)

	日本	アメリカ合衆国	カナダ	英国
<b>所管省庁</b>	国：文部科学省 県、市：教育委員会	国：合衆国教育省 州：州教育省、教育委員会 (50州1特別区)	国：カナダ教育関係協議会 (各州の教育担当相からなる) 州：各州の教育省、教育委員会 (10州3準州)	国：教育省
<b>教育関連法</b>	憲法(1946) 教育基本法(1947) 学校教育法等関係法令	2000年目標：教育法(2000)、学校改善法(1994) 各州の州憲法及び教育法 (又は学校法)	各州の学校法や教育法	教育法 (1944、1996、2002) 教育改革法 (1998)
<b>教育体系 (初等中等教育の年数)</b>	6・3・3 (小・中・高)	6・3・3 6・2・4 8・4 6・6など ※州毎に異なる	8・4 5・3・4 6・3・3など ※州毎に異なる	6・5・2
<b>学習指導要領・カリキュラム (制定や評価の基準)</b>	学校教育法等に基づき「学習指導要領(2008)」と「年間の標準授業時間数」等によってカリキュラムが編成される (学校評価ガイドラインあり)	教科専門職団体による「全米ガイドライン」、各州の州憲法及び教育法 (又は学校法) による「カリキュラム基準」、学区教育委員会による「カリキュラム・ガイドライン」等がある	ナショナル・カリキュラムはない 「カナダ北西部協定」等共通フレームワークはある 各州の教育省や教育委員会によって「州統一カリキュラム」を制定 州統一学力テストがある	公立公営を対象に教育法に基づく「ナショナル・カリキュラム」がある 2014年「新カリキュラム」公示 7・11・14歳は全国テストの対象
<b>教科科目種類 (※海ないし自然との関連項目)</b>	小：13教科 中：12教科 高：10教科 ※海や自然に関する教育活動は、総合学習や宿泊学習で取り上げられることが多い	ex.フロリダ州：Ocean Discovery 対象 ex.ニュージャージー州：Hooked On Fishing-Not On Drugs	ex.ノバスコシア州 初等：7教科 中学：8教科 高校：8教科 ※同州の高校の科学の選択科目の中にOcean11がある	初等：11-12教科 中等：8-14教科
<b>教科書 (①出版基準、②採択者、③使われ方等、④海洋に関する副読本の有無)</b>	①検定 ②公立は所管の教育委員会が決定、国・私立は校長が決定 ③教科書中心の授業、法律に教科書の使用義務が規定されている	①認定 ②学校が決定 ③教科書だけではなく付随した補助教材も多用	①検定 ②各学校長または教育委員会が決定 ③教科書以外の補助教材が豊富	①自由発行 ②教師が決定 ③教科の内容に合わせて教師が教材を使用
<b>海洋教育に関係する高等専門学校等</b>	水産・海洋高校 海上技術学校	Maritime High schools (ex. Marine Academy of Science and Technology, Marine Military Academy)	Maritime Affairs Schools (ex. Marine Institute, Nautical Institute)	Marine and Maritime Academies (ex. London Nautical School, Marine Academy Plymouth)
<b>海洋教育推進団体や参考情報等 注：規模は不明</b>	日本財団、海洋政策研究財団、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進センター、東京海洋大学等	National Marine Educators Association, National Sea Grant Office, National Oceanographic Partnership Program, Bridge Ocean Education Teacher Resource Centre等	Ocean Networks Canada (University of Victoria), National Marine Educators Association (米国と共同) 等	Marine Education Trust 欧州 (European Marine Science Educators Association) 等

フランス	オーストラリア	ニュージーランド	中国	台湾	韓国
国：国民教育省	国：教育雇用関係省 州：各州の教育省（6州1準州1特別地域）	国：教育省	国务院：教育部 省：教育委員会・教育厅（22省5自治区4直轄市2特別行政区） 地区、県：教育委員会・教育局	行政院・教育部	国：教育省、国務調整室 地方：教育厅・教育委員会
教育基本法（ジョスパン法：1989） 学校基本計画法（フィヨン法：2005、ペイヨン法：2013）	教育法（2013）	教育法（1989）	義務教育法（1986） 教育法（1995）	台湾国民教育法（1979） 強制入学条例（1982） 教師法（1995） 教育基本法（1999）	憲法（1948） 教育基本法（1997） 初等中等教育法（1997） 高等教育法（1997）
5・4・3 ※私立と公立での教育格差有り	7・6 8・5 7・5 ※州毎に異なる	6・2・5 ※Year1-13と称する	6・3・3（基本） 5・4・3（農村部など）	6・3・3	6・3・3
国民教育省が「学習指導要領（2008）」を定めている（教育の監督、調査、評価、報告書の作成などを行う視学官が配置されている）	「ナショナル・カリキュラム（1994）」には全国評価プログラムがなく各州は距離を示していた 2010年「全国学力テスト」を実施 2014年「新ナショナル・カリキュラム」公示	ニュージーランドとマオリの2つの「ナショナル・カリキュラム（2007）」がある Year 11 から全国統一試験がある 教育評価機関が設置されている	「全日制義務教育課程基準（2005-）」 「普通高中課程基準（教学大綱）」 （教育モニタリング制度や視学制度あり）	「国民中小学九年一貫課程綱要（2004）」 分段能力指標がある	「2007年改定教育課程」 2001年公示の第7次教育課程までは5年毎に改訂していたが、2007年版からは必要に応じて改訂（奨学官と奨学士あり）
※野外学習の際に教師の判断で水族館見学等が企画されることもある、しかし海洋政策の影響を受けるのは専門学校レベルに限られている ex. ブルターニュ地方：2014年4月から学校教育において海洋教育を開始予定	8教科 ex. 西オーストラリア州：高校レベルでの選択型の Marine and Maritime Studies course ex. タスマニア州：Marine Links Kit, Marine Discovery Centre	ニュージーランド：8教科 マオリ：9教科 ※海洋学やスキューバダイビングを学ぶ Marine Academy などの特別プログラム開催あり	小学校：9科目	7教科（2005年以降、一貫課程綱要に合わせて教科が統合） ※海洋教育政策白書（2007）を教育部が発行、教科書における海洋学習以外にフィールド実習や水上運動などがある	
①自由発行 ②教師が決定 ③常に教科書中心の授業ではない	①自由発行 ②教師が決定 ③教師が教材を適時改良して使用	①自由発行 ②教師が決定 ③教師が生徒のレベルに合わせて教材を選択、開発する（初等学校で教科書はほとんど使用されていない）	①国定から検定に移行（1986） ②省（部）、県、教育行政機関等が採択 ③教科書中心の授業、法律に教科書の使用義務が規定されている	①検定（審定） ②学校が採択 ③法律に教科書の使用義務が規定されている（検定外の補助教材の使用は授業で使用しないように指示されている）	①検定又は認定 ②学校が採択 ③教科書中心の授業、法律に教科書の使用義務が規定されている
Lyce Agricole (ex. 漁業者資格の取得：Baccalauréat Professionnel Productions Aquacoles)	Maritime high schools (ex. Fevre High School) の他に海洋関連技術学校 (TAFE) や高校に単位を与える短大 (ex. Great Barrier Reef International Marine College) あり	海洋学関連大学や水族館との提携や Marine Studies という科目においてスキューバダイビングやサーフィンを教えている高校がある		専門学校（水産、海事）の他に普通高校でも水産科のある高校がある	水産・海洋高校
Institut Francias de la Mer, 水族館 (Nausiaa (Sea for Society), Ocianopolis, IFREMER) 欧州 (European Marine Science Educators Association)	Marine Education Society of Australasia (MESA) (参加していると教員評価の加点になる)、Griffith 大学 (環境省と協働で先生向けの海洋教育の教材を発行) 等	Marine Pages for Kids (環境省の海洋政策のサイト)、Marine Studies Center (水族館が教育省から海洋教育の支援を受けて運営) 等			Korea Marine Environment Management Corporation 等

		日本	アメリカ合衆国	カナダ	英国	
海洋政策関連	海洋基本法と教育及びその他の計画※特記事項、教育項目の有無等	海洋基本法(2007)※第28条海洋に関する国民の理解の増進等において学校教育と社会教育における海洋教育推進に言及 海洋基本計画(2008、2013)※第2部12	大統領令13547(2010)※海洋の基本的施策について規定 米国海洋行動計画※学校教育に言及 米国海洋政策実施計画(2013)※VI科学と情報において学校教育に言及 21世紀の海洋の青写真(2004) 省庁横断的海洋政策タスク・フォース最終報告書(2010)	海洋法(1996) カナダ海洋戦略(2002)※教育促進について言及 カナダ海洋行動計画(2005)※科学技術と社会教育について言及	海洋及び沿岸アクセス法(MCAA)(2009)※海洋管理機関(MMO)の設立、管轄海域、海洋計画、海洋活動の許認可等について規定、一部研究について言及 海洋政策声明(MCAA)下で策定、英国の沿岸及び沖合海域10カ所の海洋計画の策定を目指す Maritime Policy Statement(2011)※海洋の持続可能な開発計画の推進が目的、研究について言及	
	海洋政策実施体制(主管庁、事務局、連絡会議など)	海洋政策担当大臣:国土交通大臣、内閣官房総合海洋政策本部事務局、総合海洋政策本部	米国大気海洋庁(NOAA)、Interagency Committee on Ocean Science and Resource Integration, Committee on Ocean Policy	漁業海洋省(DFO: Fisheries and Oceans Canada)	Department for Environment, Food and Rural Affairs、海洋管理機関(MMO: Maritime Management Organization)、閣内大臣、地方政府大臣	
	その他海洋関連法等	漁業法(1949) 漁港漁場整備法(1950) 港湾法(1950) 海岸法(1956) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(1970) 海洋交通安全法(1972) 瀬戸内海環境保全特別措置法(1973) 水産基本法(2001)	沿岸管理法(1972/1990) 沿岸海洋空間計画(CMSP) 大統領布告5928(1998) 大統領布告5030	Migratory Birds Convention Act(1917, 1994) Marine Insurance Act(1993) Marine Act(1998) National Parks Act(2000) Shipping Act(2001) National Marine Conservation Act(2002)	Safeguarding Our Seas 領海法(1987) 大陸棚法(1989) EEZの確立に関する宣言(1997)	
学業到達度 PISA2009順位(点)	読解力	8位(520)	17位(500)	6位(524)	25位(494)	
	数学リテラシー	9位(529)	31位(487)	10位(527)	28位(492)	
	科学リテラシー	5位(539)	23位(502)	8位(529)	16位(514)	
	11地域中の順位	4位(1588)	11位(1489)	5位(1580)	9位(1500)	
学業到達度 PISA2012順位(点)	読解力の順位	4位(538)	24位(498)	9位(523)	23位(499)	
	数学リテラシー	7位(536)	36位(481)	13位(518)	26位(494)	
	科学リテラシー	4位(547)	28位(497)	10位(525)	21位(514)	
	11地域中の順位	4位(1621)	11位(1476)	6位(1566)	9位(1507)	



フランス	オーストラリア	ニュージーランド	中国	台湾	韓国
<p>海洋全般の基本法令はない</p> <p>環境グルネルの実施に関するプログラム法律（グルネル実施法1）（2009）」と「環境のための国家の義務を定める法律（グルネル実施法2）（2010）」が海洋環境を包含している</p> <p>海洋国家戦略青書（2009）※海洋資源や経済等について言及</p>	<p>海洋全般の基本法令はない</p> <p>環境保護及び生物多様性保全法（EPBC法、1999）※海洋における生物や生息域保護について規定</p> <p>オーストラリアの海洋政策（AOP）（1998）※海洋に関わる国家的指針</p>	<p>海洋全般の基本法令はない</p> <p>2000年に環境保全省主導で Oceans Policy を作成</p>	<p>海洋全般の基本法令はない</p> <p>現在海洋基本法の策定に向けて協議中</p> <p>中国海洋21世紀議程（中国海洋アジェンダ21）※現段階では海洋基本法として当てられる</p> <p>全国海洋経済発展計画要綱（2001-2010）</p> <p>全国海洋経済発展第12次5カ年計画（2011-2015）※海洋科学技術教育の普及に言及</p>	<p>海洋白書（2001）</p> <p>国家海洋政策綱領（2004作成）</p> <p>海洋政策白書（2006公布）</p> <p>海洋教育政策白書（2007発布）</p> <p>海洋教育実施計画（2008発布）</p>	<p>第二次海洋水産発展基本計画（2011～2020）※通称 Ocean Korea 21、海洋水産発展基本法第6条に基づき10年毎に見直し</p>
<p>Ministry of Ecology, Sustainable Development and the Sea, Secretariat general de la mer, Inter-ministerial Committee for the sea</p>	<p>Department of the Environment, Water, Heritage and the Arts (Marine Biodiversity Division, National Oceans Office, Oceans Board of Management)</p>	<p>Oceans Policy Secretariat for Ministerial Group and Advisory Committee, Ocean Policy Officials Group（外務通商省、環境保全省、漁業省、交通省等）</p>	<p>国土資源部国家海洋局（SOA: State Oceanic Administration）</p>	<p>行政院・海洋事務推動委員会</p>	<p>国土海洋部、海洋水産発展委員会</p>
<p>沿岸域法（1986）</p> <p>共和国の沖合の経済水域および生態系保護水域に関する法律（1976）</p>	<p>海域および沈降地法（1973）</p>	<p>New Zealand Coastal Policy Statement 2010（1994）</p> <p>領海、接続水域及び排他的経済水域法（1977）</p> <p>海産哺乳動物法（1978）</p> <p>漁業法（1977、1983）</p> <p>資源管理法（RMA、1991）</p> <p>海上輸送法（1994）</p> <p>国連海洋法条約批准（1996）</p> <p>漁業法（1996）</p> <p>前浜及び海底法（2004）</p> <p>海域及び沿岸域法（Tukatai Moana、2011）</p> <p>排他的経済水域及び大陸棚法（2012）</p>	<p>中国領海及び接続水域法（1992）</p> <p>中国海域使用管理法（2001）</p> <p>全国海洋機能区画（2011-2020）（2期目）</p> <p>中国排他的経済水域及び大陸棚法（1998）</p> <p>全国海洋機能区画（同上）</p> <p>中国海島保護法（2009）</p> <p>中国海島保護計画（2011-2020）</p>	<p>海洋水産発展基本法（2002）※海洋水産発展基本計画、海洋水産発展委員会、基本的施策等について規定</p>	<p>沿岸管理法（2001、2011改正）</p> <p>第二次沿岸統合管理計画（2011～2020）</p> <p>領海法（1977）</p> <p>排他的経済水域法（1989）</p>
22位（496）	9位（515）	7位（521）	上海1位（556） 香港4位（533）	23位（495）	2位（539）
22位（497）	15位（514）	13位（519）	上海1位（600） 香港3位（555）	5位（543）	4位（546）
27位（498）	10位（527）	7位（532）	上海1位（575） 香港3位（549）	12位（520）	6位（538）
10位（1491）	8位（1556）	6位（1572）	1位（1731） 2位（1637）	7位（1558）	3位（1623）
21位（505）	14位（512）	13位（512）	上海1位（570） 香港2位（545）	4位（560）	5位（536）
25位（495）	19位（504）	23位（500）	上海1位（613） 香港3位（561）	8位（523）	5位（554）
26位（499）	16位（521）	18位（516）	上海1位（580） 香港2位（555）	13位（523）	7位（538）
10位（1499）	7位（1537）	8位（1528）	1位（1763） 2位（1661）	5位（1606）	3位（1628）

		日本	アメリカ合衆国	カナダ	英国	
学習到達度 TIMSS2011 成績	小学4年生 算数得点	585	541	—	—	
	中学2年生 算数得点	570	509	—	—	
	小学4年生 算数認知敵領域	数：584 図：589 資：590 知識：590 応用：579 推論：592	数：543 図：535 資：545 知識：556 応用：539 推論：525	—	—	
	中学2年生 算数認知敵領域	数：557 代数：570 図形：586 資料：579 知識：558 応用：574 推論：579	数：514 代数：512 図形：485 資料：527 知識：519 応用：503 推論：503	—	—	
	小学4年生 理科得点	559	544	—	—	
	中学2年生 理科得点	558	525	—	—	
	小学4年生 理科認知敵領域	物理化学：589 生物：540 地学：551 知識：538 応用：562 推論：591	物理化学：544 生物：547 地学：539 知識：546 応用：544 推論：537	—	—	
	中学2年生 理科認知敵領域	物理：558 化学：560 生物：561 地学：548 知識：541 応用：561 推論：568	物理：513 化学：520 生物：527 地学：533 知識：514 応用：517 推論：526	—	—	

	フランス	オーストラリア	ニュージーランド	中国	台湾	韓国
—		516	486	香港 602	591	605
—		505	488	香港 586	609	613
—		数：508 図：534 資：515 知識：516 応用：519 推論：513	数：483 図：483 資：491 知識：476 応用：490 推論：490	香港 数：604 図：605 資：593 知識：619 応用：597 推論：589	数：599 図：573 資：600 知識：599 応用：593 推論：577	数：606 図：607 資：603 知識：614 応用：600 推論：603
—		数：513 代数：489 図形：499 資料：534 知識：504 応用：506 推論：506	数：492 代数：472 図形：483 資料：513 知識：481 応用：491 推論：494	香港 数：588 代数：583 図形：597 資料：581 知識：591 応用：587 推論：580	数：598 代数：628 図形：625 資料：584 知識：611 応用：614 推論：609	数：618 代数：617 図形：612 資料：616 知識：616 応用：617 推論：612
—		516	497	香港 535	552	587
—		519	512	香港 535	564	560
—		物理化学：535 生物：516 地学：520 知識：517 応用：513 推論：518	物理化学：493 生物：497 地学：499 知識：496 応用：497 推論：497	香港 物理化学：539 生物：524 地学：548 知識：537 応用：529 推論：541	物理化学：569 生物：538 地学：553 知識：542 応用：552 推論：568	物理化学：597 生物：571 地学：603 知識：570 応用：593 推論：605
—		物理：511 化学：501 生物：577 地学：533 知識：514 応用：517 推論：526	物理：509 化学：501 生物：514 地学：523 知識：511 応用：509 推論：515	香港 物理：539 化学：526 生物：535 地学：539 知識：544 応用：529 推論：538	物理：552 化学：585 生物：557 地学：568 知識：569 応用：570 推論：551	物理：577 化学：551 生物：561 地学：548 知識：554 応用：561 推論：564

## 参考文献

### 全体

- ・ 文科省：各国の義務教育制度の概要（日・米・英・仏・独・韓）  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05082301/018.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05082301/018.htm)
- ・ 文科省：各国の義務教育制度の概要（米・英・仏・独・韓）  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/gjjiroku/04053101/007/006.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/gjjiroku/04053101/007/006.htm)
- ・ 国立教育政策研究所：理数教科書に関する国際比較調査結果報告（日・米・加・英・仏・独・芬・韓・中・台）  
[http://www.nier.go.jp/seika\\_kaihatsu\\_2/](http://www.nier.go.jp/seika_kaihatsu_2/)
- ・ OPRF：各国の海洋政策報告書（H21、H24）  
[http://www.sof.or.jp/jp/report/pdf/201003\\_ISBN978\\_4\\_88404\\_237\\_0.pdf](http://www.sof.or.jp/jp/report/pdf/201003_ISBN978_4_88404_237_0.pdf)  
[http://www.sof.or.jp/jp/report/pdf/201303\\_07.pdf](http://www.sof.or.jp/jp/report/pdf/201303_07.pdf)
- ・ 諸外国の教育行財政（2014）ジエース教育新社
- ・ 福島（in press）海外における海洋教育推進の事例について
- ・ 文科省：学習指導要領とは何か？  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/idea/1304372.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/idea/1304372.htm)

### 日本

- ・ 海洋教育の現状と課題  
[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_8111676\\_po\\_20120510.pdf?contentNo=1](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8111676_po_20120510.pdf?contentNo=1)

### アメリカ

- ・ 米国教育省 <http://www.ed.gov/>
- ・ フロリダ州：Ocean Discovery <http://www.SeaWorldOrlandoTeachers.com>
- ・ 米国大統領府：National Ocean Policy Council  
<http://www.whitehouse.gov/administration/eop/oceans/implementationplan>

### カナダ

- ・ カナダ教育連盟：カナダの教育制度 <http://www.ceacanada.org/canada/canada3.htm>
- ・ カナダ政府：教育関連リンク  
<http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/study-etudie/links-liens.aspx?lang=jpn>
- ・ 自治体国際化協会（2007）カナダにおける義務教育制度の概要  
<http://www.clair.or.jp/j/forum/series/pdf/42.pdf>
- ・ 下村智子 4.カナダ、教科書制度と教育事情、国立教育政策研究所  
[http://www.nier.go.jp/seika\\_kaihatsu\\_2/risu-2-204\\_canada.pdf](http://www.nier.go.jp/seika_kaihatsu_2/risu-2-204_canada.pdf)
- ・ 国会図書館（2012）2-2 諸外国 5 カナダ  
[http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_8111686\\_po\\_20120609.pdf?contentNo=1](http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8111686_po_20120609.pdf?contentNo=1)

### 英国

- ・ 外務省：諸外国の学校情報・国地域の詳細・イギリス  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/05europe/infoC51000.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/05europe/infoC51000.html)
- ・ Department for Education: 2014 National Curriculum  
<http://www.education.gov.uk/schools/teachingandlearning/curriculum/nationalcurriculum2014>  
<http://www.gov.uk/government/collections/national-curriculum>

### フランス

- ・ 外務省：諸外国の学校情報・国地域の詳細・フランス

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/05europe/infoC53600.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/05europe/infoC53600.html)

- ・ 大津他（2011）フランスにおける市民性教育関連の 2008 年版学習指導要領  
[http://www.mukogawa-u.ac.jp/~edugrad/609takashiootsu\\_kazuohashimoto\\_naokofuruhata.pdf](http://www.mukogawa-u.ac.jp/~edugrad/609takashiootsu_kazuohashimoto_naokofuruhata.pdf)
- ・ 草間（2009）フランスの「環境グルネル」と沿岸域 <http://www.lij.jp/info/topics/090928.doc>
- ・ ブルターニュの情報 <http://www.labretagneetlamer.fr/?q=node/358>

#### オーストラリア

- ・ 外務省：諸外国の学校情報・国地域の詳細・オーストラリア  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/02pacific/infoC20100.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/02pacific/infoC20100.html)
- ・ WIP ジャパン株式会社（2013）文部科学省平成 24 年度委託調査：スポーツ庁の在り方に関する調査研究  
[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/sports/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2013/04/11/133313\\_5\\_5.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/04/11/133313_5_5.pdf)
- ・ オーストラリアの教育制度 [www3.koshigaya.bunkyo.ac.jp/wiki/index.php/オーストラリアの教育](http://www3.koshigaya.bunkyo.ac.jp/wiki/index.php/オーストラリアの教育)
- ・ 山田（2011）オーストラリアの教育改革：全国評価プログラムに注目して  
<http://ir.lib.sugiyama-u.ac.jp/dspace/bitstream/123456789/182/1/%E7%A4%BE10%E5%B1%B1%E7%94%B0.pdf>
- ・ Australian Curriculum Assessment and Reporting Authority  
<http://www.acara.edu.au/default.asp>

#### ニュージーランド

- ・ 石原（2002）ニュージーランドの教育制度  
[http://www.shotoku.ac.jp/data/facilities/library/publication/education-kyoiku43\\_01.pdf](http://www.shotoku.ac.jp/data/facilities/library/publication/education-kyoiku43_01.pdf)
- ・ カリキュラム <http://nzcurriculum.tki.org.nz/>
- ・ Marine Pages for Kids <http://www.mfe.govt.nz/issues/oceans/kids/index.html>
- ・ Marine Studies Center <http://www.marine.ac.nz/>
- ・ 法律検索  
[http://www.legislation.govt.nz/all/results.aspx?search=ts\\_act%40bill%40regulation%40deemedreg\\_marine\\_resel\\_25\\_y&p=3](http://www.legislation.govt.nz/all/results.aspx?search=ts_act%40bill%40regulation%40deemedreg_marine_resel_25_y&p=3)

#### 中国

- ・ 文科省：中国の学校教育制度等  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/05120501/007/006.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/05120501/007/006.htm)
- ・ 外務省：諸外国の学校情報・国地域の詳細・中国  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/01asia/infoC10800.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/01asia/infoC10800.html)  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/0601china.html>
- ・ 藤・福田（2010）小学校における中国の課程基準と日本の学習指導要領の比較研究、山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要代 30 号、pp.57-65

#### 台湾

- ・ 文科省：台湾の学校教育制度等  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/05120501/008/006.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/05120501/008/006.htm)
- ・ 福島（2012）台湾における海洋教育普及推進策、第 23 回海洋工学シンポジウム資料（OES23-077）

- ・ 山崎 (2002) 台湾における教育改革と「教育本土化」  
[http://www.koryu.or.jp/08\\_03\\_03\\_01\\_middle.nsf/2c11a7a88aa171b449256798000a5805/1d61ac8ccd69ce2949256d120027267a/\\$FILE/yamazakinaoya3.pdf](http://www.koryu.or.jp/08_03_03_01_middle.nsf/2c11a7a88aa171b449256798000a5805/1d61ac8ccd69ce2949256d120027267a/$FILE/yamazakinaoya3.pdf)
- ・ 山ノ口 (2008) 台湾「国民中小学九年一貫課程綱要」の策定と七大学習領域の誕生  
[http://www.nier.go.jp/kankou\\_kiyou/kiyou137-21.pdf](http://www.nier.go.jp/kankou_kiyou/kiyou137-21.pdf)

#### 韓国

- ・ 韓力群, 佐々木剛(2011)東アジアにおける海洋教育：台湾の地域連携教育を中心にして  
<http://oacis.lib.kaiyodai.ac.jp/dspace/bitstream/123456789/1092/1/AA12321630-4-1-1.pdf>
- ・ 外務省：諸外国の学校情報・国地域の詳細・韓国  
[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/01asia/infoC10700.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/01asia/infoC10700.html)
- ・ 文科省：韓国の学校教育制度等  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/05120501/006/005.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/05120501/006/005.htm)
- ・ 三石 (2007) 韓国の学校教育カリキュラム改革の動向：科学と環境科を事例にして  
<https://ir.u-gakugei.ac.jp/handle/2309/70854>
- ・ 李「日本語教育通信」【第18回】韓国の2007年改訂教育課程について—外国語教育における文化を重視した改訂—  
<http://www.jpf.go.jp/japanese/survey/tsushin/report/018.html>
- ・ 韓国における海洋・水産教育の現状と問題  
[http://www.sof.or.jp/jp/news/101-150/101\\_3.php](http://www.sof.or.jp/jp/news/101-150/101_3.php)

#### PISA

- ・ OECD:PISA <http://www.oecd.org/pisa/>
- ・ 文科省：PISA 調査の概要  
[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2010/12/07/1284443\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/12/07/1284443_01.pdf)
- ・ 国立教育政策研究所：OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA)  
<http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html>

#### TIMSS

- ・ 文科省：TIMSS2011 国再調査結果報告概要  
[http://www.nier.go.jp/timss/2011/T11\\_gaiyou.pdf](http://www.nier.go.jp/timss/2011/T11_gaiyou.pdf)

#### 聞き取り調査

- ・ フランス：フランス海洋開発研究所 イブ・エノック博士
- ・ オーストラリア・台湾：東京大学海洋アライアンス海洋教育促進センター 福島朋彦特任准教授

## 2) 学生の海の理解度調査

全国の小中学校児童を対象にインターネットを利用した海洋に関する基礎知識調査を実施し、発達段階に応じた海洋に関する理解度の測定を行った。実施規模は小中学校併せて1000名程度とし、回答結果について統計的分析を行った。

あしたねクイズ「全国対抗の小学生・中学生4択クイズ」トップページ

The screenshot shows the homepage of the 'あしたねクイズ' website. At the top, there is a navigation bar with the site name and links for 'あしたね全開版', '地域版あしたね', 'ヘルプ', 'ログイン', and 'ユーザ登録'. Below this is a main banner for '4択クイズ' (4-choice quiz) with the tagline '全国対抗(たいこう)クイズバトル。クイズ王をめざしてがんばろう!'.

The main content area is divided into several sections:

- 注目のクイズ (Featured Quizzes):** Includes 'エクスセーフトレーニング (家族で空の旅)', '資源開発 輸送', '食べ物', and '国際関係'.
- チャレンジ記録 (Challenge Record):** Shows a user profile with 'NO IMAGE' and 'レベル --'.
- 3月のクイズ王 (March Quiz King):** Lists winners such as 'ほっちり(鳥取県 小6)' with 91110 points, 'ニクネーム未設定(千葉県 小6)' with 88323 points, '空米の空様(東京都 小6)' with 82981 points, 'あだ(兵庫県 中1)' with 66991 points, and 'ニクネーム未設定(東京都 小6)' with 58233 points.
- 年齢クラス対抗ランキング (Age Class Ranking):** Lists winners from various schools like '芦原市立山手中学校 中1年4組' with 6319639 points.
- お知らせ (Notice):** Announces quiz king decisions for February and January, offering medals and photos to winners.
- 新着クイズ (New Quizzes):** A table listing recent quizzes with columns for '学年' (Grade), '教科' (Subject), 'クイズの名前' (Quiz Name), 'クイズの説明' (Quiz Description), and '追加した日' (Added Date).

At the bottom right, it states '現在302クイズ(3804問題)' (Currently 302 quizzes (3804 questions)).

□実施媒体

web サイト「あしたね」(運営：学校ネット株式会社) <http://www.ashitane.net/>  
「全国対抗の小学生・中学生4択クイズ」<http://q.ashitane.net/>

□実施期間

クイズ公開日：2014年1月23日 集計対象期間：2014年1月30日～3月20日

□延べ回答者人数

小学生 2,626人 + 中学生 1,381人 = 計 4,007人

※集計対象：学校向けのIDを発行したユーザの初回挑戦時のみ集計



海に関するクイズを6問1セットで6セット配信。1セット終了すると点数と解答が示される。1人が複数セットに挑戦してもよいし、1セットのみでもよい。

平均点は42.4点であった。全セットの満点率は3.0%と低く、正答率よりも誤答率が高いクイズが36問中22問であった。また、正解よりも選択率が高い選択肢があったクイズが36問中12問あった。

全クイズの小学生の正答率が44.4%で、中学生の43.4%よりも高かった。また、小学生の方が中学生よりも正答率が高いクイズが36問中19問であった。



あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

[クイズトップ](#) > [海の防災 \(ぼうさい\) ・安全クイズ](#)

ぼうさい  
● **海の防災・安全クイズ** [詳細](#) [観る](#)

	内容	さいがい そな ぼうさい 災害に備えて、海と安全に関わっていくための知識を学ぼう。	
	出題数	6問	登録問題数 6問
	キーワード	海, 海洋, 安全	

[クイズにチャレンジ!](#)

- チャレンジ：1585人
- 100点：577人
- 平均スコア：70

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)  
Copyright © GakkoNet Corp, Inc, all rights reserved.

□回答者数

小学生 354 人 + 中学生 167 人 = 計 521 人

※集計対象期間：2014 年 1 月 30 日～3 月 20 日

※集計対象：学校向けの ID を発行したユーザの初回挑戦時のみ集計

平均点は 51.2 点、満点率は 4.2%であった。平均点は他のセットと比べて 2 番目に高く、満点率も 2 番目に高かった。

海の防災・安全クイズ 第1問

iPad 9:53 90%

q.ashitane.net/question

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね 全国版 地域版あしたね ヘルプ ログイン ユーザ登録

ゲストさんようこそ

**あしたね**

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● 「ぼうさい海の防災・安全クイズ」

第1問 (全6問)

海水浴場で、沖おきに向かう強い波に流された時、どの方向に泳げばよい？

<input type="radio"/> 1. 岸に向かって	<input type="radio"/> 2. <small>おき</small> 沖に向かって
<input type="radio"/> 3. 海底に向かって	<input type="radio"/> 4. 岸と平行に

次の問題へ →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)

Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 39.7% (回答者数 521 人) であった。小学生の正答率が 40.7%で、中学生の 37.7%より高かった。

海の防災・安全クイズ 第2問

正答率は 72.4% (回答者数 521 人) であった。他の設問に比べ 2 番目に正答率が高かった。

海の防災・安全クイズ 第3問

正答率は 45.7% (回答者数 521 人) であった。



正解は 3. 約 10m/秒で選択率が 39.0% (回答者数 521 人) と他の選択肢に比べて最も高かったが、4. 100m/秒の選択率も 31.7%と高く、津波は速いというイメージを持っている回答者が多いことがうかがえた。

北海道・東北地方の正答率が 14.3%と他の地域に比べて最も低かった。北海道・東北地方においては、4. 約 100m の選択率が 42.9%と他の地域に比べて最も高い一方で、1. 約 50cm の選択率も 28.6%と他の地域に比べて最も高かった。

正答率は 81.2% (回答者数 521 人) であった。他の設問に比べ最も正答率が高かった。東日本大震災による津波被害を受けて関心が高いことが考えられる。

北海道・東北地方の正答率が 85.7% と他の地域に比べて最も高かった。特に、北海道・東北地方においては、1. 様子を見るの選択率が 0.0% であった。

海の防災・安全クイズ 第6問

正答率は 41.1% (回答者数 521 人) であった。

iPad 9:54 90%

q.ashitane.net/378/result/4372197

挑戦結果 | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう!

クイズトップ > 海の防災 (ほうさい) ・安全クイズ > 挑戦結果

ぼうさい

● 「海の防災・安全クイズ」の挑戦結果

きみの得点は、**100/100**

ユーザー登録すると、チャレンジ記録が  
たまっていくよ。めざせクイズ王!!

[ユーザ登録 \(無料\)](#)

すでにユーザー登録をしている人は、 [ログイン](#) してね

● クイズの情報

	挑戦した日	2014年03月12日
	挑戦者数	1586人
	100点	578人
	平均スコア	70

● 問題と解答

問題	解答	正解	解説	採点
1問目 海水浴場で、沖に向かう強い波に流された時、どの方向に泳げばよい?	4 岸と平行に	4 岸と平行に		○
2問目 津波や高潮等、災害の被害予想を地図上に示したものを何と呼ぶ?	4 ハザードマップ	4 ハザードマップ		○
3問目 高潮の原因となるのはどれ?	4 台風	4 台風		○
4問目 津波は陸上で1秒間にどの程度進む?	3 約10m	3 約10m		○
5問目 津波注意報が出された時にまずとるべき行動はどれ?	2 海岸から離れる	2 海岸から離れる		○
6問目 海で事故を見つけたときの、緊急通報用の電話番号は?	3 118	3 118		○

● 次のクイズに挑戦する?

もう一回	同じ教科	ランダム	おすすめ
 海の防災・安全クイズ	 森と紙に関する環境クイズ	 同じ部首の漢字クイズ	 海の食べ物クイズ

[4択クイズトップに戻る](#)

[このページのトップに戻る](#)

あしたね全国版 | 地域版あしたね | あしたね仕事人 | あしたねプリント | あしたねクイズ | 個人情報の取り扱いについて

Copyright © GakkōNet Corp. Inc. all rights reserved.



The screenshot shows a mobile browser interface on an iPad. The address bar displays 'q.ashitane.net/379'. The page title is '海の輸送（ゆそう）と資源（しげん）開発クイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ'. The main content area features a yellow banner with a lightbulb icon and the text '4択クイズ 全国対抗（たいこう）クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！'. Below this, a breadcrumb trail reads 'クイズトップ > 海の輸送（ゆそう）と資源（しげん）開発クイズ'. The quiz title '海の輸送と資源開発クイズ' is highlighted with a red dot. A table provides details about the quiz:

内容	海上・海中で行われる、さまざまな経済活動について知ろう。		
出題数	6問	登録問題数	6問
キーワード	海,海洋,交通		

Below the table is a button that says 'クイズにチャレンジ！'. To the left of the table is a thumbnail image with the text '資源開発 輸送'. Below the thumbnail, statistics are listed: 'チャレンジ：1410人', '100点：435人', and '平均スコア：58'. At the bottom of the page, there is a footer with navigation links and copyright information: 'Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.'

□回答者数

小学生 330 人 + 中学生 156 人 = 計 486 人

※集計対象期間：2014 年 1 月 30 日～3 月 20 日

※集計対象：学校向けの ID を発行したユーザの初回挑戦時のみ集計

回答者数が他のセットに比べて最も低かった。平均点は 35.3 点、満点率は 1.6%であった。平均点も満点率も他のセットに比べて最も低かった。

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね全国版 地域版あしたね ヘルプ ログイン ユーザー登録

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

ゆそう しげん  
● 「海の輸送と資源開発クイズ」

第1問 (全6問)

ゆしほつ せんにゆう そうじゆうりょう わりあい  
日本が輸出・輸入した商品の総重量のうち、船で運ばれた割合はどのくらい？

<input type="radio"/> 1. 約1%	<input type="radio"/> 2. 約50%
<input type="radio"/> 3. 約70%	<input type="radio"/> 4. 約99%

次の問題へ →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)

Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 16.5% (回答者数 486 人) であった。他の設問に比べ最も正答率が低かった。3. 約 70% の選択率が 52.3% で最も多く、次いで 2. 約 50% の選択率が 25.9% であった。正解は 4. 約 99% であり、重量ベースでは圧倒的に海上輸送に頼っているにもかかわらず、その認知度は低いと言えるだろう。小学生の正答率が 17.6% で、中学生の 14.1% より高かった。

四国地方における正答率が 7.1% と他の地域に比べて最も低く、また九州・沖縄地方における正答率も 8.8% と低かった。

## 海の輸送と資源開発クイズ 第2問

正答率は 20.0% (回答者数 486 人) であった。他の設問に比べ正答率が 3 番目に低かった。3. カリブ海の選択率が 53.7% と正解の選択率の倍以上あり、カリブの海賊というイメージが強いことが考えられる。小学生の正答率が 21.2% で、中学生の 17.3% より高かった。

海の輸送と資源開発クイズ 第3問

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね全国版 地域版あしたね ヘルプ ログイン ユーザ登録

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

ゆそう しげん  
● 「海の輸送と資源開発クイズ」

第3問 (全6問)

おんだん 見いせよう  
地球温暖化の影響で新しい航路として注目を集めている海は次のうちどれ？

<input type="radio"/> 1. インド洋	<input type="radio"/> 2. 日本海
<input type="radio"/> 3. 南極海	<input type="radio"/> 4. 北極海

次の問題へ →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)

Copyright © GakkōNet Corp. All rights reserved.

正答率は 39.1% (回答者数 486 人) であった。小学生の正答率が 39.7%で、中学生の 37.8%より高かった。

海の輸送と資源開発クイズ 第4問

正答率は 50.4% (回答者数 486 人) であった。

正答率は 53.9% (回答者数 486 人) であった。

海の輸送と資源開発クイズ 第6問

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

ゆそう しげん  
● 「海の輸送と資源開発クイズ」

第6問 (全6問)

どう あえん なまり う  
海底で、銅・亜鉛・鉛などが多く埋まっている場所はどこ？

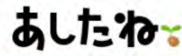
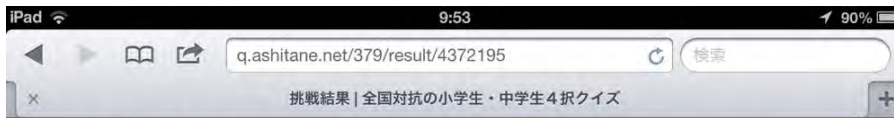
<input type="radio"/> 1. 海底火山の表面	<input type="radio"/> 2. 深海の平原
<input type="radio"/> 3. 海底の盆地	<input type="radio"/> 4. 大陸棚

[解答を終了](#)

[このページのトップに戻る](#)

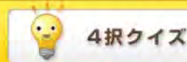
[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)  
Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 40.1% (回答者数 486 人) であった。



[あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザー登録](#)

ゲストさんようこそ



全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

クイズトップ > 海の輸送 (ゆそう) と資源 (しげん) 開発クイズ > 挑戦結果

● 「海の輸送と資源開発クイズ」の挑戦結果

きみの得点は、**100/100**  
 ユーザー登録すると、チャレンジ記録が  
 たまっていくよ。めざせクイズ王!!

[ユーザー登録 \(無料\)](#)

すでにユーザー登録をしている人は、[ログイン](#) してね

● クイズの情報



挑戦した日	2014年03月12日
挑戦者数	1411人
100点	436人
平均スコア	58

● 問題と解答

問題	解答	正解	解説	採点
1問目 日本が輸出・輸入した商品の総重量のうち、船で運ばれた割合はどのくらい？	4 約99%	4 約99%		○
2問目 現在、海賊被害の多い海域は次のうちどこ？	2 マラッカ海峡	2 マラッカ海峡		○
3問目 地球温暖化の影響で新しい航路として注目を集めている海は次のうちどれ？	4 北極海	4 北極海		○
4問目 次のうち、日本近くの深海に多く存在するとされる新しい資源はどれ？	4 レアアース	4 レアアース		○
5問目  この写真は、海底から採掘され、新しいエネルギーとして期待されている物質です。「燃える水」とも呼ばれています。この物質の名前は？	1 メタンハイドレート	1 メタンハイドレート		○
6問目 海底で、銅・亜鉛・鉛などが多く埋まっている場所はどこ？	1 海底火山の表面	1 海底火山の表面	このような場所を「海底熱水鉱床」と呼ぶよ。これは、火山に熱せられた海水によって、マグマや海底に含まれていた銅・亜鉛・鉛などが溶け出し、火山の表面に冷えて固まったものです。	○

● 次のどのクイズに挑戦する？

もう一回	同じ教科	ランダム	おすすめ
 海の輸送と資源開発クイズ	 海の環 境問題クイズ	英単語 月と曜日 <a href="#">英単語クイズ(月と曜日編)</a>	 海の食べ物クイズ

[4択クイズトップに戻る](#)

[このページのトップに戻る](#)



## 海の食べ物クイズ 表紙

The screenshot shows the website 'あしたね' (Ashitane) on an iPad. The browser address bar shows 'q.ashitane.net/380'. The page title is '海の食べ物クイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ'. The main content area features a yellow banner with a lightbulb icon and the text '4択クイズ 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！'. Below this, there is a breadcrumb trail 'クイズトップ > 海の食べ物クイズ' and a section header '● 海の食べ物クイズ' with '経過' and '総合' buttons. A thumbnail image shows a hand holding a piece of food. To the right is a table with quiz details:

内容	ウナギの産卵場所や、数の子の親など、海で採れる食べ物 <small>ひみつ</small> の秘密 <small>せき</small> に迫ろう。		
出題数	6問	登録問題数	6問
キーワード	海,海洋,食べ物,ごはん		

Below the table is a button 'クイズにチャレンジ!' and statistics: 'チャレンジ: 3275人', '100点: 1010人', '平均スコア: 60'. A link 'このページのトップに戻る' is at the bottom right. The footer contains navigation links and copyright information: 'Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.'

### □回答者数

小学生 725 人 + 中学生 406 人 = 計 1,131 人

※集計対象期間：2014 年 1 月 30 日～3 月 20 日

※集計対象：学校向けの ID を発行したユーザの初回挑戦時のみ集計

回答者数が他のセットに比べて最も多かった。平均点は 38.6 点、満点率は 2.1%であった。平均点は他のセットに比べて 2 番目に低く、満点率は 3 番目に低かった。

海の食べ物クイズ 第1問

正答率は 42.1% (回答者数 1,131 人) であった。小学生の正答率が 44.8%で、中学生の 37.2%より高かった。

## 海の食べ物クイズ 第2問

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● 「海の食べ物クイズ」

第2問 (全6問)

と さんらん  
日本で採れるウナギの産卵場所はどの辺り？

<input type="radio"/> 1. ハワイ島	<input type="radio"/> 2. マリアナ諸島
<input type="radio"/> 3. おきのとりしま 沖ノ鳥島	<input type="radio"/> 4. みやげじま 三宅島

[次の問題へ](#) →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)  
Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 31.3% (回答者数 1,131 人) であった。4. 三宅島の選択率が 34.9% と最も高く、3. 沖ノ鳥島の選択率も 28.6% と高かった。回答がバラけた設問であった。小学生の正答率が 37.8% で、中学生の 19.7% の 2 倍程度高かった。

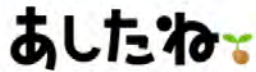
海の食べ物クイズ 第3問

正答率は 42.4% (回答者数 1,131 人) であった。

iPad 9:52 91%

q.ashitane.net/question 検索

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ



[あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● 「海の食べ物クイズ」

第4問 (全6問)



次の写真のうち、数の子の親はどれ？

- |  |  |
|--|--|
| <input type="radio"/> 1.  ニシン | <input type="radio"/> 2.  クロダイ |
| <input type="radio"/> 3.  アジ  | <input type="radio"/> 4.  サケ   |

[次の問題へ](#) →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)

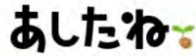
Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 69.2% (回答者数 1,131 人) であった。他の設問に比べ正答率が高かった。

正答率は 36.9% (回答者数 1,131 人) であった。1. 養殖の選択率が 44.8% と最も高かった。小学生の正答率が 41.0% で、中学生の 29.6% より高かった。

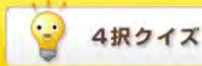
正答率は 18.9% (回答者数 1,131 人) であった。他の設問に比べ正答率が 2 番目に低かった。各選択肢の選択率は、1. キハダマグロが 29.9%、2. ニホンウナギが 23.3%、3. ホホシロザメが 27.9%、4. ミンククジラが 18.9%と、バラける結果となり、正解のミンククジラの選択率が最も低かった。調査捕鯨の妨害等が時折ニュースになるが、クジラ=保護すべき生物というイメージが強いのもかもしれない。

海の食べ物クイズ 答え合わせ



[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [ヘルプ](#) | [ログイン](#) | [ユーザ登録](#)

[ゲストさんようこそ](#)



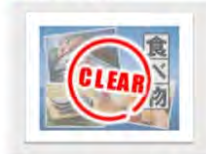
全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

[クイズトップ](#) > [海の食べ物クイズ](#) > [挑戦結果](#)

● 「海の食べ物クイズ」の挑戦結果

きみの得点は、**100/100**  
 ユーザー登録すると、チャレンジ記録が  
 たまっていくよ。めざせクイズ王!!  
[ユーザ登録 \(無料\)](#)  
 すでにユーザー登録をしている人は、[ログイン](#) してね

● クイズの情報



挑戦した日	2014年03月12日
挑戦者数	3276人
100点	1011人
平均スコア	60

● 問題と解答

問題	解答	正解	解説	採点
1問目 日本で一番漁獲量が多い漁港はどこ？	1 ちようし 銚子港	1 ちようし 銚子港		○
2問目 日本で採れるワナギの産卵場所はどこ？	2 しよとう マリアナ諸島	2 しよとう マリアナ諸島		○
3問目 次の寿司ネタのうち、「光り物」に分類されるものはどれ？	2 コハダ	2 コハダ		○
4問目 次の写真のうち、数の子の親はどれ？	1 ニシン 	1 ニシン 		○
5問目 卵から育てた稚魚を海に放流し、成長した後で魚を獲る方法を何と呼ぶ？	3 さいばい 栽培漁業	3 さいばい 栽培漁業		○
6問目 次のうち、いまのところ絶滅が心配がないものはどれ？	4 ミンクジラ	4 ミンクジラ		○

● 次のどのクイズに挑戦する？

もう一回	同じ教科	ランダム	おすすめ
 <a href="#">海の食べ物クイズ</a>	 <a href="#">海の国 国際関係クイズ</a>	 <a href="#">百人一首クイズ 其の式 (二十一番~四十番)</a>	 <a href="#">資源開発 輸送クイズ</a>

[4択クイズトップに戻る](#)

[このページのトップに戻る](#)





□回答者数

小学生 393 人 + 中学生 233 人 = 計 626 人

※集計対象期間：2014 年 1 月 30 日～3 月 20 日

※集計対象：学校向けの ID を発行したユーザの初回挑戦時のみ集計

平均点は 51.4 点、満点率は 6.1%であった。平均点は他のセットに比べて最も高く、満点率も最も高かった。

## 海の環境問題クイズ 第1問

iPad 9:51 91%

q.ashitane.net/question 検索

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗(たいこう)クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう!

かんぎょう  
● 「海の環境問題クイズ」

第1問 (全6問)

海に流されたことで、みなまたびょう 水俣病 げんいん の原因 ぶつしつ となった物質はどれ?

<input type="radio"/> 1. カドミウム	<input type="radio"/> 2. 水銀
<input type="radio"/> 3. 銅	<input type="radio"/> 4. いしわた石綿

次の問題へ →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)

Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 68.7% (回答者数 626 人) であった。他の設問に比べ正答率が高かった。

海の環境問題クイズ 第2問

正答率は25.6% (回答者数 626人)であった。他の設問に比べ正答率が低かった。3. 約65%の選択率が最も高かった。小学生の正答率が27.2%で、中学生の22.7%より高かった。

## 海の環境問題クイズ 第3問

The screenshot shows a mobile browser interface on an iPad. The address bar displays 'q.ashitane.net/question'. The page title is 'あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ'. The main content area features the 'あしたね' logo and a navigation menu with links for 'あしたね全国版', '地域版あしたね', 'ヘルプ', 'ログイン', and 'ユーザ登録'. Below this is a yellow banner for '4択クイズ' (4-choice quiz) with the text '全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！'. The main quiz section is titled 'かんきょう 「海の環境問題クイズ」'. The current question is '第3問 (全6問)' and asks: 'おんだん 地球温暖化によって海水温が上昇すると、サンゴはどうなる？' (じょうしょう). The options are: 1. 白くなる, 2. 黒くなる, 3. 青くなる, 4. 赤くなる. A '次の問題へ' button is visible below the options. At the bottom of the page, there is a footer with links for 'あしたね全国版', '地域版あしたね', 'あしたね仕事人', 'あしたねプリント', 'あしたねクイズ', and '個人情報取り扱いについて', along with the copyright notice 'Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.'

正答率は 71.7% (回答者数 626 人) であった。他の設問に比べ正答率が 3 番目に高かった。小学生の正答率が 72.8% で、中学生の 70.0% より高かった。

九州・沖縄地方における正答率は 77.0% と 2 番目に高かったが、北海道・東北地方における正答率が 81.5% で最も高かった。

海の環境問題クイズ 第4問

正答率は 58.0% (回答者数 626 人) であった。小学生の正答率が 59.0%で、中学生の 56.2%より高かった。

海の環境問題クイズ 第5問

正答率は61.5%（回答者数 626 人）であった。

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね かんきょう [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● **「海の環境問題クイズ」** かんきょう

**第6問 (全6問)**

南米ペルー沖の太平洋の海面の水温がいつもより高くなり、その状態が1年程続くことを何と呼ぶ？ おき じょうたい ねんほど

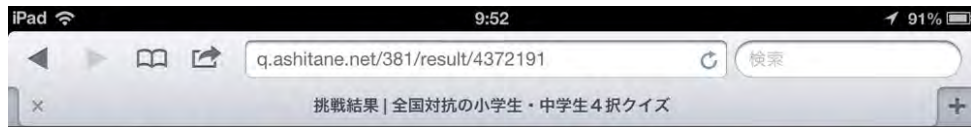
<input type="radio"/> 1. エルニーニョ現象 <small>げんしょう</small>	<input type="radio"/> 2. ロナウジーニョ現象 <small>げんしょう</small>
<input type="radio"/> 3. ラニーニャ現象 <small>げんしょう</small>	<input type="radio"/> 4. フェーン現象 <small>げんしょう</small>

[解答を終了](#)

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)  
Copyright © GalileoNet Corp, Inc. All rights reserved.

正答率は 34.0% (回答者数 626 人) であった。小学生の正答率が 36.9%で、中学生の 29.2%より高かった。



[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [ヘルプ](#) | [ログイン](#) | [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ



**4択クイズ**

全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

クイズトップ > 海の環境 (かんきょう) 問題クイズ > 挑戦結果

かんきょう

● 「海の環境問題クイズ」の挑戦結果

**きみの得点は、100/100**  
 ユーザー登録すると、チャレンジ記録が  
 たまっていくよ。めざせクイズ王!!  
[ユーザ登録 \(無料\)](#)  
 すでにユーザー登録をしている人は、[ログイン](#) してね

● クイズの情報



挑戦した日	2014年03月12日
挑戦者数	1831人
100点	670人
平均スコア	69

● 問題と解答

問題	解答	正解	解説	採点
1問目 海に流されたことで、水俣病の原因となった物質はどれ?	2 水銀	2 水銀		○
2問目 地球上の水のうち、海水の割合はどのくらい?	4 約97%	4 約97%		○
3問目 地球温暖化によって海水温が上昇すると、サンゴはどうなる?	1 白くなる	1 白くなる	白くなることを「白化」と呼び、長期間白化が続くと、サンゴは死んでしまいます。	○
4問目 多くの生物が住む「干潟」の、地面の様子はどれ?	1 どろしめ泥で湿っている	1 どろしめ泥で湿っている		○
5問目 地球温暖化によって海面が上昇すると、国全体が水没するかもしれない国は?	2 ツバル	2 ツバル		○
6問目 南米ペルー沖の太平洋の海面の水温がいつもより高くなり、その状態が1年程続くことを何と呼ぶ?	1 エルニーニョ現象	1 エルニーニョ現象		○

● 次のどのクイズに挑戦する?

もう一回	同じ教科	ランダム	おすすめ
 海の環境問題クイズ	 海と日本の関わりクイズ	 ノーベル平和賞クイズ	 海の国際関係クイズ

[4択クイズトップに戻る](#)

[このページのトップに戻る](#)



あしたね あしたね全国版 地域版あしたね ヘルプ ログイン ユーザ登録  
 ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

クイズトップ > 海の国際 (こくさい) 関係クイズ

こくさい  
**● 海の国際関係クイズ** 詳細 報告

	内容	<small>こくさいで</small> 世界の国が利用する海には、国際的なルールがあるよ。海を通じた国同士の関わりを学ぼう。	
	出題数	6問	登録問題数 6問
	キーワード	海, 海洋, 世界	

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)  
Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

□回答者数

小学生 355 人 + 中学生 176 人 = 計 531 人

※集計対象期間：2014 年 1 月 30 日～3 月 20 日

※集計対象：学校向けの ID を発行したユーザの初回挑戦時のみ集計

平均点は 43.1 点、満点率は 1.7%であった。平均点は他のセットに比べて 3 番目に高く、満点率は 2 番目に低かった。

海の国際関係クイズ 第1問

iPad 9:50 91%

q.ashitane.net/question 検索

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗（たいこう）クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

こくさい

● 「海の国際関係クイズ」

第1問（全6問）

海面上の長さなどを測る単位「海里」。1海里はおよそ何km？

<input type="radio"/> 1. 0.1km	<input type="radio"/> 2. 1.6km
<input type="radio"/> 3. 1.8km	<input type="radio"/> 4. 12.0km

[次の問題へ](#) →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)

Copyright © GakkōNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 28.2%（回答者数 531 人）であった。4. 12.0km の選択率が 37.7% と最も高かった。

海の国際関係クイズ 第2問

正答率は 61.0% (回答者数 531 人) であった。小学生の正答率が 63.7%で、中学生の 55.7%より高かった。

iPad 9:50 91%

q.ashitane.net/question 検索

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

# あしたね

[あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

## 4択クイズ

全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう!

こくさい

### ● 「海の国際関係クイズ」

第3問 (全6問)

せんかくしょとう しめ  
尖閣諸島を示す地図として正しいのはどれ?

1. 

2. 

3. 

4. 

[次の問題へ](#) →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)

Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 50.5% (回答者数 531 人) であった。小学生の正答率が 50.7% で、中学生の 50.0% より高かった。

九州・沖縄地方での正答率が 40.0% と最も低かった。

海の国際関係クイズ 第4問

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

こくさい  
● 「海の国際関係クイズ」

第4問 (全6問)

こくさいじょうやく しょうとつ  
海上での人命の安全のための国際条約が生まれるきっかけとなった、氷山に衝突して事故で沈没した船の名前は？  
じこ ちんぼつ

<input type="radio"/> 1. タイタニック号	<input type="radio"/> 2. 戦艦大和
<input type="radio"/> 3. サウザンドサニー号	<input type="radio"/> 4. ビクトリア号

[次の問題へ](#) →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)  
Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 66.1% (回答者数 531 人) であった。小学生の正答率が 67.0%で、中学生の 64.2%より高かった。

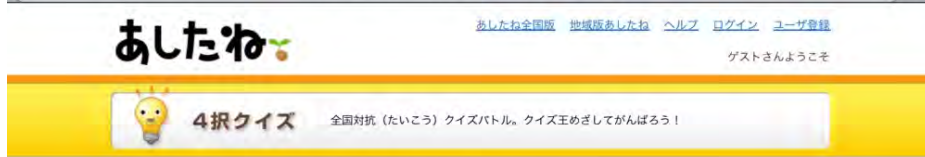
The screenshot shows a mobile browser interface on an iPad. The address bar displays 'q.ashitane.net/question'. The page title is 'あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ'. The main content area features a yellow banner with a lightbulb icon and the text '4択クイズ 全国対抗(たいこう)クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！'. Below this, a section titled 'こくさい 「海の国際関係クイズ」' contains a question: '第5問 (全6問) 世界の領土のうち、最も東にある島は次のうちどれ？'. The question is followed by four multiple-choice options: 1. 南鳥島, 2. おきのとりしま 沖ノ鳥島, 3. 東鳥島, and 4. よなくにじま 与那国島. A '次の問題へ' button is located below the options. At the bottom of the page, there is a footer with navigation links and copyright information: 'Copyright © GakkioNet Corp, Inc. all rights reserved.'.

正答率は28.2%(回答者数531人)であった。2. 沖ノ鳥島の選択率が30.1%と最も高く、4. 与那国島が21.7%、3. 東鳥島が20.0%と、回答がバラける設問であった。小学生の正答率が29.6%で、中学生の25.6%より高かった。



正答率は 34.8% (回答者数 531 人) であった。1. 中国の選択率が 41.1% と最も高かった。小学生の正答率が 37.5% で、中学生の 29.5% より高かった。

中国地方での正答率が 48.0% と最も高く、次いで四国地方での正答率が 44.4% と 2 番目に高かった。関心の高さが伺える。北海道・東北地方、関東地方、近畿地方においては、1. 中国の選択率が最も高く、中部地方、中国地方、四国地方においては、2. 北朝鮮の選択率が最も高かった。九州・沖縄地方においてはどちらの選択率も 37.5% であった。



**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

クイズトップ > 海の国際 (こくさい) 関係クイズ > 挑戦結果

● 「海の国際関係クイズ」の挑戦結果

**きみの得点は、100/100**  
 ユーザー登録すると、チャレンジ記録が  
 たまっていくよ。めざせクイズ王!!  
[ユーザー登録 \(無料\)](#)  
 すでにユーザー登録をしている人は、[ログイン](#) してね

● クイズの情報



挑戦した日	2014年03月12日
挑戦者数	1328人
100点	409人
平均スコア	63

● 問題と解答

問題	解答	正解	解説	採点
1問目 海面上の長さなどを測る単位「海里」。1海里はおおよそ何km?	3 1.8km	3 1.8km		○
2問目 国際海洋法条 約により定められた排他的経済 水域の範囲は、自国から何海里まで?	3 200海里	3 200海里		○
3問目 尖閣 諸島を示す地図として正しいのはどれ?				○
4問目 海上での人命の安全のため国際条 約が生まれるきっかけとなった、氷山に衝突して事故で沈没した船の名前は?	1 タイタニック号	1 タイタニック号		○
5問目 日本の領土のうち、最も東にある島は次のうちどれ?	1 南鳥島	1 南鳥島		○
6問目 日本以外に竹島を自国の領土だと主 張しているのは、韓国とどこ?	2 北朝鮮	2 北朝鮮		○

● 次のどのクイズに挑戦する?

もう一回	同じ教科	ランダム	おすすめ
<a href="#">海の国際関係クイズ</a>	<a href="#">森クイズ</a>	<a href="#">英語の前置詞クイズ(場所編)</a>	<a href="#">海の輸送と資源開発クイズ</a>

[4択クイズトップに戻る](#)

[このページのトップに戻る](#)



あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
 ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

[クイズトップ](#) > [海と日本の関わりクイズ](#)

● **海と日本の関わりクイズ** [編集](#) [総合](#)

内容	古くから海の恵みと共に発展してきた日本。海と日本の様々な関わりを知っているかな？		
	出題数	6問	登録問題数
キーワード	海, 海洋, 文化, 日本		

チャレンジ: 1663人  
 100点: 449人  
 平均スコア: 58

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報取り扱いについて](#)  
 Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

□回答者数

小学生 469人 + 中学生 243人 = 計 712人

※集計対象期間: 2014年1月30日~3月20日

※集計対象: 学校向けのIDを発行したユーザの初回挑戦時のみ集計

平均点は38.3点、満点率は2.9%であった。平均点は他のセットに比べて2番目に低く、満点率は3番目に高かった。

海と日本の関わりクイズ 第1問

正答率は 59.6% (回答者数 712 人) であった。

海と日本の関わりクイズ 第2問

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● 「海と日本の関わりクイズ」

第2問 (全6問)

周囲が100m以上の島は日本にいくつある？

<input type="radio"/> 1. 1,573島	<input type="radio"/> 2. 3,048島
<input type="radio"/> 3. 6,852島	<input type="radio"/> 4. 11,078島

[次の問題へ](#) →

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)

Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 29.5% (回答者数 712 人) であった。2. 3,048 島の選択率が 38.1% で最も高かった。小学生の正答率が 29.6% で、中学生の 29.2% より高かった。

海と日本の関わりクイズ 第3問

正答率は 45.1% (回答者数 712 人) であった。小学生の正答率が 46.5% で、中学生の 42.4% より高かった。

海と日本の関わりクイズ 第4問

正答率は 22.6% (回答者数 712 人) であった。2. 12 位の選択率が 36.5% と最も高く、1. 24 位の選択率も 21.9% と正解の選択率とあまり変わらなかった。

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

あしたね [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● 「海と日本の関わりクイズ」

第5問 (全6問)

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で話題となった海人だが、日本には海女が約何人いる？

<input type="radio"/> 1. 約100人	<input type="radio"/> 2. 約1000人
<input type="radio"/> 3. 約2000人	<input type="radio"/> 4. 約5000人

[次の問題へ](#)

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)  
Copyright © GaijinNet Corp. Inc. all rights reserved.

正答率は 23.9% (回答者数 712 人) であった。2. 約 1000 人の選択率が 31.3% と最も高く、次いで 1. 100 人の選択率が 29.9% であった。正解よりも少ないと考えている回答者が多かったようだ。小学生の正答率が 24.9% で、中学生の 21.8% より高かった。

海と日本の関わりクイズ 第6問

iPad 9:50 91%

q.ashitane.net/question 検索

あしたねクイズ | 全国対抗の小学生・中学生4択クイズ

**あしたね** [あしたね全国版](#) [地域版あしたね](#) [ヘルプ](#) [ログイン](#) [ユーザ登録](#)  
ゲストさんようこそ

 **4択クイズ** 全国対抗 (たいこう) クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう！

● 「海と日本の関わりクイズ」

第6問 (全6問)



うきよえ ふがく あ くる ふじさん  
浮世絵「富嶽三十六景」の中で、荒れ狂う海と富士山を  
えが えし  
描いた絵師はだれ？

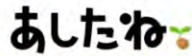
<input type="radio"/> 1. 千利休	<input type="radio"/> 2. かつしかほくさい 葛飾北斎
<input type="radio"/> 3. とうしゅうさい 東洲斎写楽	<input type="radio"/> 4. せっしゅう 雪舟

 **解答を終了**

[このページのトップに戻る](#)

[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [あしたね仕事人](#) | [あしたねプリント](#) | [あしたねクイズ](#) | [個人情報の取り扱いについて](#)  
Copyright © GakkoNet Corp, Inc. all rights reserved.

正答率は 58.3% (回答者数 712 人) であった。



[あしたね全国版](#) | [地域版あしたね](#) | [ヘルプ](#) | [ログイン](#) | [ユーザ登録](#)

ゲストさんようこそ

**4択クイズ** 全国対抗(たいこう)クイズバトル。クイズ王めざしてがんばろう!

クイズトップ > 海と日本の関わりクイズ > 挑戦結果

● 「海と日本の関わりクイズ」の挑戦結果

きみの得点は、**100/100**  
 ユーザー登録すると、チャレンジ記録が  
 たまっていくよ。めざせクイズ王!!

[ユーザ登録\(無料\)](#)

すでにユーザー登録をしている人は、[ログイン](#) してね

● クイズの情報



挑戦した日	2014年03月12日
挑戦者数	1664人
100点	450人
平均スコア	58

● 問題と解答

問題	解答	正解	解説	採点
1問目 映画「海狼」で有名な、海難救助 や防災、治安維持などで日本全土 の海の安全を守る組織の名前は?	2 海上保安 庁	2 海上保安 庁		○
2問目 周囲が100m以上の島は日本にいくつある?	3 6,852島	3 6,852島		○
3問目 日本の海岸線の総距離はおおよそどれくらい?	3 約35,000km	3 約35,000km		○
4問目 日本の領海と排他的経済水域を合わせた広さは、世界で何番目?	3 6位	3 6位		○
5問目 NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で話題となった海人だが、日本には海女が約何人いる?	3 約2000人	3 約2000人		○
6問目 浮世絵「富嶽三十六景」の中で、荒れ狂う海と富士山を描いた絵師はだれ?	2 葛飾北斎	2 葛飾北斎	「富嶽三十六景」は、各地の名所から見える富士山を描いた、36枚の浮世絵だよ。問題文の浮世絵はそのうちの1枚で、「神奈川沖浪裏」という題名が付けられています。	○

● 次はどのクイズに挑戦する?

もう一回	同じ教科	ランダム	おすすめ
海と日本の関わりクイズ	カートクイズ	この人はだれクイズ(探検家・冒険家編)	海の食べ物クイズ

[4択クイズトップに戻る](#)

[このページのトップに戻る](#)



クイズ問題と選択肢一覧

クイズNo	クイズ名	問題No	問題文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
1	海の防災・安全クイズ	1	海水浴場で、沖に向かって強い波に流された時、どの方向に泳げばよい？	岸に向かって	沖に向かって	海底に向かって	岸と平行に
		2	津波や高潮等、災害の被害予想を地図上に示したものを何と呼ぶ？	アラートマップ	白地図	ダンジョンマップ	ハザードマップ
		3	高潮の原因となるのはどれ？	大雨	雷雨	地震	台風
		4	津波は陸上で1秒間どの程度進む？	約50cm	約1m	約10m	約100m
		5	津波注意報が出された時にまずとるべき行動はどれ？	様子を見る	海岸から離れる	知人に安否を知らせる	ラジオを聞く
		6	海で事故を見つけたときの、緊急通報用の電話番号は？	110	114	118	120
2	海の輸送と資源開発クイズ	7	日本が輸出・輸入した商品の総量のうち、船で運ばれた割合はどのくらい？	約1%	約50%	約70%	約99%
		8	現在、海賊被害の多い海域は次のうちどこ？	地中海	マラッカ海峡	カリブ海	ミッドウェー諸島近海
		9	地球温暖化の影響で新しい航路として注目を集めている海は次のうちどれ？	インド洋	日本海	南極海	北極海
		10	次のうち、日本近くの深淵に多く存在するとされる新しい資源はどれ？	レアガス	レアチーズ	レアオイル	レアース
		11	この写真は、海底から採掘され、新しいエネルギーとして期待されている物質です。「燃える水」とも呼ばれている。この物質の名前は？	メタンハイドレート	ドライアイス	リチウム	フルトニウム
		12	海底で、銅・亜鉛・鉛などが多く埋まっている場所はどこ？	海底火山の表面	深海の平原	海底の盆地	大陸棚
3	海の食べ物クイズ	13	日本で一番漁獲量が多い魚種は？	鯖	八戸港	横浜港	神戸港
		14	日本で採れるウナギの産卵場所は？	ハワイ島	マリアナ諸島	沖ノ島	三宅島
		15	次の寿司ネタのうち、「光り物」に分類されるものはどれ？	マグロ	コハダ	コウイカ	アヒ
		16	次の写真のうち、数の子の親はどれ？	ニシン	クロダイ	アジ	サケ
		17	卵から育てた稚魚を海に放流し、成長した後で魚を獲る方法を何と呼ぶ？	養殖	放牧	栽培漁業	沿岸漁業
		18	次のうち、いまのところ絶滅が心配がたいものはどれ？	キハダマグロ	ニホンウナギ	ホホジロザメ	ミンククジラ
4	海の環境問題クイズ	19	海に流されたことで、水俣病の原因となった物質はどれ？	カドミウム	水銀	銅	石綿
		20	地球上の水のうち、海水の割合はどのくらい？	約32%	約46%	約69%	約97%
		21	地球温暖化によって海水温が上昇すると、サンゴはどうなる？	白くなる	黒くなる	青くなる	赤くなる
		22	多くの生物が住む「干潟」の、地面の様子はどれ？	泥で覆っている	草木が生えている	凍っている	岩だらけである
		23	地球温暖化によって海水面が上昇すると、国全体が水没するかもしれない国は？	ニュージーランド	ツバル	ハワイ	イタリヤ
		24	南米ペルー沖の太平洋の海面の水温がいつもより高くなり、その状態が1年程続くことを何と呼ぶ？	エルニーニョ現象	ロタウジーニョ現象	ラニーニャ現象	フェーン現象
5	海の国際関係クイズ	25	海面上の長さなどを測る単位「海里」。1海里はおおよそ何km？	0.1km	1.6km	1.8km	12.0km
		26	国際海洋法条約により定められた排他的経済水域の範囲は、自国から何海里まで？	50海里	100海里	200海里	500海里
		27	尖閣諸島を示す地図として正しいのはどれ？	尖閣諸島	択捉島	竹島	小笠原諸島
		28	海上での人命の安全のための国際条約が生まれるきっかけとなった、氷山に衝突して事故で沈没した船の名前は？	タイタニック号	戦艦大和	サウザンドトニー号	ピコリア号
		29	日本の領土のうち、最も東にある島は次のうちどれ？	南鳥島	沖ノ鳥島	東鳥島	与那国島
		30	日本以外に竹島を自国の領土だと主張しているのは、韓国とどこ？	中国	北朝鮮	台湾	ベトナム
6	海と日本の関わりクイズ	31	映画「海猿」で有名な、海難救助や防災、治安維持などで日本全体の海の安全を守る組織の名前は？	国土交通省	海上保安庁	漁業協同組合	海上自衛隊
		32	周囲が100m以上の島は日本にいくつある？	1,573島	3,048島	6,852島	11,078島
		33	日本の海岸線の総距離はおおよそどれくらい？	約5,400km	約18,000km	約35,000km	約123,000km
		34	日本の領海と排他的経済水域を合わせた広さは、世界で何番目？	24位	12位	6位	3位
		35	NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で話題となった海人だが、日本には海女が約何人いる？	約100人	約1,000人	約2,000人	約5,000人
		36	浮世絵「富嶽三十六景」の中で、荒れ狂う海と富士山を描いた絵師は？	千利休	葛飾北斎	東洲斎写楽	雪舟

※赤の太字は、正解の選択肢

◆集計母数

クイズ	小学生	中学生	総計
防災	354	167	521
資源	330	156	486
食物	725	406	1,131
環境	393	233	626
国際	355	176	531
文化	469	243	712
<b>全体</b>	<b>2,626</b>	<b>1,381</b>	<b>4,007</b>

※対象期間：2014年1月30日～3月20日

※対象者：学校向けのIDを発行したユーザー

※対象回：初回挑戦時のみ

◆クイズ別平均点、満点率

クイズ	平均点	満点率
防災	51.2	4.2%
資源	35.3	1.6%
食物	38.6	2.1%
環境	51.4	6.1%
国際	43.1	1.7%
文化	38.3	2.9%
<b>全体</b>	<b>42.4</b>	<b>3.0%</b>

◆問題別正答率

クイズ	問題	正答率	
防災	離岸流への対処	39.7%	
	ハザードマップの呼称	72.4%	
	高潮の原因	45.7%	
	津波の速度	39.0%	
	津波注意報への対処	81.2%	
	海難緊急番号	41.1%	
	資源	海上貿易の割合	16.5%
		海賊被害の多い地域	20.0%
		新航路	39.1%
		日本近海の海底資源	50.4%
メタンハイドレートの呼称		53.9%	
海底熱水鉱床の場所		40.1%	
食物		漁獲高一位の漁港	42.1%
		ウナギの産卵場所	31.3%
		光り物の寿司ネタ	42.4%
		数の子の親	69.2%
	栽培漁業の呼称	36.9%	
	絶滅生物でない生物	18.9%	
	環境	水俣病の原因	68.7%
		地球上の海水の割合	25.6%
		サンゴの死滅	71.7%
		干潟の様子	58.0%
ツバル水没の恐れ		61.5%	
エルニーニョ現象の呼称		34.0%	
国際		1海里の長さ	28.2%
		EEZの範囲	61.0%
		尖閣諸島の場所	50.5%
		SOLAS条約のきっかけ	66.1%
	日本最東端の島	28.2%	
	竹島問題の当事者国	34.8%	
	文化	海上保安庁の呼称	59.6%
		島の数	29.5%
		海岸線の総距離	45.1%
		領海とEEZの広さ	22.6%
海女の人数		23.9%	
富嶽三十六景の作者		58.3%	
<b>全体</b>		<b>44.0%</b>	

◆ 選択肢別選択率

クイズ名	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
防災	離岸流への対処	岸に向かって	沖に向かって	油底に向かって	岸と平行に
	ハザードマップの呼称	アレートマップ	白地図	ダンジョンマップ	ハザードマップ
	高潮の原因	大雨	雷雨	地震	台風
	津波の速度	約50cm	約1m	約10m	約100m
	津波注意報への対処	様子を見る	海岸から離れる	知人に安否を知らせる	ラジオを聞く
海難緊急番号	110	114	118	120	
資源	海上貿易の割合	約1%	約50%	約70%	約99%
	海賊被害の多い地域	地中海	マラッカ海峡	カリブ海	ミッドウェー諸島近海
	新航路	インド洋	日本海	南極海	北極海
	日本近海の海底資源	レアガス	レアチーズ	レアオイル	レアース
	メタンハイドレートの呼称	メタンハイドレート	ドライアイス	リチウム	フルトニウム
食物	海底熱水鉱床の場所	海底火山の表面	深海の平原	海底の盆地	大陸棚
	漁獲高一位の漁港	鯖子港	八戸港	横浜港	神戸港
	ウナギの産卵場所	小ワイ島	マリアナ諸島	沖ノ鳥島	三宅島
	光り物の寿司ネタ	マグロ	コハダ	コウイカ	アサヒ
	数の子の親	ニシン	クロダイ	アジ	サケ
環境	栽培漁業の呼称	養殖	放牧	栽培漁業	沿岸漁業
	絶滅生物でない生物	キハダマグロ	ニホンウナギ	ホホジロザメ	ミンクジラ
	水俣病の原因	カドミウム	水銀	銅	石棉
	地球上の海水の割合	約32%	約46%	約65%	約97%
	サンゴの死滅	白くなる	黒くなる	青くなる	赤くなる
国際	干潟の様子	泥で覆っている	草木が生えている	凍っている	岩だらけである
	ツバル水没の恐れ	ニュージーランド	ツバル	ハワイ	イタリヤ
	エルニーニョ現象の呼称	エルニーニョ現象	ロナサジニョ現象	ラニニャ現象	フェーン現象
	1海里の長さ	0.1km	1.6km	1.8km	12.0km
	EEZの範囲	50海里	100海里	200海里	500海里
文化	尖閣諸島の場所	尖閣諸島	択捉島	竹島	小笠原諸島
	SOLAS条約のきっかけ	南鳥島	戦艦大和	サウザンドサニー号	ピクリア号
	日本最東端の島	中国	沖ノ鳥島	東鳥島	与那国島
	竹島問題の当事者国	中国	北朝鮮	台湾	ベトナム
	海上保安庁の呼称	国土交通省	海上保安庁	漁業協同組合	海上自衛隊
領海とEEZの広さ	島の数	1,573島	23,2島	3,048島	11,078島
	海岸線の総距離	約5,400km	約18,000km	約35,000km	約123,000km
	領海とEEZの広さ	24位	12位	6位	3位
	海女の人数	約100人	29,900人	約2,000人	約5,000人
	富嶽三十六景の作者	千利休	5.2%	葛飾北斎	東洲斎写楽

※赤の太字は、正解の選択肢

◆校種別集計母数

クイズ	小学生	中学生	総計
防災	354	167	521
資源	330	156	486
食物	725	406	1,131
環境	393	233	626
国際	355	176	531
文化	469	243	712
<b>全体</b>	<b>2,626</b>	<b>1,381</b>	<b>4,007</b>

※対象期間:2014年1月30日~3月20日

※対象者:学校向けのIDを発行したユーザー

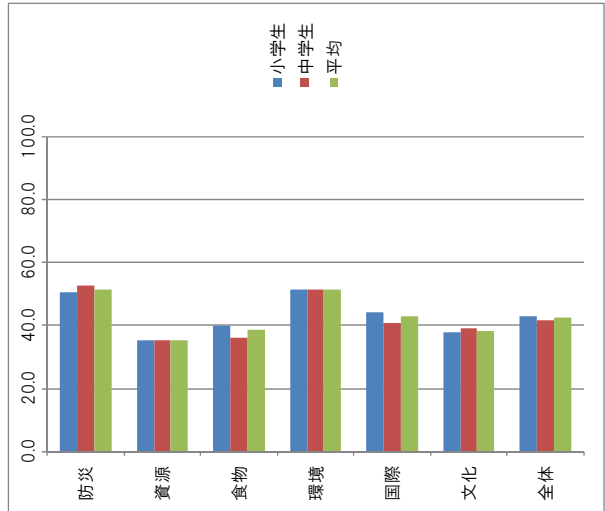
※対象回:初回挑戦時のみ

◆地域別集計母数

クイズ	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	総計
防災	7	243	96	59	40	38	38	521
資源	20	218	109	56	21	28	34	486
食物	49	473	245	119	72	94	79	1,131
環境	27	280	132	62	24	40	61	626
国際	24	251	112	52	25	27	40	531
文化	40	326	141	77	49	34	45	712
<b>全体</b>	<b>167</b>	<b>1,791</b>	<b>835</b>	<b>425</b>	<b>231</b>	<b>261</b>	<b>297</b>	<b>4,007</b>

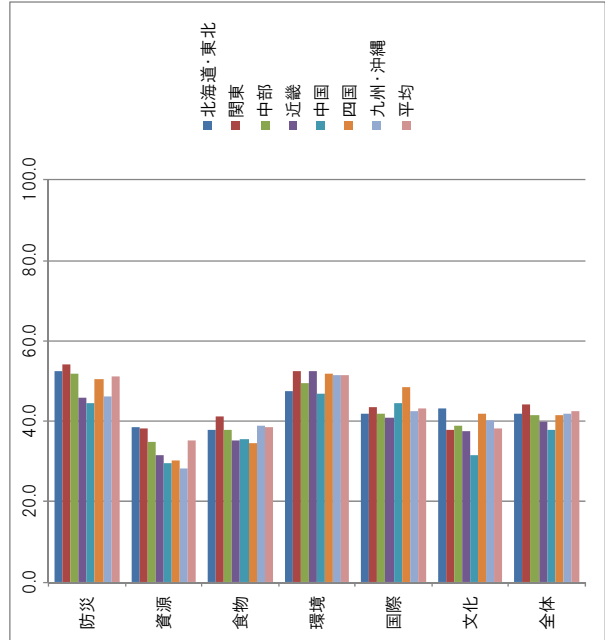
◆校種×クイズ別平均点

クイズ	小学生	中学生	平均
防災	50.5	52.6	51.2
資源	35.3	35.3	35.3
食物	40.0	36.1	38.6
環境	51.5	51.2	51.4
国際	44.2	40.9	43.1
文化	38.0	39.0	38.3
<b>全体</b>	<b>42.7</b>	<b>41.7</b>	<b>42.4</b>



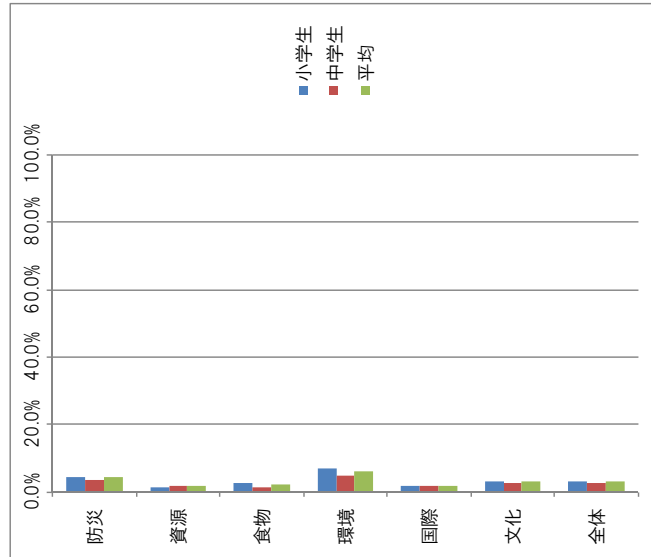
◆地域×クイズ別平均点

クイズ	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	平均
防災	52.6	54.2	51.8	45.9	44.5	50.6	46.3	51.2
資源	38.4	38.2	35.0	31.7	29.7	30.3	28.4	35.3
食物	38.0	41.1	37.9	35.1	35.6	34.6	38.9	38.6
環境	47.4	52.6	49.6	52.6	46.8	51.9	51.5	51.4
国際	42.0	43.6	41.8	40.9	44.5	48.6	42.4	43.1
文化	43.1	38.0	39.0	37.5	31.6	42.0	40.4	38.3
<b>全体</b>	<b>42.0</b>	<b>44.1</b>	<b>41.7</b>	<b>39.9</b>	<b>37.9</b>	<b>41.5</b>	<b>41.9</b>	<b>42.4</b>



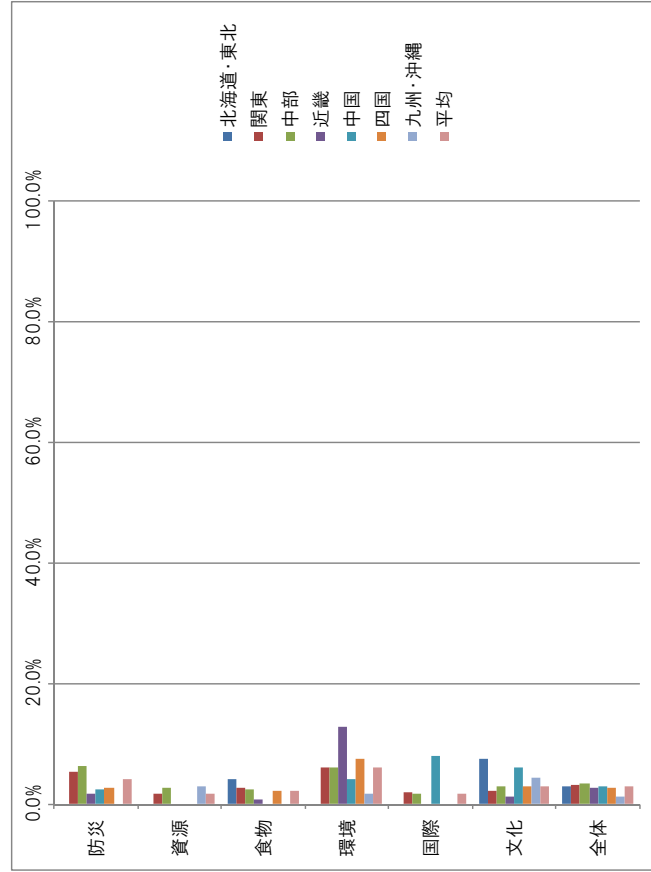
◆校種×クイズ別満点率

クイズ	小学生	中学生	平均
防災	4.5%	3.6%	4.2%
資源	1.5%	1.9%	1.6%
食物	2.6%	1.2%	2.1%
環境	6.9%	4.7%	6.1%
国際	1.7%	1.7%	1.7%
文化	3.0%	2.9%	2.9%
<b>全体</b>	<b>3.3%</b>	<b>2.5%</b>	<b>3.0%</b>



◆地域×クイズ別満点率

クイズ	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	平均
防災	0.0%	5.3%	6.3%	1.7%	2.5%	2.6%	0.0%	4.2%
資源	0.0%	1.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	1.6%
食物	4.1%	2.7%	2.4%	0.8%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%
環境	0.0%	6.1%	6.1%	12.9%	4.2%	7.5%	1.6%	6.1%
国際	0.0%	2.0%	1.8%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	1.7%
文化	7.5%	2.1%	2.8%	1.3%	6.1%	2.9%	4.4%	2.9%
<b>全体</b>	<b>3.0%</b>	<b>3.3%</b>	<b>3.5%</b>	<b>2.6%</b>	<b>3.0%</b>	<b>2.7%</b>	<b>1.3%</b>	<b>3.0%</b>

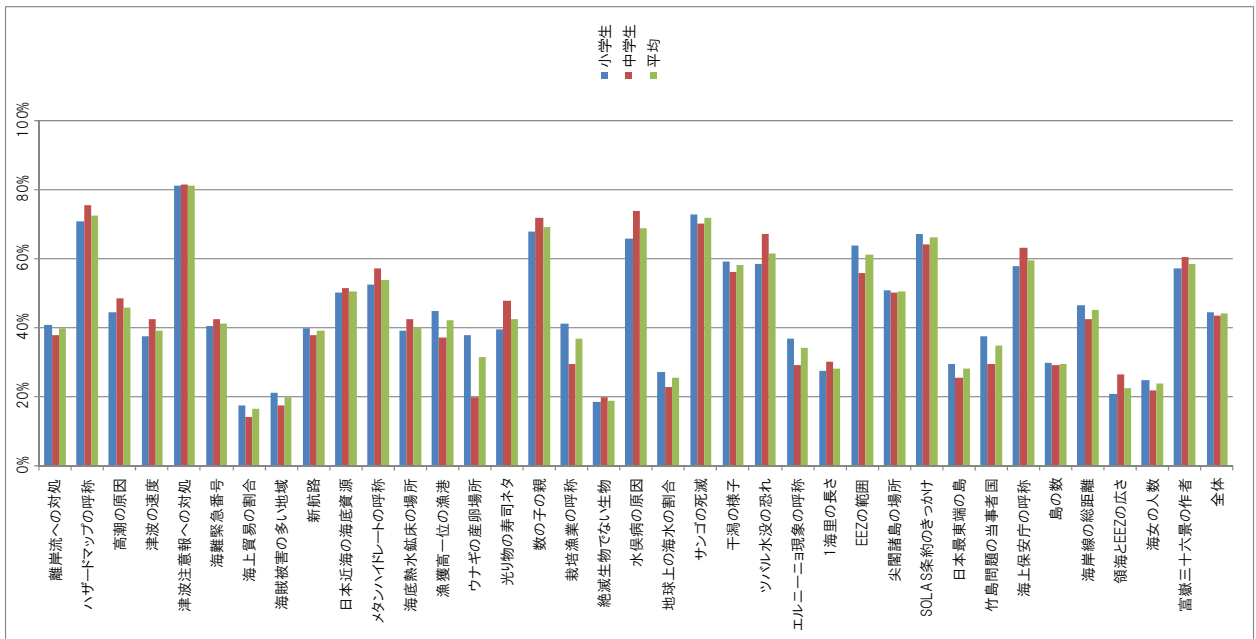
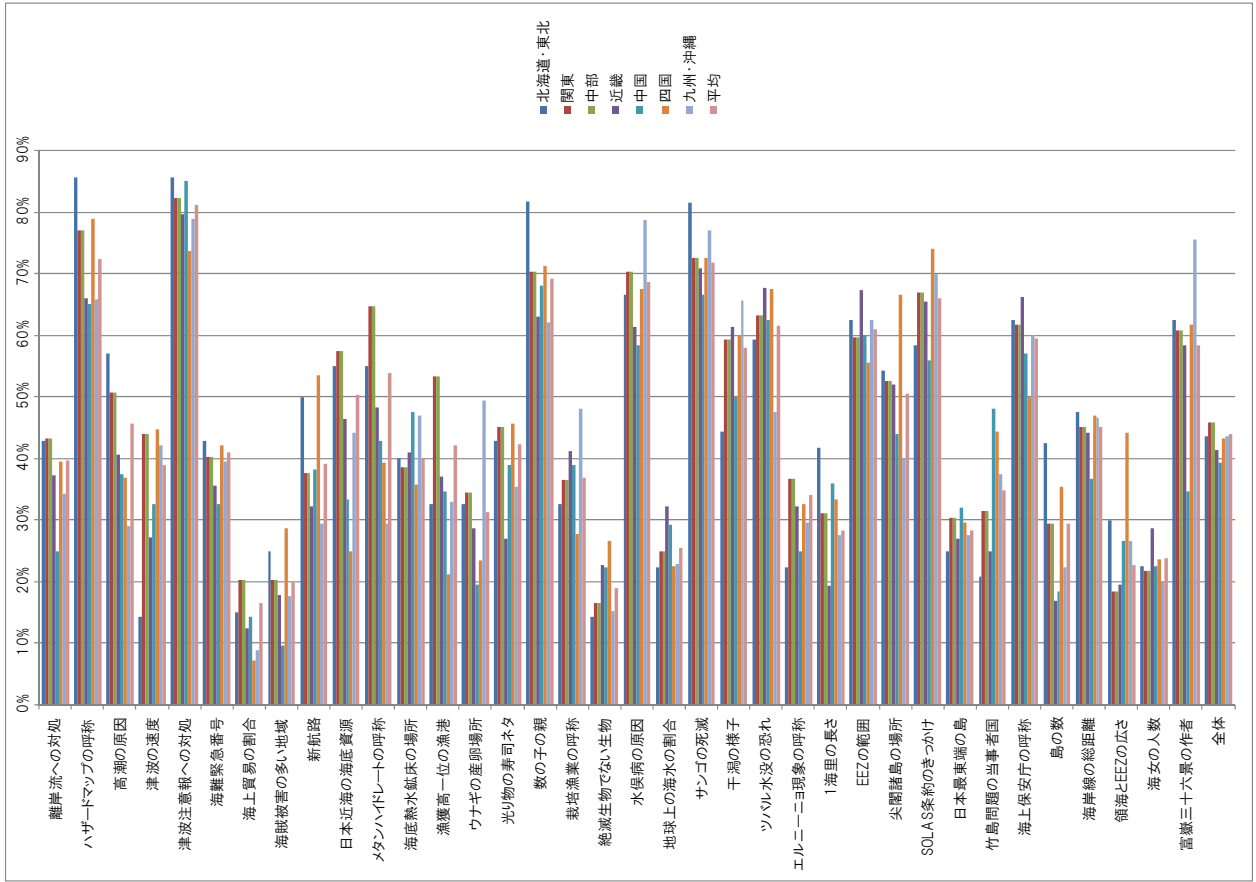


◆校種×問題別正答率

クイズ	問題	小学生	中学生	平均
防災	難岸流への対処	40.7%	37.7%	39.7%
	ハザードマップの呼称	70.9%	75.4%	72.4%
	高潮の原因	44.4%	48.5%	45.7%
	津波の速度	37.3%	42.5%	39.0%
資源	津波注意報への対処	81.1%	81.4%	81.2%
	海難緊急番号	40.4%	42.5%	41.1%
	海上貿易の割合	17.6%	14.1%	16.5%
	海賊被害の多い地域	21.2%	17.3%	20.0%
食物	新航路	39.7%	37.8%	39.1%
	日本近海海底資源	50.0%	51.3%	50.4%
	メタンハイドレートの呼称	52.4%	57.1%	53.9%
	海底熱水鉱床の場所	39.1%	42.3%	40.1%
環境	漁獲量一位の漁港	44.8%	37.2%	42.1%
	ウナギの産卵場所	37.8%	19.7%	31.3%
	光り物の寿司ネタ	39.3%	47.8%	42.4%
	数の子の親	81.6%	71.7%	69.2%
国際	栽培漁業の呼称	41.0%	29.6%	36.9%
	絶滅生物でない生物	18.5%	19.7%	18.9%
	水俣病の原因	65.6%	73.8%	68.7%
	地球上の海水の割合	27.2%	22.7%	25.6%
文化	サンゴの死滅	72.8%	70.0%	71.7%
	干潟の様子	59.0%	56.2%	58.0%
	ツバル水没の恐れ	58.3%	67.0%	61.5%
	エルニーニョ現象の呼称	36.9%	29.2%	34.0%
社会	1海里の長さ	27.3%	30.1%	28.2%
	EEZの範囲	63.7%	55.7%	61.0%
	尖閣諸島の場所	50.7%	50.0%	50.5%
	SOLAS条約のきっかけ	67.0%	64.2%	66.1%
その他	日本最東端の島	29.6%	25.6%	28.2%
	竹島問題の当事者国	37.5%	29.5%	34.8%
	海上保安庁の呼称	57.8%	63.0%	59.6%
	島の数	29.6%	29.2%	29.5%
平均	海岸線の総距離	46.5%	42.4%	45.1%
	領海とEEZの広さ	20.7%	26.3%	22.6%
	海女の人数	24.9%	21.8%	23.9%
	富嶽三十六景の作者	57.1%	60.5%	58.3%
全体		44.4%	43.3%	44.0%

◆地域×問題別正答率

クイズ	問題	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	平均
防災	難岸流への対処	42.9%	43.2%	43.2%	43.2%	37.3%	25.0%	39.5%	34.2%	39.7%	39.7%
	ハザードマップの呼称	85.7%	77.0%	77.0%	77.0%	66.1%	65.0%	78.9%	65.8%	72.4%	72.4%
	高潮の原因	57.1%	50.6%	50.6%	50.6%	40.7%	37.5%	36.8%	28.9%	45.7%	45.7%
	津波の速度	14.3%	44.0%	44.0%	44.0%	27.1%	32.5%	44.7%	42.1%	39.0%	39.0%
資源	津波注意報への対処	85.7%	82.8%	82.8%	82.8%	79.7%	85.0%	78.7%	78.9%	81.2%	81.2%
	海難緊急番号	42.9%	40.3%	40.3%	40.3%	35.6%	32.5%	42.1%	39.5%	41.1%	41.1%
	海上貿易の割合	15.0%	20.2%	20.2%	20.2%	12.5%	14.3%	7.1%	8.8%	16.5%	16.5%
	海賊被害の多い地域	25.0%	20.2%	20.2%	20.2%	17.9%	9.5%	17.6%	17.6%	20.0%	20.0%
食物	新航路	50.0%	37.6%	37.6%	37.6%	32.1%	38.1%	53.6%	29.4%	39.1%	39.1%
	日本近海海底資源	55.0%	57.3%	57.3%	57.3%	46.4%	33.3%	25.0%	24.4%	50.4%	50.4%
	メタンハイドレートの呼称	55.0%	64.7%	64.7%	64.7%	48.2%	42.9%	39.3%	29.4%	53.9%	53.9%
	海底熱水鉱床の場所	40.0%	38.5%	38.5%	38.5%	41.1%	47.6%	35.7%	47.1%	40.1%	40.1%
環境	漁獲量一位の漁港	32.7%	53.3%	53.3%	53.3%	37.0%	34.7%	21.3%	32.9%	42.1%	42.1%
	ウナギの産卵場所	32.7%	34.5%	34.5%	34.5%	28.6%	19.4%	23.4%	49.4%	31.3%	31.3%
	光り物の寿司ネタ	42.9%	45.0%	45.0%	45.0%	25.9%	38.9%	45.7%	35.4%	42.4%	42.4%
	数の子の親	81.6%	70.4%	70.4%	70.4%	63.0%	68.1%	71.3%	62.0%	69.2%	69.2%
国際	栽培漁業の呼称	32.7%	36.6%	36.6%	36.6%	41.2%	38.9%	27.7%	48.1%	36.9%	36.9%
	絶滅生物でない生物	14.3%	16.5%	16.5%	16.5%	22.7%	22.2%	26.6%	15.2%	18.9%	18.9%
	水俣病の原因	66.7%	70.4%	70.4%	70.4%	61.3%	58.3%	67.5%	78.7%	68.7%	68.7%
	地球上の海水の割合	22.2%	25.0%	25.0%	25.0%	32.3%	29.2%	22.5%	23.0%	25.6%	25.6%
文化	サンゴの死滅	81.5%	72.5%	72.5%	72.5%	71.0%	66.7%	72.5%	71.0%	71.7%	71.7%
	干潟の様子	44.4%	59.3%	59.3%	59.3%	61.3%	50.0%	60.0%	45.6%	58.0%	58.0%
	ツバル水没の恐れ	59.3%	63.2%	63.2%	63.2%	67.5%	62.5%	67.5%	47.5%	61.5%	61.5%
	エルニーニョ現象の呼称	22.2%	36.8%	36.8%	36.8%	32.3%	25.0%	32.5%	29.5%	34.0%	34.0%
社会	1海里の長さ	41.7%	31.1%	31.1%	31.1%	19.2%	36.0%	33.3%	27.5%	28.2%	28.2%
	EEZの範囲	62.5%	59.8%	59.8%	59.8%	67.3%	60.0%	55.6%	62.5%	61.0%	61.0%
	尖閣諸島の場所	54.2%	52.6%	52.6%	52.6%	51.9%	44.0%	66.7%	40.0%	50.5%	50.5%
	SOLAS条約のきっかけ	58.3%	66.9%	66.9%	66.9%	65.4%	56.0%	74.1%	70.0%	66.1%	66.1%
その他	日本最東端の島	25.0%	30.3%	30.3%	30.3%	26.9%	32.0%	29.6%	27.5%	28.2%	28.2%
	竹島問題の当事者国	20.9%	31.5%	31.5%	31.5%	25.0%	48.0%	44.4%	37.5%	34.8%	34.8%
	海上保安庁の呼称	62.5%	61.7%	61.7%	61.7%	66.2%	57.1%	50.0%	60.0%	59.6%	59.6%
	島の数	42.5%	29.4%	29.4%	29.4%	16.9%	18.4%	35.3%	22.2%	29.5%	29.5%
平均	海岸線の総距離	47.5%	45.1%	45.1%	45.1%	44.2%	36.7%	47.1%	46.7%	45.1%	45.1%
	領海とEEZの広さ	30.0%	18.4%	18.4%	18.4%	19.5%	26.5%	44.1%	26.7%	22.6%	22.6%
	海女の人数	22.5%	21.8%	21.8%	21.8%	28.6%	22.4%	23.5%	20.0%	23.9%	23.9%
	富嶽三十六景の作者	62.5%	60.7%	60.7%	60.7%	58.4%	34.7%	61.8%	73.6%	58.3%	58.3%
全体		43.6%	45.8%	45.8%	45.8%	41.4%	39.3%	43.2%	43.6%	44.0%	44.0%



◆地域×選択別選択率

クイズ	問題	選択肢	小学生	中学生	平均
防災	避難所への対処	岸に向かっ	26.0%	32.3%	28.0%
		沖に向かっ	25.4%	21.0%	24.0%
防災	海底下に向かっ	岸に向かっ	7.9%	9.0%	8.3%
		海底下に向かっ	40.7%	37.7%	39.7%
防災	ハザードマップの呼称	岸に向かっ	9.6%	10.8%	10.0%
		海底下に向かっ	11.9%	8.4%	10.7%
防災	ハザードマップ	岸に向かっ	7.6%	5.4%	6.9%
		海底下に向かっ	70.9%	73.4%	74.4%
防災	高潮の原因	岸に向かっ	26.0%	22.8%	25.0%
		海底下に向かっ	7.6%	4.2%	6.5%
防災	津波の原因	岸に向かっ	22.0%	24.6%	22.8%
		海底下に向かっ	44.4%	48.5%	45.7%
防災	津波の速度	岸に向かっ	10.7%	10.2%	10.6%
		海底下に向かっ	20.6%	15.0%	18.8%
防災	約1m	岸に向かっ	37.3%	42.5%	39.0%
		海底下に向かっ	31.4%	32.3%	31.7%
防災	津波津波警報への対処	岸に向かっ	7.6%	4.2%	6.5%
		海底下に向かっ	81.1%	81.4%	81.2%
防災	津波津波警報への対処	岸に向かっ	4.5%	4.4%	4.4%
		海底下に向かっ	6.8%	10.2%	7.9%
防災	海難緊急番号	岸に向かっ	14.7%	19.3%	16.3%
		海底下に向かっ	33.5%	22.2%	29.9%
防災	114	岸に向かっ	40.4%	42.5%	41.1%
		海底下に向かっ	11.3%	15.6%	12.7%
資源	海上貿易の割合	岸に向かっ	3.9%	8.3%	5.3%
		海底下に向かっ	25.2%	27.6%	25.9%
資源	約50%	岸に向かっ	53.3%	50.0%	52.3%
		海底下に向かっ	17.6%	14.1%	16.5%
資源	海難被害の多い地域	岸に向かっ	7.9%	6.4%	7.4%
		海底下に向かっ	21.2%	17.3%	20.0%
資源	カリブ海	岸に向かっ	51.2%	59.0%	53.7%
		海底下に向かっ	19.7%	17.3%	18.9%
資源	インドネシア	岸に向かっ	24.2%	21.8%	23.5%
		海底下に向かっ	15.8%	14.1%	15.2%
資源	日本海	岸に向かっ	20.3%	26.3%	22.2%
		海底下に向かっ	39.7%	37.8%	39.1%
資源	北東海	岸に向かっ	18.2%	12.2%	16.3%
		海底下に向かっ	7.0%	10.9%	8.2%
資源	ロシア	岸に向かっ	24.8%	25.6%	25.1%
		海底下に向かっ	50.0%	51.3%	50.4%
資源	メタンハイドレートの呼称	岸に向かっ	52.4%	57.1%	53.9%
		海底下に向かっ	11.5%	19.2%	18.7%
資源	リキウム	岸に向かっ	17.6%	15.4%	16.9%
		海底下に向かっ	39.1%	42.3%	40.1%
資源	海底火山の噴火	岸に向かっ	17.9%	17.9%	17.9%
		海底下に向かっ	18.8%	17.3%	18.3%
資源	海底の盆地	岸に向かっ	24.2%	22.4%	23.7%
		海底下に向かっ			

◆地域×選択別選択率

クイズ	問題	選択肢	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	平均
防災	避難所への対処	岸に向かっ	57.1%	21.8%	30.2%	30.2%	45.0%	36.8%	26.3%	28.0%
		沖に向かっ	0.0%	25.9%	21.9%	22.0%	20.0%	15.8%	36.6%	24.0%
防災	海底下に向かっ	岸に向かっ	0.0%	9.1%	7.9%	10.0%	10.0%	7.9%	36.6%	8.3%
		海底下に向かっ	42.9%	43.2%	40.6%	37.3%	25.0%	39.5%	34.2%	39.7%
防災	ハザードマップの呼称	岸に向かっ	0.0%	6.6%	11.5%	10.0%	10.0%	15.8%	13.2%	10.0%
		海底下に向かっ	14.3%	9.9%	14.6%	10.2%	17.5%	2.6%	10.3%	10.7%
防災	ハザードマップ	岸に向かっ	85.7%	77.0%	86.7%	66.1%	65.0%	78.9%	65.5%	72.4%
		海底下に向かっ	28.6%	23.5%	21.9%	32.2%	25.0%	18.4%	36.8%	25.0%
防災	高潮の原因	岸に向かっ	0.0%	4.1%	9.5%	7.5%	5.3%	10.5%	6.5%	
		海底下に向かっ	57.1%	21.8%	19.8%	16.3%	30.0%	23.7%	22.8%	
防災	津波の原因	岸に向かっ	14.3%	7.4%	11.5%	8.3%	25.0%	13.2%	10.6%	
		海底下に向かっ	14.3%	18.9%	14.6%	13.5%	20.0%	13.2%	10.5%	18.8%
防災	約1m	岸に向かっ	14.3%	44.0%	34.4%	27.1%	32.5%	44.7%	42.1%	39.0%
		海底下に向かっ	43.8%	29.6%	39.6%	30.8%	22.5%	29.8%	36.6%	31.7%
防災	津波津波警報への対処	岸に向かっ	0.0%	6.2%	8.3%	5.1%	5.0%	5.3%	10.3%	6.5%
		海底下に向かっ	85.7%	82.8%	81.3%	79.7%	85.0%	74.7%	78.9%	81.2%
防災	津波津波警報への対処	岸に向かっ	4.1%	4.1%	4.2%	6.5%	2.5%	5.3%	2.6%	4.4%
		海底下に向かっ	0.0%	7.4%	6.3%	8.5%	7.5%	15.8%	7.9%	
防災	海難緊急番号	岸に向かっ	28.6%	14.4%	14.6%	13.6%	22.5%	26.3%	18.4%	16.3%
		海底下に向かっ	28.6%	32.1%	26.0%	35.6%	27.5%	18.4%	31.6%	29.9%
防災	114	岸に向かっ	42.9%	40.3%	50.0%	32.5%	32.5%	42.1%	39.5%	41.1%
		海底下に向かっ	12.0%	13.2%	9.4%	15.3%	17.5%	13.2%	10.5%	12.7%
資源	海上貿易の割合	岸に向かっ	0.0%	6.4%	4.6%	7.1%	9.5%	3.6%	0.0%	5.3%
		海底下に向かっ	20.0%	28.4%	24.8%	21.4%	28.6%	25.0%	23.5%	25.9%
資源	約50%	岸に向かっ	65.0%	45.0%	54.1%	58.9%	47.6%	64.3%	87.6%	52.3%
		海底下に向かっ	15.0%	20.2%	16.5%	12.5%	14.3%	7.1%	8.8%	16.5%
資源	海難被害の多い地域	岸に向かっ	0.0%	4.1%	11.9%	12.2%	14.3%	7.1%	5.9%	7.4%
		海底下に向かっ	25.0%	20.2%	20.2%	17.9%	9.5%	28.6%	17.6%	20.0%
資源	カリブ海	岸に向かっ	60.0%	57.3%	51.4%	50.0%	42.9%	55.9%	53.7%	
		海底下に向かっ	15.0%	18.3%	16.5%	19.5%	33.3%	21.4%	20.6%	18.9%
資源	インドネシア	岸に向かっ	15.0%	24.3%	17.4%	35.7%	23.8%	32.4%	23.5%	
		海底下に向かっ	5.0%	16.1%	16.5%	14.3%	4.8%	10.7%	23.5%	15.2%
資源	日本海	岸に向かっ	30.0%	22.0%	22.9%	17.9%	33.3%	25.0%	14.7%	22.2%
		海底下に向かっ	50.0%	37.6%	43.1%	32.1%	38.1%	53.6%	29.4%	39.1%
資源	北東海	岸に向かっ	15.0%	11.0%	19.3%	19.6%	33.3%	17.9%	23.5%	16.3%
		海底下に向かっ	0.0%	7.3%	7.3%	7.1%	4.8%	28.6%	8.8%	8.2%
資源	ロシア	岸に向かっ	30.0%	24.3%	23.9%	26.6%	28.6%	23.5%	25.1%	
		海底下に向かっ	55.0%	57.3%	49.5%	46.4%	33.3%	25.0%	44.1%	50.4%
資源	メタンハイドレートの呼称	岸に向かっ	55.0%	64.7%	48.6%	48.2%	42.9%	39.3%	29.4%	53.9%
		海底下に向かっ	20.0%	11.5%	21.1%	23.2%	23.8%	39.3%	29.4%	18.7%
資源	リキウム	岸に向かっ	5.0%	10.1%	10.1%	12.5%	19.0%	7.1%	11.8%	10.5%
		海底下に向かっ	20.0%	13.8%	20.2%	16.1%	14.3%	14.3%	29.4%	16.9%
資源	海底火山の噴火	岸に向かっ	40.0%	38.5%	40.4%	41.1%	47.6%	35.7%	47.1%	40.1%
		海底下に向かっ	35.0%	21.1%	15.6%	8.9%	23.8%	14.3%	8.8%	17.9%
資源	海底の盆地	岸に向かっ	5.0%	19.7%	15.6%	25.0%	14.3%	17.9%	18.3%	
		海底下に向かっ	20.0%	20.6%	28.4%	25.0%	14.3%	32.1%	26.5%	23.7%

※赤の太字は、正解の選択肢



◆校種×選択別選択率

ウイズ	問題	選択肢	小学生	中学生	平均
食料	漁獲高一位の漁港	鯛子港	44.8%	37.2%	42.1%
		八戸港	11.4%	12.6%	11.8%
		楢浜港	30.1%	32.5%	30.9%
		神戸港	13.7%	17.1%	15.1%
		ハワイ島	3.7%	7.7%	5.2%
		ウナギの産卵場所	37.8%	19.7%	31.3%
		沖ノ鳥島	29.7%	26.6%	28.6%
		三宅島	28.8%	45.8%	34.9%
		マフロ	11.0%	8.4%	10.1%
		光り物の産卵ホタテ	39.3%	47.8%	42.4%
光り物の産卵ホタテ	コハダ	36.3%	33.0%	35.1%	
	コアノカ	13.4%	10.8%	12.5%	
	アロビ	13.4%	10.8%	12.5%	
	ニシン	67.9%	71.7%	69.2%	
	シロダイ	8.7%	7.9%	8.4%	
	アジ	10.9%	8.4%	10.0%	
	サケ	12.6%	12.1%	12.4%	
	養殖	39.3%	54.7%	44.8%	
	放牧	11.3%	4.9%	9.0%	
	沿岸漁業	41.0%	29.6%	36.9%	
総漁生物でない生物	沿岸漁業	8.4%	10.8%	9.3%	
	キハダマグロ	30.6%	28.6%	29.9%	
	ニホンウナギ	25.0%	20.2%	23.3%	
	ホホシロザメ	25.9%	31.5%	27.9%	
	ミンクジラ	18.5%	19.7%	18.9%	
	カニクム	22.6%	17.2%	20.6%	
	水	65.6%	73.5%	68.7%	
	石鯛	4.3%	3.0%	3.8%	
	鯛	7.4%	6.0%	6.9%	
	地球上の産水の割合	4.6%	2.6%	3.8%	
サンゴの死滅	約32%	10.9%	9.4%	10.4%	
	約65%	57.3%	65.2%	60.2%	
	約97%	27.2%	22.7%	25.6%	
	約46%	72.8%	70.7%	71.7%	
	約97%	10.9%	13.7%	12.0%	
	黒くなる	6.6%	6.0%	6.4%	
	白くなる	9.7%	10.3%	9.9%	
	赤で覆っている	59.0%	56.2%	58.0%	
	草木が生えている	15.8%	25.3%	19.3%	
	運っている	4.1%	3.4%	3.8%	
ツバル水没の茶れ	岩だらけである	21.1%	15.0%	18.8%	
	ニューゼーランド	14.0%	9.0%	12.1%	
	ツバル	58.3%	67.0%	61.5%	
	ハワイ	22.1%	21.0%	21.7%	
	イカロア	5.6%	3.0%	4.6%	
	エルニニニ現象の呼称	38.9%	29.2%	34.0%	
	ロナンジニニ現象	15.8%	18.5%	16.8%	
	ラニニニニ現象	22.6%	20.2%	21.7%	
	フェーン現象	24.7%	32.2%	27.5%	

◆地域×選択別選択率

ウイズ	問題	選択肢	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	平均
食料	漁獲高一位の漁港	鯛子港	53.3%	38.0%	37.0%	34.7%	34.7%	34.7%	21.3%	32.0%	42.1%
		八戸港	14.3%	13.5%	9.7%	8.4%	8.4%	16.0%	8.5%	11.8%	11.8%
		楢浜港	23.3%	34.3%	40.3%	40.3%	41.5%	30.4%	30.9%	30.4%	30.9%
		神戸港	22.4%	14.3%	14.3%	15.3%	21.3%	27.8%	15.1%	15.1%	15.1%
		ハワイ島	4.1%	5.1%	5.1%	5.6%	4.3%	5.2%	5.2%	5.2%	5.2%
		ウナギの産卵場所	37.7%	26.9%	26.9%	19.4%	23.4%	49.4%	31.3%	31.3%	31.3%
		沖ノ鳥島	23.6%	31.4%	27.7%	23.6%	28.7%	21.5%	28.6%	28.6%	28.6%
		三宅島	31.4%	36.3%	36.1%	31.4%	43.6%	25.3%	34.9%	34.9%	34.9%
		マフロ	10.2%	8.2%	8.2%	16.8%	10.1%	10.1%	10.1%	10.1%	10.1%
		光り物の産卵ホタテ	49.9%	45.0%	46.5%	38.9%	45.7%	35.4%	42.4%	42.4%	42.4%
光り物の産卵ホタテ	コハダ	36.7%	33.9%	37.0%	38.9%	33.0%	45.6%	35.1%	35.1%	35.1%	
	コアノカ	12.1%	11.4%	13.9%	11.7%	8.9%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	
	アロビ	12.1%	11.4%	13.9%	11.7%	8.9%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	
	ニシン	81.6%	69.4%	63.0%	68.1%	71.3%	62.0%	69.2%	69.2%	69.2%	
	シロダイ	8.1%	9.7%	6.9%	6.9%	9.6%	6.3%	8.4%	8.4%	8.4%	
	アジ	8.2%	10.6%	8.6%	9.7%	8.5%	13.9%	10.0%	10.0%	10.0%	
	サケ	4.1%	9.3%	13.9%	21.0%	10.6%	17.7%	12.4%	12.4%	12.4%	
	養殖	57.1%	44.0%	45.7%	37.8%	54.3%	30.4%	44.8%	44.8%	44.8%	
	放牧	8.2%	10.2%	8.4%	8.4%	7.4%	15.2%	9.0%	9.0%	9.0%	
	沿岸漁業	37.7%	36.6%	35.5%	41.2%	27.7%	48.1%	36.9%	36.9%	36.9%	
総漁生物でない生物	沿岸漁業	2.0%	10.6%	12.6%	4.2%	10.6%	6.3%	9.3%	9.3%	9.3%	
	キハダマグロ	36.7%	29.2%	27.8%	27.8%	26.6%	35.4%	29.9%	29.9%	29.9%	
	ニホンウナギ	30.6%	24.1%	20.8%	20.8%	18.1%	26.6%	23.3%	23.3%	23.3%	
	ホホシロザメ	30.2%	22.9%	35.3%	29.2%	28.7%	22.2%	27.9%	27.9%	27.9%	
	ミンクジラ	14.3%	16.5%	20.0%	22.2%	26.6%	15.2%	18.9%	18.9%	18.9%	
	カニクム	18.5%	21.1%	15.2%	29.2%	25.0%	14.8%	20.6%	20.6%	20.6%	
	水	66.7%	70.4%	61.3%	58.3%	67.5%	78.7%	68.7%	68.7%	68.7%	
	石鯛	3.7%	3.2%	3.2%	4.2%	5.0%	1.6%	3.8%	3.8%	3.8%	
	鯛	11.1%	5.4%	12.1%	4.8%	2.5%	4.9%	6.9%	6.9%	6.9%	
	地球上の産水の割合	3.7%	3.2%	4.5%	4.2%	5.0%	1.6%	3.8%	3.8%	3.8%	
サンゴの死滅	約32%	11.1%	8.2%	12.9%	11.3%	16.7%	10.4%	10.4%	10.4%	10.4%	
	約65%	63.0%	56.8%	50.0%	50.0%	57.5%	67.2%	60.2%	60.2%	60.2%	
	約97%	22.2%	25.0%	29.2%	29.2%	22.5%	23.0%	25.6%	25.6%	25.6%	
	約46%	81.5%	72.2%	66.7%	66.7%	71.0%	71.0%	71.7%	71.7%	71.7%	
	約97%	14.8%	9.3%	16.7%	4.2%	4.2%	14.8%	12.0%	12.0%	12.0%	
	黒くなる	3.7%	7.9%	5.3%	8.1%	6.7%	16.4%	6.4%	6.4%	6.4%	
	白くなる	0.0%	10.4%	11.4%	14.3%	5.0%	6.6%	9.9%	9.9%	9.9%	
	赤で覆っている	44.4%	59.3%	53.8%	61.3%	60.0%	65.6%	58.0%	58.0%	58.0%	
	草木が生えている	22.2%	18.2%	21.2%	17.7%	20.0%	18.0%	19.3%	19.3%	19.3%	
	運っている	0.0%	3.9%	4.5%	3.2%	2.5%	4.9%	3.8%	3.8%	3.8%	
ツバル水没の茶れ	岩だらけである	33.3%	18.6%	20.5%	17.7%	20.8%	17.5%	11.5%	18.8%	18.8%	
	ニューゼーランド	7.4%	12.5%	12.1%	14.5%	20.8%	7.5%	9.8%	12.1%	12.1%	
	ツバル	59.3%	63.2%	59.8%	67.7%	62.5%	47.5%	61.5%	61.5%	61.5%	
	ハワイ	29.6%	19.6%	22.0%	16.1%	16.7%	20.0%	36.1%	36.1%	36.1%	
	イカロア	4.8%	4.8%	6.1%	1.6%	0.0%	4.6%	4.6%	4.6%	4.6%	
	エルニニニ現象の呼称	22.2%	36.8%	35.6%	32.3%	25.0%	32.5%	29.5%	29.5%	29.5%	
	ロナンジニニ現象	25.9%	17.5%	15.2%	14.5%	33.3%	16.4%	16.8%	16.8%	16.8%	
	ラニニニニ現象	11.1%	22.1%	20.5%	24.2%	25.0%	24.0%	21.7%	21.7%	21.7%	
	フェーン現象	40.7%	23.6%	28.8%	29.0%	16.7%	42.5%	29.5%	29.5%	29.5%	

※赤の太字は、正解の選択肢

※赤の太字は、正解の選択肢

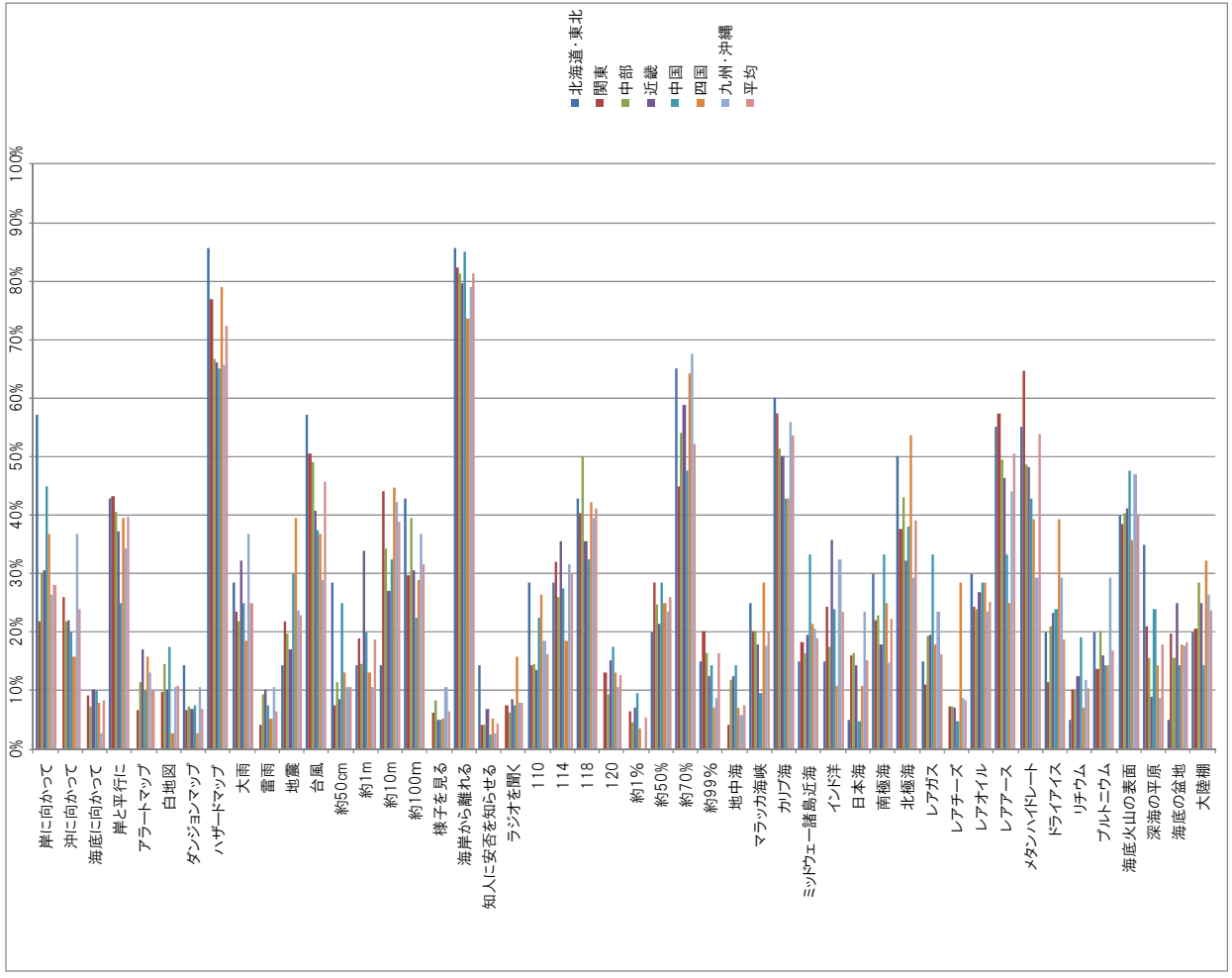
◆地域×選択肢別選択率

クイズ 国際	問題	選択肢	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	平均
1海里の長さ	0.1km	1海里の長さ	12.5%	7.2%	7.1%	3.5%	0.0%	14.8%	5.0%	7.0%
1.8km	1.8km	1海里の長さ	16.7%	24.7%	28.6%	30.8%	40.0%	22.2%	35.0%	27.1%
120km	1.8km	1海里の長さ	41.7%	31.1%	20.5%	19.2%	36.0%	33.3%	27.5%	28.2%
50海里	120km	EEZの範囲	29.2%	37.1%	43.8%	46.2%	24.0%	29.6%	32.5%	37.7%
100海里	50海里	EEZの範囲	8.3%	10.0%	10.7%	7.7%	4.0%	11.1%	2.5%	9.6%
200海里	100海里	EEZの範囲	18.7%	16.3%	14.3%	17.7%	16.0%	18.5%	12.5%	14.9%
尖閣諸島の場所	200海里	尖閣諸島の場所	65.5%	59.8%	61.6%	67.3%	60.0%	55.6%	62.3%	61.0%
尖閣諸島の場所	500海里	尖閣諸島の場所	12.5%	13.9%	13.4%	11.5%	20.0%	14.3%	22.2%	14.5%
竹島	尖閣諸島	尖閣諸島の場所	16.7%	12.4%	10.7%	5.8%	4.0%	7.4%	10.2%	10.2%
小笠原諸島	竹島	尖閣諸島の場所	20.8%	23.1%	28.6%	30.8%	24.0%	22.2%	35.0%	25.8%
SOLAS条約のきっかけ	小笠原諸島	SOLAS条約のきっかけ	8.3%	15.2%	11.5%	11.5%	28.0%	3.7%	22.5%	13.6%
東艦隊	SOLAS条約のきっかけ	SOLAS条約のきっかけ	58.3%	66.9%	65.2%	65.4%	56.0%	74.1%	70.0%	66.1%
サウジアラビア	東艦隊	SOLAS条約のきっかけ	0.0%	3.2%	5.4%	5.0%	8.0%	11.1%	0.0%	4.1%
南鳥島	サウジアラビア	SOLAS条約のきっかけ	4.2%	6.4%	5.4%	11.5%	16.0%	0.0%	10.0%	7.0%
南鳥島	南鳥島	日本最東端の島	37.6%	33.5%	24.1%	17.3%	20.0%	14.8%	20.0%	22.8%
東鳥島	南鳥島	日本最東端の島	29.0%	30.3%	24.1%	26.9%	32.0%	29.6%	27.3%	28.2%
与那国島	東鳥島	日本最東端の島	16.1%	21.5%	21.4%	36.3%	20.0%	40.7%	30.0%	30.1%
中国	与那国島	竹島問題の当事者国	25.0%	18.7%	26.8%	19.2%	24.0%	18.5%	15.0%	20.0%
北朝鮮	中国	竹島問題の当事者国	54.2%	41.4%	33.0%	57.2%	36.0%	37.0%	27.5%	41.1%
ベトナム	北朝鮮	竹島問題の当事者国	20.8%	31.5%	43.8%	25.0%	48.0%	44.4%	37.5%	34.8%
海上保安庁の呼称	ベトナム	海上保安庁の呼称	16.7%	19.5%	13.4%	5.8%	8.0%	7.4%	15.0%	15.3%
漁業協同組合	海上保安庁の呼称	海上保安庁の呼称	5.0%	7.6%	4.3%	11.5%	8.0%	11.1%	10.0%	8.9%
島の数	漁業協同組合	島の数	62.5%	61.7%	53.2%	66.2%	57.1%	50.0%	60.0%	59.6%
6,852島	島の数	島の数	0.0%	1.8%	2.1%	0.0%	2.0%	0.0%	2.2%	1.5%
海岸線の総距離	6,852島	海岸線の総距離	32.5%	29.8%	40.4%	28.6%	32.7%	50.0%	35.6%	33.4%
約18,000km	海岸線の総距離	海岸線の総距離	15.0%	38.7%	31.2%	49.4%	46.9%	32.4%	51.1%	38.1%
約35,000km	約18,000km	海岸線の総距離	42.5%	29.4%	37.6%	16.5%	18.4%	35.3%	22.2%	29.5%
約23,000km	約35,000km	海岸線の総距離	10.0%	8.9%	9.2%	6.5%	10.2%	11.8%	13.3%	9.3%
12位	約23,000km	海岸線の総距離	7.5%	11.0%	7.1%	16.9%	18.4%	11.8%	8.9%	11.1%
6位	12位	韓海とEEZの広さ	27.6%	25.6%	19.1%	19.5%	28.6%	20.6%	22.2%	23.5%
3位	6位	韓海とEEZの広さ	47.5%	45.1%	46.8%	44.2%	36.7%	47.1%	46.7%	45.1%
海女の人数	3位	海女の人数	17.5%	23.6%	27.0%	19.5%	16.3%	20.6%	22.2%	20.4%
約1000人	海女の人数	海女の人数	35.0%	39.9%	33.3%	39.0%	34.7%	20.6%	33.3%	36.5%
約2000人	約1000人	海女の人数	30.0%	18.4%	24.1%	22.1%	26.5%	44.1%	26.7%	22.6%
約6000人	約2000人	海女の人数	27.5%	18.1%	19.9%	21.1%	22.4%	17.6%	15.6%	19.0%
平利休	約6000人	高蔵三十六景の作者	32.5%	30.4%	27.0%	31.2%	32.7%	35.3%	28.9%	29.9%
東洲高写楽	平利休	高蔵三十六景の作者	22.5%	21.8%	28.4%	26.0%	26.5%	17.6%	37.8%	31.3%
雪舟	東洲高写楽	高蔵三十六景の作者	17.5%	11.7%	19.1%	14.3%	18.4%	23.5%	20.0%	23.9%
	雪舟	高蔵三十六景の作者	5.0%	4.9%	6.4%	1.3%	10.2%	8.8%	13.2%	14.9%
		高蔵三十六景の作者	62.5%	60.7%	55.2%	58.2%	54.7%	61.8%	75.6%	58.3%
		高蔵三十六景の作者	10.0%	10.4%	12.1%	7.8%	20.4%	14.7%	2.2%	10.8%
		高蔵三十六景の作者	22.5%	23.9%	28.4%	32.5%	34.7%	14.7%	20.0%	25.7%

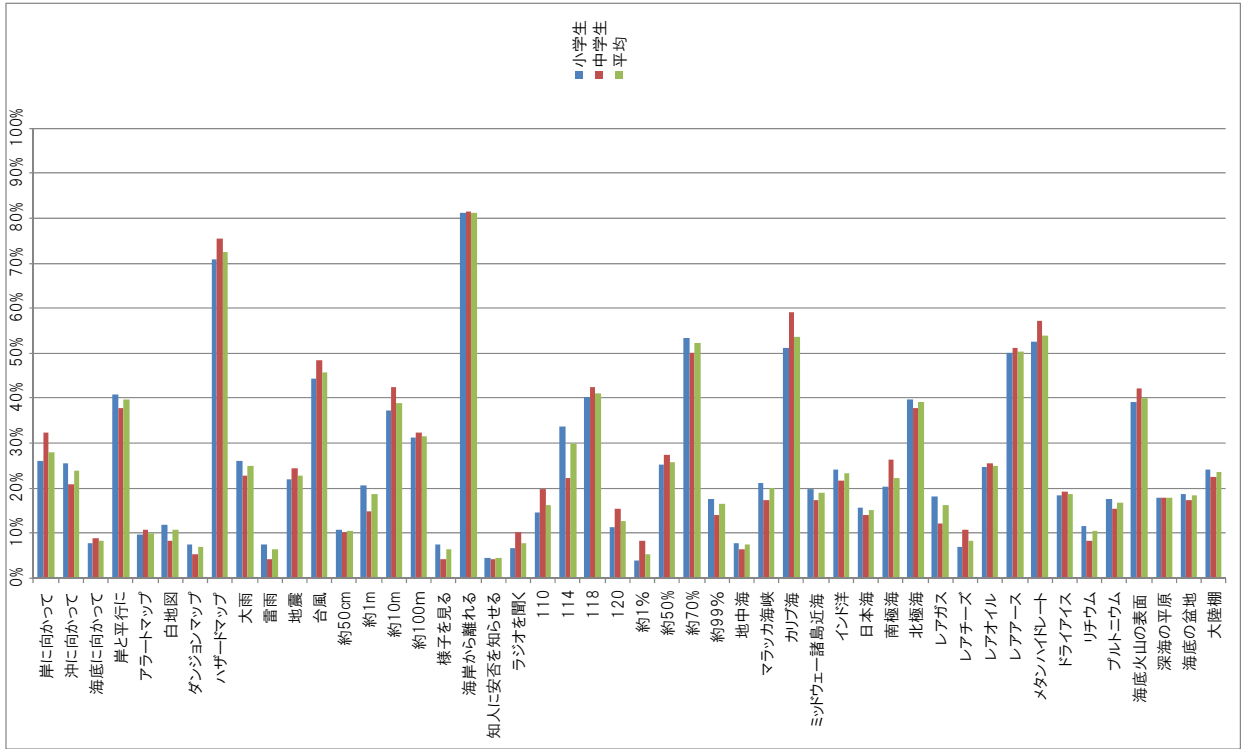
◆校種×選択肢別選択率

クイズ 国際	問題	選択肢	小学生	中学生	平均
1海里の長さ	0.1km	1海里の長さ	7.9%	5.1%	7.0%
1.8km	1.8km	1海里の長さ	26.5%	28.4%	27.1%
120km	1.8km	1海里の長さ	27.3%	30.1%	28.2%
50海里	120km	EEZの範囲	38.3%	36.4%	37.7%
100海里	50海里	EEZの範囲	9.9%	9.1%	9.6%
200海里	100海里	EEZの範囲	12.7%	19.3%	14.9%
尖閣諸島の場所	200海里	EEZの範囲	63.7%	55.7%	61.0%
尖閣諸島の場所	500海里	EEZの範囲	13.8%	15.9%	14.5%
竹島	尖閣諸島	尖閣諸島の場所	50.7%	50.0%	50.5%
小笠原諸島	竹島	尖閣諸島の場所	9.3%	11.9%	10.2%
SOLAS条約のきっかけ	小笠原諸島	尖閣諸島の場所	26.8%	23.9%	25.8%
東艦隊	SOLAS条約のきっかけ	尖閣諸島の場所	13.2%	14.2%	13.6%
サウジアラビア	東艦隊	SOLAS条約のきっかけ	67.0%	64.2%	66.1%
南鳥島	サウジアラビア	SOLAS条約のきっかけ	4.2%	4.0%	4.1%
南鳥島	南鳥島	日本最東端の島	8.5%	7.8%	7.0%
東鳥島	南鳥島	日本最東端の島	20.3%	27.8%	22.8%
与那国島	東鳥島	日本最東端の島	29.6%	25.6%	28.2%
中国	与那国島	竹島問題の当事者国	29.0%	32.4%	30.1%
北朝鮮	中国	竹島問題の当事者国	20.0%	19.9%	20.0%
ベトナム	北朝鮮	竹島問題の当事者国	21.4%	22.2%	21.7%
海上保安庁の呼称	ベトナム	海上保安庁の呼称	37.7%	47.7%	41.1%
漁業協同組合	海上保安庁の呼称	海上保安庁の呼称	37.5%	29.5%	34.8%
島の数	漁業協同組合	島の数	16.1%	13.6%	15.3%
6,852島	島の数	島の数	8.7%	9.1%	8.9%
海岸線の総距離	6,852島	海岸線の総距離	6.8%	2.9%	5.5%
約18,000km	海岸線の総距離	海岸線の総距離	57.8%	63.0%	69.6%
約35,000km	約18,000km	海岸線の総距離	1.1%	2.5%	1.5%
約23,000km	約35,000km	海岸線の総距離	34.3%	31.7%	33.4%
12位	約23,000km	海岸線の総距離	22.0%	25.5%	23.2%
6位	12位	韓海とEEZの広さ	38.0%	38.3%	38.1%
3位	6位	韓海とEEZの広さ	29.5%	29.2%	29.5%
海女の人数	3位	海女の人数	10.4%	7.0%	9.3%
約1000人	海女の人数	海女の人数	10.4%	12.3%	11.1%
約2000人	約1000人	海女の人数	23.0%	24.3%	23.5%
約6000人	約2000人	海女の人数	46.5%	42.4%	45.1%
平利休	約6000人	高蔵三十六景の作者	20.0%	21.0%	20.4%
東洲高写楽	平利休	高蔵三十六景の作者	23.0%	19.8%	21.9%
雪舟	東洲高写楽	高蔵三十六景の作者	36.9%	35.8%	36.5%
	雪舟	高蔵三十六景の作者	20.7%	26.3%	22.6%
		高蔵三十六景の作者	19.4%	18.1%	19.0%
		高蔵三十六景の作者	30.5%	28.8%	29.9%
		高蔵三十六景の作者	29.9%	34.2%	31.3%
		高蔵三十六景の作者	24.9%	21.8%	23.9%
		高蔵三十六景の作者	14.7%	15.2%	14.9%
		高蔵三十六景の作者	4.3%	7.0%	5.2%
		高蔵三十六景の作者	57.1%	60.5%	58.3%
		高蔵三十六景の作者	11.1%	10.3%	10.8%
		高蔵三十六景の作者	27.5%	22.2%	25.7%

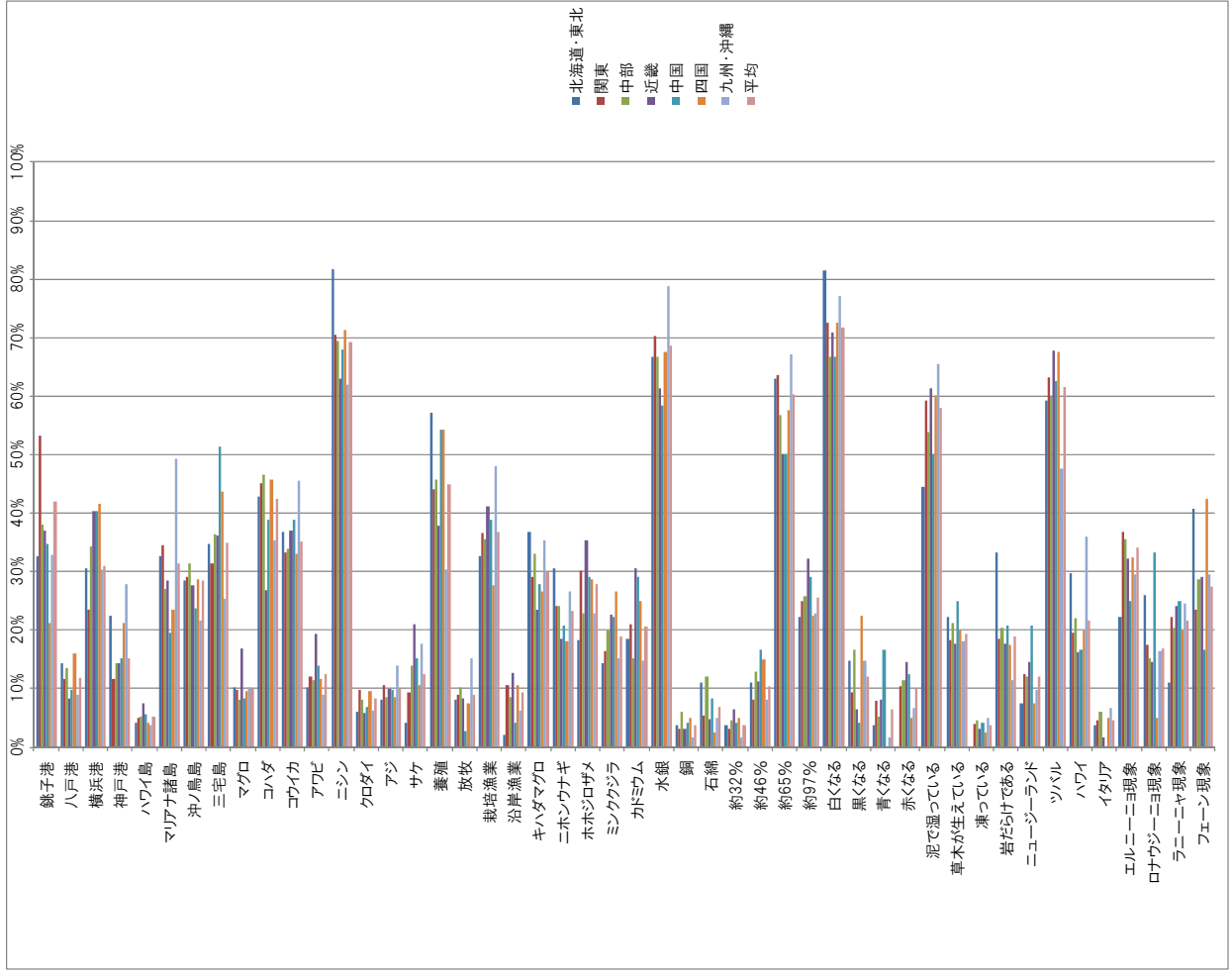
◆地域×選択肢別選択率



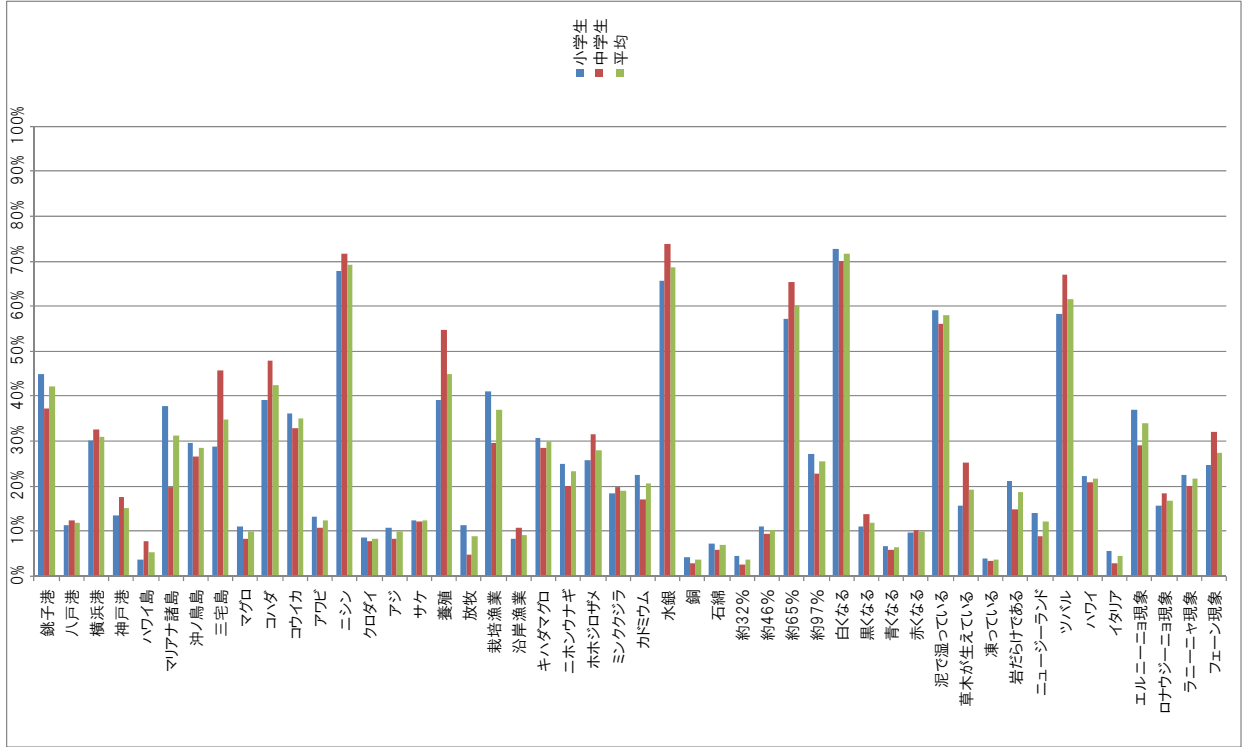
◆校種×選択肢別選択率



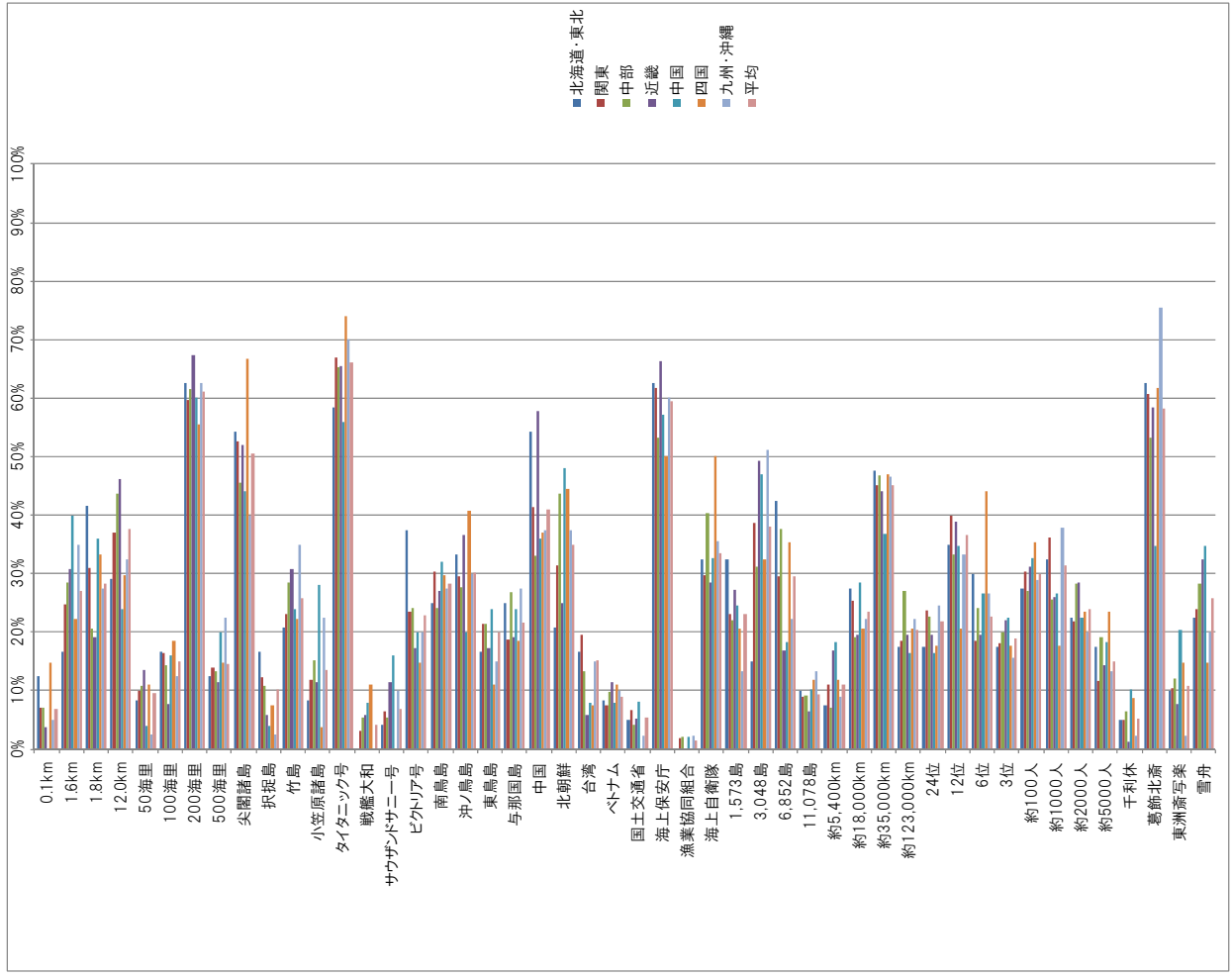
◆地域×選択肢別選択率



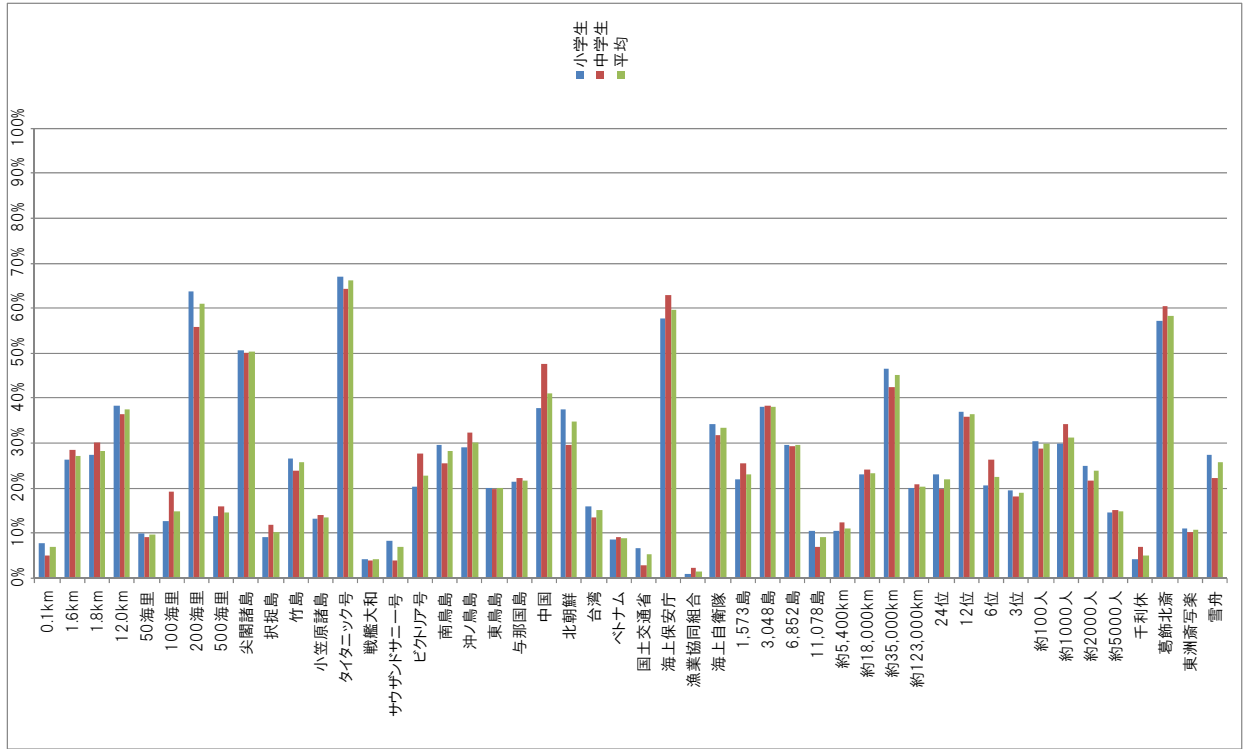
◆校種×選択肢別選択率



◆地域×選択肢別選択率



◆校種×選択肢別選択率





## 今後の課題

## (1) 学習指導要領改訂に向けた具体的施策の策定と提言

各関係機関は海洋教育の普及推進にあたっての共通目標として、次期学習指導要領の総則、各教科の内容、ならびに総合的な学習の時間の「指導計画の作成と内容の取扱い」等に海洋の重要性を明確に位置付けることを掲げ、またこの実現に向けて整備すべき以下の条件を共有し、協働して働きかけを行う必要がある。

必要条件	2013年度終了時点での達成状況
<b>1. 社会的な必要性の認知</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋教育という概念が「環境教育」「情報教育」「食育」などと同等の認知度を有し、文部科学省や中央教育審議会などの教育関係者だけでなく、教育現場、および社会全般にその必要性が広く理解されていること。</li> </ul>	小中学校の教育現場における海洋教育の認知度は29%にとどまっていることが確認された。
<ul style="list-style-type: none"> <li>津波などへの海洋防災対策や、持続可能な社会に向けた海洋との共生、また国際的協調のもとでの領海や管轄海域の管理、海洋資源・エネルギー、海洋文化などの重要性について、国民の理解・関心と学びへの機運が高いこと。津波など海洋防災関連や、持続可能な社会や海洋との共生、また領海や管轄海域への意識、海洋資源・エネルギー、海洋文化の重要性について、国民の理解・関心と学びへの機運が高いこと。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋教育を推進する国際的な流れと外圧。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディアが海洋関連コンテンツを積極的にとりあげる環境があること。</li> </ul>	
<b>2. 実践の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発校、特例、特区制度など指導要領に縛られない枠組みで実践を積み上げ、海洋教育のカリキュラムと教材が蓄積されていること。</li> </ul>	東京大学海洋教育促進研究センターを中心に大学教育学部でカリキュラム開発、実践・検証の取り組みがはじまっている
<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋教育の価値と効果について理論構築が行われ、海洋教育が学力向上に有効であることを示せること。PISAやTIMSSなど国際的な学力調査も含む。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教師教育のプログラムに位置づけられ教員の研修制度が整備されていること。</li> </ul>	
<b>3. 政策的な働きかけ</b>	
<b>① 教育政策面</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省初等中等教育局、国立教育政策研究所、中央教育審議会初等中等分科会教育課程部会など教育行政への働きかけが行える体制があること。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育現場である教育委員会や教員の理解を得る活動が推進できる体制があること。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の教育学部、教育大学に海洋教育研究の拠点整備とネットワーク構築をさらに拡充できること。</li> </ul>	東京大学海洋教育促進研究センターを中心とした大学教育学部の連携体制づくりが始まっている
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書会社や教材会社への情報提供や資料提供など積極的な協力を行うこと。</li> </ul>	
<b>② 海洋政策面</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣官房総合海洋政策本部を中心に海洋基本計画見直しにあたってより具体的な表記を求め、海洋政策の重点項目として位置づけること。</li> </ul>	達成
<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋基本法戦略研究会や、そのほか海洋に関係の深い政治家や有識者などが協働で教育関係機関に働きかけを行うこと。</li> </ul>	海洋教育戦略会議が発足。海洋基本法戦略研究会で海洋教育を議論するための意見具申を行い了承を得た。具体的な議論は2014年度から。
<ul style="list-style-type: none"> <li>造船・舶用工業、海運・港湾、水産、海洋開発、資源エネルギー、海洋科学などのすべての海洋関連産業が協力して、海洋教育推進の働きかけを行うこと。</li> </ul>	情報共有は行われつつあるが、協力体制はできていない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>国民運動としての海洋教育推進を展開できること。</li> </ul>	「海の日」総理大臣メッセージで海洋教育の促進について言及
<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋教育協力支援機関の組織化を行うこと。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書会社や教材会社への情報提供や資料提供など積極的な協力を行うこと。</li> </ul>	

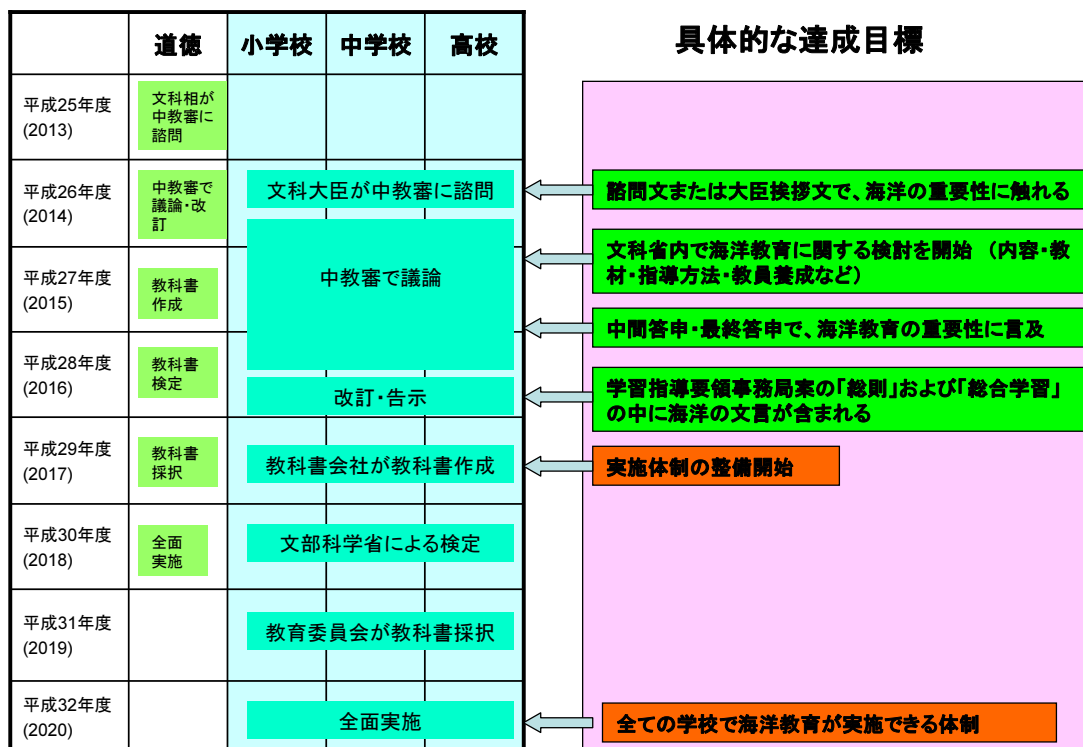


これらを実践するうえでの情報共有基盤として、海洋教育連絡会議の強化を図り議論を活発化させるとともに、戦略ロードマップの精度を上げ参加各機関の行動計画として共有し、かつ実行に移す体制を整えなければならない。

また文部科学省や中央教育審議会などの教育関係者だけでなく、政治家、有識者、産業界へのロビー活動のほか、海洋教育推進の気運を盛り上げるための国民運動展開など、広域的かつ重層的に条件整備を行う体制づくりを急がなければならない。

このほか各種メディアへの海洋の露出を増やすため、コンテンツ制作側に働きかけを行うとともにサイエンスコミュニケーター養成など、海洋を伝える人材の積極的な育成も行う必要がある。

### 改訂までの流れ(予想)



※2013年12月29日付東京新聞記載の図を基に作成

注：上記は図1 学習指導要領改訂のスケジュール（3ページ）を更新して作成

このための働きかけを効果的に行うことが今後の課題である。

## (2) 海洋教育普及に必要な教育環境の研究

小中学校の海洋教育の実施においては、学校のロケーションが大きく影響していること、実施が特定の学年に偏っていること、海洋教育は理科という認識が強いこと、など実態として明らかとなった。

学習指導要領に海洋教育が位置づけられた場合、沿岸部だけでなく内陸部においてもその確実な実施が担保されなければならない。ロケーションによる海洋教育の取り扱いに大きな差がある現状を考慮すると、教科書への記述を充実させ地域に関係なく海洋教育が実施できる環境を整えるとともに、より発展的な海洋教育を行えるよう地域属性にあわせた内容、実施方法などの検討を急ぐ必要がある。

加えて海洋教育を行いやすい学年があることを踏まえ、海洋教育をより効果的に実施できるよう学習指導要領における海洋関連の教育内容を体系的に整理・拡充する必要がある。

また海洋教育は理科の範疇という認識が強いのであれば、理科における海洋教育の充実を図ることが重要

である。他方で実際の海洋教育を担っている時間枠は表 7 にもあるとおり理科ではなく総合的な学習の時間であることに鑑み、理科以外への浸透も急務である。

### **(3) 外部支援体制の組織化**

---

外部支援体制の組織化については、全国調査で得られた学校のニーズや実態に即した支援のあり方を早急に検討する必要がある。特に 3 割以上が支援を受けている漁協など漁業関係機関の協力は不可欠である。またこれら以外についても、大学・研究機関、博物館・水族館、企業・団体、NPO や市民団体など、全国の海洋に関する教育支援を行っている機関のリストアップと支援内容の調査を行う必要がある。

### **(4) 教育研究の戦略的推進**

---

教育研究の戦略的推進については、各国における海洋教育の実施状況の比較調査を今後も適時改良し精度を高めていく必要がある。特に海洋や教育に関する政策は、諸外国でも情勢に応じて随時変化しているので、各国の進捗状況を把握しその内容を研究調査に反映していくことが重要である。こうした作業を進めていくためには、東京大学海洋アライアンスなどの外部機関との連携も不可欠である。また、学生の海の理解度調査についても更に詳細な分析を進め、海洋に関する知識の現状と課題を把握することで、海を学習指導要領へ盛り込むための各方面へのアピールに活用していくことが重要である。更に、海洋教育にとって必要な知識を体系化し、現在の学習指導要領で不足している点、追加するべき点を見出すことができるような、より精度の細かな調査が早急に必要である。

この報告書は、ポートルースの交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。

平成 25 年度 海洋教育普及の実現に向けた戦略的研究及び条件整備報告書  
～次期学習指導要領改訂へのロードマップ～

平成 26 年 3 月発行

発行 海洋政策研究財団（一般財団法人シップ・アント・オシャン財団）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-4-10 虎ノ門 35 森ビル

TEL 03-5404-6828 FAX 03-5404-6800

<http://www.sof.or.jp> E-mail : [info@sof.or.jp](mailto:info@sof.or.jp)

本書の無断転載、複写、複製を禁じます。

ISBN978-4-88404-312-4